夕刊
滿洲日報
十二月廿六日

帝國議會の開院式

聖上、大元帥の御正裝にて親臨 けさ貴族院で行はる

【東京二十六日發電】榮え輝く昭和の師走二十六日畏くも天皇陛下には貴族院に親臨あらせられ第五十七帝國議會開院の式を行はせられた、此日陛下には大元帥の御正裝に大勳位菊花大綬章を召され午前十時三十五分宮城御出門第二公式鹵簿にて鈴木侍從長御陪乘、一木宮相、奈良侍從武官長其他供奉員を從へさせられ二重橋より輝く陽に照り映える多木立の打水に磨き澄める大路祝田町を右に日比谷公園脇を十時四十五分貴族院へ行幸、親王總代高松宮、王總代賀陽宮の兩殿下、濱口首相以下各大臣、倉富、平沼樞府正副議長以下各顧問官、德川、堀切貴衆兩院議長等總て金色燦き盛裝にて御車寄せにて奉迎し、蜂須賀、濱崎兩院副議長並に兩院高等官等は院門內にて堵列奉迎し陛下には便殿に入御、德川議長、林式部長官、一木宮相等前行、鈴木侍從長、奈良武官長、侍從武官等御後に候し濱口首相、書記官等式場に參進して本位に着けば內閣總理大臣濱口雄幸氏は勅語書を捧じて式場に參進、陛下には林式部長官、一木宮相の前行にて式場に出御、高松宮、賀陽宮兩殿下、鈴木侍從長、奈良武官長等供奉來進 陛下には玉座に著御各員最敬禮裡に濱口首相は總理として勅語書を奉れば 陛下にはいと朗かなる玉音にて優渥なる勅語を賜ふ、各員拜聽最敬禮を行ひ德川議長は跪拜して御前に參進、勅語書を拜受して退下、陛下には供奉員を從へさせられて入御十一時五分式を終らせらる、斯くて陛下には同十五分衆議院より御出門還幸あらせられた

開院式に賜はった勅語

【東京二十六日發電】開院式勅語左の如し

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和五年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

政友會の鐵道會議對策

【東京二十六日發電】政友會は二十五日鐵道會議對策につき協議を行つた結果政府が法律改正をなさずして建設線を打切り繰延べたるは非立憲の極みであると云ふ意見に一致し政友會鐵道會議委員をして飽くまで其責をたゞさしめるに決した

十七回帝國議會開院の儀式を擧け優渥なる聖詔を賜ふ臣等感激の至に勝へす臣等慣重審議以て其の任を竭し上陛下の聖旨に對へ下國民の委託に酬む事を期す 謹て奏す 衆議院議長臣堀切善兵衛誠恐誠惶

衆議院の奉答文

堀切議長參內して捧呈

【東京二十六日發電】開院式終了後衆議院は勅語奉答文議決のため本會議を開く、振鈴と共に興奮議員は濱口首相以下閣僚、政務官等の金ピカ姿で大賑はひだ、堀切議長は滿場の拍手裡に着席して十一時二十五分開會を宣し、開院式の勅語奉答文起草のため委員を指名して其起立を求め三十分休憩奉答文委員會を開き文案を決定したので午前十一時四十五分再開議長に推かれて奉答文起草委員長山本條二郎君登壇奉答文起草委員會の經過並に結論を報告するとて委員長、理事の選擧結果を述べたる後總員起立裡に左の奉答文を朗讀すれば滿場肅然之を可決し堀切議長は「捧呈します」と告げ十一時五十三分散會した

午後宮中の御都合を伺ひ參內の上恭く惟に車駕親臨して茲に第五

重大決議案を上程

貴院が休會明け劈頭に

【東京二十六日發電】 刻下の我內外交上の重要問題たる海軍々縮問題及び綱紀肅正問題に就し貴院各派有力者間に休會明け議會劈頭に重大意議を有する決議案上程の議が擡頭し其成行を注目されてゐる、即ち其主旨とする所は一、海軍々縮會議に於ける帝國全權の主張は我國防の最低限にして國民一致之が貫徹に努むべきである、故に貴族院は此意志を中外に宣明し全權の主張を後援せねばならぬ 二、綱紀肅正問題は現下の政情に於て最も緊切なる問題にして政界の淨化革正は一に次期總選擧の公正に依つて決せられる以上議會の解散直前に特に本問題を高調し國民の要望する所に應ずべきである

と云ふに在り、各派も異論を唱へる餘地がないので之が具體化は大いに期待すべきものがあると云はれてゐる

政局に關して 仙石總裁進言か

けふ濱口首相を訪問

【東京二十六日發電急報】仙石滿鐵總裁は本日午後三時濱口首相を其官邸に訪問する事となつたが仙石總裁は政局につき何等かの重要なる進言をなす可しと期待されてゐる

海軍辭令

【東京廿六日發電】

海軍中將 谷口 尚眞

海軍造兵中將	同 岸科 政雄
海軍少將	同 武藤栖太郎
	同 宮坂功治郎
	同 畔柳三男三
	同 市來崎慶一
	同 菊井 信義
	同 長井 實
海軍少將	同 增田乙三郎
	同 石河 英吉
	同 林 正男
	同 滿岡 諒次
海軍々醫少將	折改 恒治
海軍主計少將	同 今井金三郎
	同 鹽見 長衛
	同 太山 一郎
海軍造船少將	同 吉村 梅吉
	佐々 初喜

豫備役被仰付(各通)

不動產貸付 利率据置に決定

【東京廿六日發電】大藏省は昭和五年上半期の日本勸業及び北海道拓殖外全國農工銀行の不動產貸付利率を据え置とすべく認可を與へた

對滿新政策樹立に關し外務拓務の首腦部會議

滿鐵行政權の關東廳移管と在滿鮮人の保護對策

【東京二十六日發電】拓務省は松田拓相の就任以來所管各植民地に對する統治上新政策を樹立すべく調査の歩を進めてゐるが、殊に滿洲及び朝鮮については拓相の滿鮮旅行以來急速度に具體化して來たので林奉天總領事の上京を機會に二十五日午後一時より外務、拓務兩省の關係首腦部會議を開き對滿政策に關する重要協議をなした、即ち滿洲の二大案件たる

一、在滿鮮人保護に關する具體的對策

二、現在滿鐵の有する滿鐵附屬地の行政權を關東廳に移管する件

につき愼重審議をなしたのであるが、其の內容は極秘に附されてゐるが、在滿鮮人保護問題は至急解決を要するのみならず、朝鮮總督府永年の懸案たる在滿鮮人の歸化問題にも觸れて來るものであり、又行政權の關東廳移管問題は關東長官の地位を高めて帝國對滿政策上の代表者となし從來弊害の多かつた三頭政治、四頭政治の誹謗を除かんとするものであつて會議の結果如何なる形態を以て現はれるか極めて重大視されてゐる

實現は困難

未だ具體化してはゐない 大藏滿鐵理事否定す

右につき大藏滿鐵理事に訊すと

記者「東京では二十五日に對滿政策に關して外務、拓務兩省の聯合首腦會議が開かれてゐますが總裁も之に出席の爲め上京をされたのですか」

理事「いや違ひます」

記者「齋藤理事は此の會議に出席されてゐますか」

理事「そんなことはありません」

記者「附屬地行政權の關東廳移管問題は最近具體化する機運に向つてゐるのではありませんか」

理事「いや……まだなか〳〵ですよ」

と強く否定した

汪精衛氏の黨籍解除事情

胡漢民氏仇を討つ

幾多反政府派の蜂起によつて現南京政府の將來が頗る悲觀さるべき狀態に陷ると共に、此機以來南京政府の首腦たる蔣介石氏と、脊椎に歸來もた所謂改組派即ち國民黨左派の首領たる汪兆銘氏との妥協交渉說が頻りに傳へられてゐる際に、殆ど、南京政府の要人たちを以て組織されてゐるところの國民黨中央執行委員會常務委員會が突如として汪精衛氏の黨籍解除に關する決議案を通過し次いで去る十八日の中央監察常務委員會また執行監察委員會の議を承認し既に十九日の中央執行常務委員會に於て汪氏の除名に關する決定書を正式に發表するにいたつたことは一般に多大の衝動を與へたものである。

×

汪精衛氏は人も知る如く、國民黨左派の代表人物とされてゐるのみならず、孫文氏在世當時に在りては孫氏の片腕として終始した人であり、現在の國民黨の爲めには蔣介石氏よりも、胡漢民氏よりも更に譚延闓氏などよりも、國民黨を背負つて立つに足るべき大領袖として誰もが考へてゐる人物である、孫文氏の逝後は一時廣東に在りて國民黨を領導したことはあるが、黨內に於ける左派右派の軋轢黨幹部個人間に於ける反目暗鬪等のために、黨務から離れて永く海外に在り、さきに武漢政府時代の末期に、一時歸京して黨務をみたことはあるが、依然その時を得ず再び海外に去つて去月上旬幾度目かに香港に歸來したのである、氏の香港歸來は時局の轉に在りて活動しつゝあつた所謂改組派の活動を勢ひづけたのみならず、汪氏に期待する全國の青年黨員等はもとより廣く一般もまた汪氏を時代來るの感を深くしたのであつた。

×

南京政府の現幹部たちが黨においても等しきこの汪氏を除名するにいたつた理由は十九日發表された決定書によれば汪氏が民國十六年、張發奎等をして廣州を奪取せしめてかの共產黨暴動の端をつくつたといふこと、而して陳公博、顧孟餘氏等と共に黨內に小組織を設け中央同志に對をもつて事としたこと最近に在りては馮玉祥、張發奎、唐生智等の傀儡となつて中央の破壞、黨國の顚覆を企圖したといふことの以上の三點をあげてゐるが廣州暴動といひ「小組織といひ、黨國の顚覆といひ」爲めにせんとする口實に過ぎないことは一目して明かである、各黨部方面では汪氏の今次の除名は全く胡漢民、古應芬兩氏の畫策奔走大いに努めた結果であるといつてゐる。

×

黨部方面での消息によると、今次汪氏の除名決議案は、胡漢民古應芬兩氏によつて提議され、胡氏の如きはこれが提案理由の說明に際しては非常に昂奮して終始激越な言辭をもつて除名を高調しこれが通過に努めたといはれてゐる。

×

胡漢民氏は汪氏ほどの人望を持たぬものゝ如くであるが、汪氏と共に孫文氏に永く事へ、孫氏の革命事業に多大の協助を撫つた一人である、孫氏在世當時は勿論、孫氏の沒後も汪氏に胡氏とは兄弟も及ばぬ間柄に在つたもので、當時の兩氏の間柄を知る一老國民黨員は、今でも當時の二人の關係はひとを羨ましがらせたものであつたといつてゐる。

×

この胡氏が、この汪氏の除名にかく激越な言辭を使つてまで何故にその實現をはからねばならなかつたかは全く一ツの呪はれたる奇蹟である。

×

去る民國十五年、孫文氏の逝後國民黨の混亂時代に於て當時國民政府最高顧問ボロヂン氏が一日汪精衛氏に迫つて胡漢民氏逮捕令に署名せんことを求めた、汪氏はボ氏に對して胡氏とは兄弟にも等しき間柄に在ることを語り、胡氏の逮捕令に署名するとはどうしても忍びない旨を告げた、ところがボ氏は「大なる革命事業のためには兄弟が何か、親をも殺せ」と迫り遂に汪氏をして淚をふるつて署名せしめたといはれてゐる。

たとへ淚をふるつたとはいへ汪氏のこの署名によつて胡氏は罪の人となり永く流浪の生活を送らねばならなくなつた、兩氏の關係が相容れざる間柄になつたのはそれ以來であるといはれてゐる。

×

この度汪精衛氏が除名されたのは共產黨暴動の動因をつくつたからでもなく、黨內に小組織を設けた爲めでもなく、また黨國の顚覆を企てた爲でもなく全く胡漢民氏の主動によつて廣東の仇を南京で討たれたものであるといふことが出來る(上海特信廿二日記)……寫眞は汪氏(上)と胡氏……

けふの寫眞

廿六日開院式行幸の鹵行列(中)と民政(上)政友(下)兩黨の勢揃ひ

我全權の着英期

廿七日サザンプトン着豫定

【オリムピック號二十五日發電】相變らず波浪高く風强けれど我オリムピック號は快速力にて航行を續行しつゝあり、昨一晝夜の航程は四百七十四哩である、サザンプトン着は二十七日午後四時の見込みで全權一行は本日も午後の活動寫眞其他の餘興に打興じ全員大元氣である、昨夜十一時若槻、財部兩全權並に其他の隨員一同食堂にてクリスマスの前夜を祝する晩餐會を催したが、船暈の者一人もない、一行サザンプトン着の際は駐英日本大使館堀事官並に先發せる全權隨員事務總長佐藤尙武氏が出迎へる旨入電あつた

櫻內理事長

五品取引所の後任理事長に內定の櫻內辰郎氏は既報の通り二十五日東京發二十八日の五品臨時總會に出席する筈の處局多事の折柄離京を許さず總會には出席出來ぬことになつた

二十二日を以て任期滿了となつたので其後任は仙石總裁の上京を機會に種々考慮されてゐるが、元滿鐵理事梅野實氏最も有力視されてゐる

旅順警察署長事務引繼

旅順警察署長から四平街署に轉職を命ぜられた龍澤讓氏は二十六日午前九時旅順署に最後の登廳を爲し新に署長事務取扱を命ぜられた各警部補等と共に同署會議室に於て谷警部と事務引繼を行ひ他署へ轉轉する鮫島警部、立川警部、西內警部補等と共に同署員一同に對し挨拶を述べたが記者に對しては何分宜しく願ひます と極めて懇篤な態度を示した

滿鐵理事に梅野氏說有力

【東京廿六日發電】滿鐵岡理事は

移管は不利

豫算の編成不能も一理由 保々地方部長の意見

之は隨分久しい前からの問題だ、デリケートな性質を有つてゐるからはつきりしたことは申上兼るが私個人としては關東廳に移管することによつて多くの不利益が生じやうとも、大局からは何等有利な結果を得ることは出來ないと思つてゐる、其理由を說明することは困るが要するに結局だけ云へば附屬地の行政といふものは官廳の監督下に移し一定の豫算を組んでやるといふ風では到底やつて行ける性質のものではない、此事は滿洲を深く研究すればする程よく判つて來る、從來の三頭政治とか四頭政治とかいふものが統制されて行く事は結構だ、然し根本的に既存機關と政府の一部が改められるといふなら兎も角部分的な改正に過ぎぬのに移管するといふのなら大體に於て此問題は相當根據のある反對論を抱懷してゐる

河南省の地盤を山西に讓渡

閻氏愈よ唐軍を討伐

【北平二十五日發電】閻錫山氏は大勢を見て取り蔣介石氏と握手して汪兆銘氏反對の態度を持してゐるが、最近蔣介石氏より河南全省の地盤を山西に讓渡する交換條件にて唐生智軍の驅逐を依頼し來れるため蔣氏は州に集中せる山西軍を南下せしめ許昌、鄭州の唐生智軍を武力解決するに決した、なは閻錫山氏は今後の河南警備に山西軍第三十二師長孫楚氏をして當らしめるはずであるが、斯くて閻錫山氏の勢力は京漢線及び隴海線に伸長し名實共に天下三分の形勢を馴致するに至るだらう

大觀小觀

天皇陛下、第五十七議會の開院式に御親臨、優渥なる勅語を下し賜ふ。

◇

八千萬臣子、陛下の御仁慈に對し、感泣の外なし。

◇

然るに、國民の選良たる四百餘の議員、時に淨化廓淸の的となる是き限りにこそ。

◇

閻錫山氏の勢力、徐々、河南に伸張すといふ。

◇

山西モンロー主義、いつの間にやら自ら破れ、五台山下から京漢隴海沿線に乘り出す。

◇

待てば海路の日和といふか、とにかく洞ケ峠の國百川、例の張込主義でも居られぬやうになつたか。

◇

併し、問題は支那の事だ。今日を以て明日のことを斷ずるは誤。

天氣豫報

(廿七日)晴れ北西の風一時曇り

各地の溫度

十一時 昨日最低

地名	十一時	昨日最低
大連	〇、八	同零下 二、七
旅順	二、〇	同 六、四
營口	零下六、一	同 一三、四
奉天	同 二、五	同 一五、五
長春	同 七、九	同 二五、七

昨日の埠頭着貨車 石炭と特產で千車

每日恐ろしい勢ひで增加する 此機に事故防止デー

大連埠頭においては貨車および補助運搬具作業並びに特殊作業たる市內入出庫の安全正確を目的とし廿八九兩日にまたがり事故防止デーを施行する事となつた、目下到着貨車數は恐ろしい勢ひで增加し廿四日が石炭二百九十三車特產六百六十三車、廿五日が石炭三百十車特產七百廿車と云ふ素晴らしい數字を示し雪解けの埠頭構內は車馬苦力の來往で繁忙の極を呈してゐる、埠頭ではこの廿八九の事故防止デーを意義あらしむべく特に所期の目的を貫徹さすべく各係員を督勵するところあつた

市長問題は解決の第一歩へ

調停を一任されて 田中署長と市長の會見

石本大連市長と市會の紛糾を解かんとする田中民政署長の調停は漸く大團圓みを固め二十六日午後いよいよ序幕に入らんとする模樣である、右につき同署長は語る

　市長並に市會側に對し問題の經過並に意見を糺したところ孰れも圓滿解決を急いでゐる熱意を察知した、其後

市會側 では合議の結果、私まで解決策を內示されたが當方より議案に盛られた條件の緩和方を極力交涉したところアッサリ放棄され全然白紙に歸つて私に調停を一任されるまで漕付けた譯である、一方市長に對しては當初一回面談しただけで其後會談せず從つて調停案の內容に就ても何等意見を交換してゐないので廿六日午後中に要談を進めるつもりである、幾ら聞いても調停の

內容に 就ては一切云へない、又雲行き次第で當方の出方も自ら異らざるを得ないから僕自身が分らないよ

因に市會側の交涉委員會は午前より開かれ午後に至り大體の決定を見るに至つたが其の內容は發表されなかつた

取調べは濟んだ

小橋前文相談

【東京二十六日發電】二十五日再び檢事局に召喚參考人として取調を受けた小橋前文相は歸宅後語る

取調の內容は豫審判事との約束で絕對に御話し出來ぬが、諸君の想像通りの事件に關し參考人として取調を受けたもので今日の取調を以て一切の事は濟んだものと思ふから今後更に召喚されるやうな事はあるまいと思ふ

ラ式大會出場

關西ラグビー蹴球協會主催で行はれる全日本高等專門學校及び中等學校ラグビー蹴球選手權大會に出場する奉天醫大及び奉天中學選手一行は既定の豫定を變更し、醫大は廿六日十五時三十分發急行にて陸路より奉中は廿七日大連出帆の定期船にて夫々內地に遠征する事となつた、因みに醫大は途中下關及び福岡にて試合を行ふ筈であると

淺野セメントの門司工場罷業す

【門司廿六日發電】淺野セメント門司工場では本日午前七時の交代時間に九百名の從業職工中五百の男女職工一齊に退場し淺町の日本海員組合支部に引揚げ俄然罷業に入つたのでセメント界に於ては東洋一を誇る同工場の十一本の大煙突は一時に煙を止めたが、這は同工場開設以來始めての事で原因は先日ベルトに卷かれて死亡した職工條喜一に對する會社側の態度冷淡に過ぐと云ふのと二十五日セメント勞働組合加入の三木、松本の二名を解雇したゝめである

忙しい足許に泥濘

けふ西廣場所見

榮譽一切の辭退勸告

山梨大將に

【鎌倉二十六日發電】二十五日午後四時半鎌倉の山梨大將別莊に勞働者風の男と洋服紳士風の男が來て大將に面會を强要するので同家からの急報に鎌倉署から警官出張取押へた、右は九州愛國青年同盟員伊知地義一(二〇)と健國會京都支部長織島佐太(二〇)と云ひ山梨大將に榮爵一切の辭退を勸告に來たもので取調べの上釋放された

昌圖保線區詰所全燒

原因は取調中

滿鐵昌圖保線區詰所では二十五日午後九時半出火折柄の北風にあほられ同十時四十分頃詰所を全燒して鎭火したが、同詰所は保線區としては相當大きく且つ突然の火災であつたゝめ保線用材料を持出す餘裕なく全燒せしめたので損害は相當額に上るであらうと見られてゐる、尙原因損害については目下取調べ中であると

西條八十氏が滿洲小唄を

滿鐵々道部の招聘で 來春早々に來滿する

詩人西條八十氏は今回滿鐵々道部の招聘に應じ來春早々(一月八日東京發の豫定)來滿、冬の滿洲各地を約三週間に亙り遊歷して滿蒙を主題としたモダーン小唄を創作し大に滿蒙を宣傳することになつた、尙同氏の來滿を機とし滿鐵社會課では氏を中心とした座談會又は講演會を開催する筈である

撫順線で貨車脫線

一時單線運轉

二十四日十一時四十分頃撫順線牛相屯、孤家子間二十一キロ八百の地點を二七四列車が通過中連結器損傷のため石炭滿載貨車一輛、車掌車一輛脫線し上下線を閉鎖したが五七五列車を同驛に止め下り線を開通せしめ單線運轉を行ひつゝ復舊工事に努力した結果二十五日十時三十分複線開通を見るに至つたと

全治まで二週間を要す負傷

安田大汽社長

【撫順二十六日發電】東上の途列車で奇禍に遭つた大連汽船社長安田柾(五〇)氏は硝子の破片で後頭部に負傷を負ひ直に手當を加へたが全治二週間を要する見込みで原因は列車の擦れ違つた際共に急速度のため其の間にエアーポケットが出來たものらしく見られてゐるが鐵道最初の珍しい事故と云はれてゐる

法院長殺しの首魁は死刑

けふ一味に判決言渡

前大連地方法院長安住時太郎氏を寬城子窩管內隋長方に於いて射殺せる薬鐘堂一味の判決は二十六日午前十一時より大連地方法院に於いて森本裁判長より左の如く言ひ渡しがあつた

▲薬鐘堂死刑▲隋劉氏懲役七月(未決勾留日數二百日を通算)▲隋治臣同上(同上)▲隋洪長懲役十ヶ月(同上)▲李氏懲役七ヶ月(同上)▲隋採民同上(同上)▲隋採氏懲役七ヶ月(同上)▲王恒久懲役五ヶ月(未決百日算入)▲丁學彥懲役七ヶ月(未決二百日算入)

貧しき人々へ

兒玉町十番地鳥井ヤヱさんは「御氣の毒な方に」と金十圓、また神明町六二橫山愛子さんは金十圓、春日小學校少年團千鳥班の班員は金一圓四十錢、市內白金町九一木戶条太郎氏は金三圓、同沙河口基督教會生徒一同は廿五日夜のクリスマス費用の餘り十一圓五十六錢をそれぞれ貧困者へと寄贈方を申出でた

腸チブスと赤痢が昨年より六十名宛增加

傳染病から觀た邦人と支那人

歲末を控へて市內に於ける傳染病患者は赤痢四人、腸チブス四十三人、パラチブス四人、猩紅熱十人、ヂフテリー四人あるが、十二月二十五日現在の

本年度の 傳染病患者は左記の如くで昨年に比して猩紅熱は約百人、痘瘡は約六十人の減少を示してゐるが、腸チブス、赤痢は孰れも約六十宛罹病者の增加をみてゐる、特に著しい現象と觀るべきは衛生觀念に乏しいと言はれてゐる支那人の罹病者が少い事で苦力乞食等腐敗物を平氣で食べ乍ら

罹病者は 食物に卑しい日本人に比して三パーセントにも當らない、是を以てしても邦人が病氣に對して抵抗力の弱い事を物語つてゐるが、其代り昨年寺兒溝方面に於いて一苦力が發疹チブスに罹つた爲め忽ち同地帶一面に八百人餘に傳播した例もある、因みに人口千に對する罹病率日本人一四・〇五支那人〇・八二である、十二月二十五日現在に於ける市內傳染病發生狀態左の如し

病名		發生	全治	死亡
赤痢	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
腸チブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
パラチブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
痘瘡	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
猩紅熱	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ヂフテリー	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
發疹チブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
流行性腦脊髓膜炎	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
コレラ	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]

次の長篇小說

元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交涉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田吾郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說 戀と地獄　作者 三上於菟吉　挿畫 鶴田吾郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては一局に現代東京が含む一切の興しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき滿き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

香奠返を献金

二十日以後の献金は左の如く吉本四郎氏は香奠返しとして百圓献金した

三個朝日小學校四年三組有志▲十圓小野田セメント內熊本縣人會▲百圓眞金町四七の六吉本長太郎遺族吉本四郎▲三十二圓惠比須町黑住教會婦人會▲金八十八圓沙河口工場旋盤事務所有志

滿洲の子供は明るいと

巖谷小波氏が門司で語る

【門司二十六日發電】滿洲から支那へとお伽行脚を終へたお伽の小父さん巖谷小波氏は昨日靑島から泰山丸で歸つたが左の如く語つた

滿洲其の他海外に居る少年少女は內地の子供達に比し皆人なつこく明るく沙しもいじけたやうな所がない、それに童話に對する理解力もよく如何にも家庭生活の解放的であり明るいものである事を偲ばせる、靑島の如き小學生ですら周圍の刺戟の强くない關係か極めて純な所がある濟南では感想文を募つて見たが子供達の戰禍を怨れる氣持ははつきり知る事が出來たが、當時の氣憶が幸に消滅し純眞な彼等の氣持を傷けてゐない樣だ、俳句も到る處盛んでお伽講演の傍隨分忙しい目を見た、何しろ滿洲でも支那でも雪の日ばかりでね……と

目に靑きもののなき街の寒さ哉

藝者のエキストラで都さくらにお目玉

鑑札なしで頻りに座敷を稼いで

市內美濃町北村席に前借三千圓にて抱えられ去る十六日來連以來當地花柳界に大人氣の元帝キネ女優原鑑神戶相生町一丁目三ノ一都さくら事山本綾子(二〇)は父親の承諾捺印が不備な爲め未だ無許可なるに拘らず、其後每夜座敷に出で酒間をとりもち稼業を始めてゐるので數日前大連署保安係員より注意を受けたが、再び二十六日大連署に抱主共呼出され散々油を絞られた上始末書を出す樣命ぜられほうほうの態で引下つた

店員の遣込み

市內西公園町一一一羽布團商吉田商會店員津村良三(二七)は本年四月より同店に外交員として雇はれ中十月以向柳樹屯、海城、遼陽、奉天各地に出張販賣せる賣上代金約二百圓を横領費消したので店主吉田鶴熊の告訴に依り取調べの結果二十六日大連署に拘引された

少年諸君!

一、面白い、新案少年日記
二、美麗な、國史唱歌大繪卷
三、素敵な、新案物識かるた

少年俱樂部新年號に右の三大附錄がつく、書店へカケ足!早く早く

車上から轉落

馬車の衝突で

二十四日午後六時五十五分市內大滿車夫合宿所內車夫陳忠寬(二二)は美濃町四一飲食店中島一誠を乘せ信濃町九十四番地前を通行中前方より來た自轉車乘の市內吉野町七五俱砂方出前持張春明(一七)に衝突し自、車は車體約九圓、乘客の中島は車上より轉落して眼部に打撲傷を負つた

靑聯シャツが幅を效かす

一ヶ月半に大連支部だけで 二千三百枚を賣出す

丈夫で經濟で優美でこの三つに力を入れて滿洲靑年聯盟が靑聯シャツを賣り擴めてから、電車の中に或ひは路上でこのシャツを着た人達に會ふが、十一月十日から賣出して廿六日迄に既に二千三百枚のシャツを大連支部丈で捌つたと云ふが、何分生活標準の必需品として各方面で頗る歡迎されてゐるが聯盟としては利益を度外視して全滿の人達にこれを普及したいと云つてゐる

聖德會の總會

社團法人聖德會では去る廿二日定期總會開催の筈であつたところ會員定數に達せざるため流會となり廿五日午後六時半より同會事務所樓上において再び開催、葛井理事外廿一名出席葛井理事議長となり昭和三年度決算報告の後、五年度豫算定款改正の件、何れも承認し明年五月五日邦人國籍職工五名表彰に關する銓衡方法を協議して午後十一時過ぎ散會した

滿鐵の忘年會

實業家記者招待

滿鐵では二十五日午後六時から鳳芳亭において大連市中の商工業有力者および操觚業者數十名を招待し毎年の例を破り緊一的忘年會を開催した、大平副總裁は大藏、齋藤、小日山理事と出席し大に歡談するところあり大平氏の挨拶に對し石本市長は來賓を代表して謝辭を述べ同九時歡談裡に散會した

今景彥氏臺灣へ

南滿洲工業專門學校長として功勞ありし今景彥氏は目下東京市麻布區山元町三三に居を構へてゐるが今回臺南高等工業學校創立委員長兼臺灣總督府囑託となり此の十二月末より來年二月にかけて臺南工業學校の創立等に努力する事となつた而して臺灣の出先居所は臺北市の旅館朝陽號である

苦力の賭博

市內加賀町苦力石義和(三二)市內汐見町苦力艾家明(三七)は二十四日午後九時四十分市內千代田町三十番地埠頭苦力姜成雲(二七)方に於いて牌九と稱する賭博開帳中、千代田町派出所員に踏込まれ大洋九圓小洋九圓六十錢外證據品と共に逮捕された

無錢飲食

原籍大分縣速見郡大賀村輝川當時市內常陸町春日館止宿無職河野菊馬(三七)は二十四日市內常陸町一丁目飲食店平乃家方にて二圓九十錢、翌日一圓四十錢の無錢飲食をなしたが屆出に依つて二十六日大連署に引致、詐欺罪として告發された

自動車衝突

市內春日町五四大タク支店運轉手金基浩(二五)の自動車は二十四日午前十時三十分逢坂町四五相生樓前に於て市外嶺前屯陳大和(二四)の荷馬車に衝突し自動車は泥除三圓の損害を蒙つた

台所メモ

品名			
鯛	百匁	二〇	三〇
ほしぼ	同	二二	一五
さはら	同	三五	二五
いわし	同	一八	一五
かき	同	一五	一〇
なまこ	同	一五	一〇
ごぼう	同	七	五
れんこん	同	一〇	七
さと芋	同	七	六
やま芋	同	一二	七
かぶら菜	同	三	二
ほうれん草	同	七	四
玉ねぎ	同	六	四
ねぎ	同	五	四
大根	同	四	三

昭和四年を顧みて(九)

海運界

一般に下押氣味で 市況不勢裡に越年(上)

近海、遠洋共に多難を知らずに比較的堅調なる市況を示して昭和三年を越えた本年の大連港を中心とする海運界を回顧してみる——新正休日中には意外の安値引受の船主現はれ豆粕阪神七錢五厘、京濱八錢五厘の暗相場を出現したが休日明け後は特產物の出廻り相當に回復し

◇…運賃市況も 幾分強調とな…◇

り折柄の遠洋及び內地海運界の好轉により月央急反撥して三錢乃至五錢の昂騰を見せたが其後荷動きの一巡と共に船腹の需要も平均され保合の裡に推移した、一方遠洋に在りては船腹の漸增に影響されて歐洲運賃は漸く氣配軟弱となり殊に昨秋以來の大量輸入に依る歐洲の滯貨豐富なるため買氣一服氣味と相俟つて取引も閑散となりために大豆運賃は三十二、三志より三十志と下押したが一面に於て昨秋以來粉粕の大量の增加と共に久しく停止の狀態にあつた對歐取引の復活となり月間約一千噸の積出を見た、かくて二月に入るや月初突發せる輸出稅增徵問題は折柄の警正氣分漸次濃厚なりしと相俟つて

◇…輸出取引に 一頓挫を來し…◇

市況も閑散を呈した即ち近海航路は月初以來見越輸出激增のため稍船腹の傾向を生じ他方內地市況は石炭の出廻り增加から各船主共先高氣構へにて安値見送りの態なりしため、折柄の警正關係に依る特產物の出廻り不振にも拘らず運賃市場に活氣を喚び一、二錢方の堅調を示し先行極めて良好であつたが、輸出附加稅問題の立消えに因る見越輸出の杜絕特產物の地場高による取引の澁滯、米價安關係による豆粕の內地輸出不振等にて荷動き著るしく閑散となり、運賃も漸落歩調に轉じ、月末には思惑船腹も手傳ひ、阪神豆粕運賃は九錢臺の軟弱を喚ぶに至つた、遠洋に於ては北米航路は何等の變化なく

◇…雜穀運賃は 三弗見當に居…◇

据はりたるも、歐洲航路は前月以來就航船舶潤澤にして、運賃又著るしく弱含みとなれる折柄、獨正による取引不振は同方面に最も深刻に現はれ、殆ど新規の契約なく更に關稅見越の荷動きも見ざりし結果として、遂に月央大豆運賃は一氣に二十五志臺に落ち加ふるに歐洲滯貨の消化遲々たるものがあり、一段の下押氣味となり不勢裡に推移した、三月には輸出附加稅問題落着以來內地及び歐洲向け豆粕の漸增氣配に先行稍期待されたるに拘らず、既に特產物石炭の出廻り最盛期を經過したる感ある處へ思惑配船の期待外れ並に遠洋不振に依る大型船の近海割込等に原因して聊か船腹過剩に陷り、運賃市況は近海遠洋共に漸次軟化の傾向をなした

◇…近海航路は 內地施肥季を…◇

控へ豆粕の荷動き相當に復活し、配船狀態も比較的順調であつたが下旬に至り近海他港の荷動き閑散なるに加へ遠洋就航大型船の回航頻繁なりしため、運賃市況は一向に冴え來らず、就中特產積取船の如き、各社共折柄の出廻り不振と相俟つて、積貨上非常な困難に陷り漸落氣配を呈した、歐洲航路は荷動き稍停頓の形勢にて此傾向は大豆輸出に於て特に著るしく運賃も亦二十五志と前月末の安値を持續した、越えて四月には近海市場が北洋材の好轉及山東撤兵に對する御用船の徵發關係等より配船の順調を缺きたるため全般的に強調となり、一時的ながら橫濱方面の運賃は昂騰するに至つたが、他面遠洋不振にする大型船の割込其の他に影響せられ

◇…大勢は未だ 著しき好轉を…◇

見るに至らなかつた、即ち近海は前月末の運賃界不況の後を承け依然保合の氣配を脫せざりしも其後內地の施肥季來を控へ豆粕の動き相當に活況を呈し來り折柄の北洋材の積取好調に依り大連への回航船減少の矢先御用船の撤廢に出會し船主側へ値段に硬化し、就く遂に同方面の豆粕運賃は三十錢見當を唱へ一氣に六七錢方暴騰を演出した、これがその阪神九州方面の運賃又昂騰氣配を呈するに至つたが幾何もなく山東撤兵の延期及び大型船の臨時回航頻々なりしため再び平調に歸し、其後は氣配夏季に向ひ一般に軟弱傾向を示し阪神十一錢、橫濱十三錢處を唱へた、遠洋航路では北米向け雜穀が同地の關稅增徵說其の他に依り依然荷動き捗々しからず、運賃も前月後半の安値をその儘に移して二弗七十五仙を唱へた、然るに

◇…歐洲向大豆 は折柄の當地…◇

市價低落と爲替の回復により成約を得たが船腹が比較的に潤澤なりしため運賃市況は案外に伸びず、依然二十五志見當で終始した

消費組合に對する遼陽の對策決定

骨子は組合機構更改

滿鐵社員消費組合問題は屢報の如く各地商工會議所の蹶起となり、いよ〳〵具體的對策運動に移りつゝあるが遼陽實業會及び輸入組合では再三協議の結果、左の如き對策案を得、二十六日大連商議へ參考資料として送附して來た

一、滿鐵社員消費組合支部を市民に讓渡方要望の件

消費組合の市民への讓渡は單に遼陽邦商の窮狀を救濟するに力あるのみならず從來滿鐵社員の消費組合に依りて得たると同一の恩惠が一般市民にも均霑せらるゝ事となるのである(中略)即ち讓渡の結果は邦商の賣上高は倍加し假令利益率を徵減するとも收支償ふに至り邦商の地步は從つて鞏固となるに至るべし、利益率の輕減は次に述べんとする仕入の合理化と相俟つて市價を安定ならしめ華人側への進展漸く容易なるを見るに至るべし斯る點よりして消費組合の市民に讓渡を切望す

二、消費組合中央配給所を邦商の仕入機關とせられ度し

消費組合中央配給所は大々的仕入機關となり小賣商をして大量購入の恩典に浴せしむべく、邦商は斯る機關を有することに依り徒らなるストックを省くことを得、資金の回轉又從つて圓滑となり華商の圈內に進出する機會を增加すべし、而して輸入組合は邦商の監督機關となり邦商の中央配給所に對する決濟を保證する事、物價は現在消費組合の販賣價格を以て指定價額とし邦商又この指定價格を超ゆるを得絕對的に之を守り反則者には組合罰則を設くる事

三、滿鐵消費組合の邦商に與へる打擊

消費組合中央配給所は凡ゆる物品を網羅して之を沿線各消費組合に配給し(中略)しかし商品の運賃、關稅を組合利益中より負擔し以つて中央と沿線との販賣價の均衡をとりつゝあり、故に市中物價との間に大なる開きの生ずるは必然の結果にて、邦商苦境いよ〳〵深刻を極む、去る十一月一日以來消費組合の現金割引に對し市內九十餘の邦商も亦之に追隨割引を行つたが根本的小賣價の値開きは如何ともなし難く、賣上高は各商店共に安し(中略)邦商の生活は漸次脅かされつゝあり。(後略)

安取株主總會

安東取引所は二十四日午後四時より本社樓上に第十八回定時株主總會を開催し豫定の議案を可決した後理事の選任を行ひ

一、常任理事米栖健助氏の辭任申出を承認後任常務は補充せざること

二、理事荒川六平氏の辭任申出承認

三、理事三名選擧の結果山田三平、山本高一、豐澄泰司の三氏當選

右可決確定午後五時二十分散會した

露支交涉成行と北滿貨物の南下

增減二樣に觀測さる

露支關係の惡化以來北滿貨物の南下數量の激增せることは屢報の如くであり此の傾向は特產出廻り最盛期たる十一月末より十二月にかけて著るしく一日の

◇南下數量 五百車を突破することも敢て異とするに足らぬ盛況を呈してゐるが、去る十四日以來哈爾賓に於ける露支豫備會議の開始によりて露支關係解決を氣構へて稍南行を差控へたるもの〻如く總計に於ても幾分南下數量の減少を見たるが、此傾向は東部南部兩線に於て著るしく殊に東部線にありては上旬一日平均百五十車內外であつたものが十八日には僅かに六車の南行貨物を出したといふ

◇珍現象を 示して此の間の消息を雄辯に物語つて居る、今試みに本月一日より二十三日迄に於ける南下貨物數量を各線毎に比較對照すれば左の如くである

	西部線	ハルビン管區	東部線	南部線	合計
一日	一二九	七〇	一四四	一九四	五三七
二日	一〇三	一二七	一五七	五四	四四一
三日	一〇九	八四	一九九	七八	四七〇
四日	九二	一四九	一〇一	一三三	四七五
五日	一六五	八五	七〇	一三一	四五一
六日	一三四	一二五	一七〇	八〇	[illegible]
七日	一二九	三九	八九	九〇	三四七
八日	一六九	一五二	一六〇	二〇	五〇一
九日	一三三	一〇七	一七一	一七八	五八九
十日	一四〇	二九	八八	一五一	四〇八
十一日	一二九	一三一	一〇六	八二	[illegible]
十二日	一四三	八四	七四	一二五	[illegible]
十三日	一四三	六五	六二	一三一	[illegible]
十四日	一七八	六二	六九	九三	四〇二
十五日	一三一	六八	四三	一六六	[illegible]
十六日	一八二	五四	四二	三一	三〇六
十七日	一六〇	七〇	一二四	六四	[illegible]
十八日	一二八	六六	六	七七	二七七
十九日	一二九	七七	一八	五二	[illegible]
二十日	一三三	一三六	一六八	一五	[illegible]
廿一日	一九二	六〇	二	二七	[illegible]
廿二日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廿三日	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

即ち右表に於けるが如く西部線、ハルビン管區に於ては大體何等の變化を認め得ないが、東部、南部兩線に於ては月半以後和平解決を氣構へて南行

◇差控への 傾向顯著なるものが看取され而も、二十日以後に於て合計數量では又復盛返したる事情を示してゐるが、之は去る十九日に大體の協定を見たるもの〻更に細目協定に於て遲延すべきにあらざるものか否かと憂慮したものと消息通は觀てゐる、大體右の如き事情にありて豫定の如く露支關係が圓滿に解決さるれば南行貨物の漸減は免れざる所であるが、一部に於て豫想さる〻が如く細目協定の件について

◇交涉遲延 を招來するが如き場合は今迄南下を差控へてゐた反動として更に南下數量の殺到を來すべしとの二樣の觀測が行はれてゐる

關東州鹽の朝鮮輸出を期待

本年相當滯貨を見ん

販路擴張に惱む關東州鹽は兩三年來生產制限により辛うじて調節を圖りつゝあるが本年も採鹽を一ケ月操短し總收穫四億斤を見た、而してストック二億斤を合せ六億斤の鹽に對し目下內地及朝鮮方面の移輸出に努力しつゝあるも依然香ばしからぬ事情にあり本年も相當のストックを生ずるものと見られてゐる、しかし朝鮮輸出は明年四月一日から總督府の特別關稅撤廢に伴ふ外鹽管理の結果、關東州鹽には有利に展開するものとされ、明年度朝鮮輸出に非常な期待がつながれてゐる

開取金票受渡高

開原取引所十二月二十五日限金票受渡高は九萬二千圓で前限に比し一萬圓增加受渡標準値段は七千六百九十一圓四十錢前限に比し三百二十六圓八十錢高である受渡ず合せ左の如し(單位千圓)

▲賣方 東永茂四三、同順成八、德增祥九、愼德成六、外十二軒

▲買方 滙源達三九、增益通一一、大德潤一〇、純盛茂九、華日勝八、福隆源七、義恒達五、廣信恒三

經濟雜話

貿易大勢

經濟界の打開策は 產業合理化

本年の貿易は輸出入共に昨年より增加してゐる、輸出だけではない、輸入も增加してゐるのである(一月から十一月迄單位千圓)

	輸出	輸入
昨年	一、六六六、〇五五	一、九九二、四三三
本年	一、九六八、二三六	二、〇三六、四五七

輸入增加

政府が消費節約を宣傳してゐるのに、どうして輸入が增加したか增加したのは概して上半期の事で今の政府の出來る以前の事であるから仕方がない。

何が增加したかといふに殆ど何もかも增加してゐる、然し輸入品の第一位に在るものは棉花であるから、先づこれに就て調べて見やう昨年は一月から十月までに四億三千七百萬圓ばかり買つてゐるそれが本年は殆ど五億圓になつてゐる、上半期の高いところで餘計に買つて、下半期の安いところで買控へになつてゐる、銑鐵の如きは昨年は一ケ年で三千六百萬圓、本年は十ケ月で既に四千萬圓を超えてゐる、輸入の增加した品物を擧げるよりも減つた方を擧げた方が話が早い、減つたものは羊毛、毛絲、毛織物、銅、木材等で、其他は增加してゐる。

要するに輸入は增加したが、然しそれは多く上半期中の事で、下半期になつては概して漸減となつてゐる。

輸出も增加

輸出品も殆ど萬遍なく增加してゐる、生糸、綿布、絹織物の樣な重要品も大に增加してゐるが、それよりずつと金額の少い物が孰れも增加してゐる、例へば陶磁器だとか、メリヤスのシャツだとか、罐詰、ビン詰、玩具といつた樣なものも大に增加してゐる。

貿易と景氣

金本位を維持するには國際貸借の平均を保つ必要がある、つまり輸入を抑へ、輸出を盛んにせねばならぬ、さうするには國內の景氣を惡くして置く方がよい、國內で物が賣れない樣にして置けば自然輸入が減る、唯問題は何もかも賣れない樣にして置くべきか、それとも今少し研究して消費を制限すべき品目を定めるかである。輸入

のみではない、ドイツでは國內の景氣が下火になれば輸出が增加するといつてゐる、生產品の捌け口を外に求めるからである。

產業の合理化

國內を不景氣にして置いて、それで辛ふじて貿易のバランスを保つといふのは一時の弱策である、決して永續きのする經濟政策ではない、これは最早議論のないところで、政府もこれからは產業の合理化に依り、生產費を切下げて、それで輸出の增進を圖らうとしてゐる。

ゾルフ博士

前駐日ドイツ大使ゾルフ博士が先般ベルリンに於て日本の經濟事情に就て一場の講演をした、曰く

ヨーロッパ大戰後、段々と輸出が減つて來たので日本は國內の市場を防禦することに苦心し始めた、自給自足といふ事を唱へて保護關稅を高くし、輸入を防いで何もかも自國で作らうと焦つてゐる、これは輸出に依つて貿易のバランスを保つ樣にする事が出來ないからである、然し私(ゾルフ博士)はこの自給自足政策は永續きせぬと思ふ、保護政策は消費工業を害する、一般消費者も迷惑する、其の上にジュネーヴの國際經濟會議の影響などもあつて、自由通商主義が識者の間に勢を得て來た。

輸出增進策

ゾルフ博士は日本の輸出增進策に就てこふ言つてゐる、インド、南洋、支那にかけて役人を派遣したり、見本市を開いたり商品陳列館を設けたり、色々してゐるが、そうした事よりも先づ以て國內に於て生產組織を合理化し、良い品を安く生產するやうにした方がよくはないか、日本はマーク安定後のドイツに似てゐる、日本の經濟の行詰りを打開するには日本の生產機關を世界の進んだレベルに引上げなくてはならぬ。

黃塵

◇…本年も餘すところ五日で泣いても笑つても越されずとも越さねばならぬ年の瀨が迫つて來た

◇…年初巳の年の緣起を祝つて本年こそ巳成金と夢みた人も多かつたが全ての希望も蛇尾と化して了つた。

◇…例年ならば株市場なども春高見越して一寸景氣づくところであるが來年は恒例の餅搗相場もなく寒枯烏の鳴くやうな寂れ方だ。

◇…株式が數年來の新安値を示すと錢も開市以來の安値に足る、何もかも大安賣時代だ。

◇…全てが受難時代だが陰の極は陽氣の萌するところとでもあきらめて不景氣な年を越すより外なからう。

市況

特產

材料薄で各品平調

休日明け今朝の市場は差したる材料もなく各品共に平調[illegible]つた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位

[illegible]

▲豆粕(保合)單位

[illegible]

▲豆油(保合)單位 七萬五千枚

[illegible]

▲高粱(强調)單位 四千五百箱

[illegible]

◇現物前場(銀建)

[illegible]

定期喰合高(廿四日現在)

[illegible]

錢鈔

倫敦銀塊安乍ら鈔票蹉り

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿一片十六分の十三と(十六分の一安)先物は二十一片十六分の三と八分の三と八分の一高[illegible]

◇定期取引(單位)

[illegible]

◇現物取引(單位)

[illegible]

商品

前場

[illegible]

株式

內地保合乍ら五品弱含み

[illegible]

市場電報

銀塊及爲替

[illegible]

棉花

[illegible]

大阪株式

[illegible]

東京株式

[illegible]

大阪期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

大阪綿花

[illegible]

神戶豆粕

[illegible]

橫濱生糸

[illegible]

印度麻袋

[illegible]

奧地市況

[illegible]

後場(保合)

[illegible]

爲替相場(正午廿六日)

[illegible]

手形交換高(廿六日)

[illegible]

公示催告

[illegible]

關東廳地方法院

平安異香 (211)

集多默太郎作　一瀾畫

奔流（九）

朱雀大路もこの邊は所謂官衙街で、北の詰が諸官衙を含む大內裏で、大路の兩側には大學寮、弘文院、左京職右京職などが、塀を列ねてゐる。したがつて、往來の車馬に絕え間がなく、その間を縫つて行く一人の女を見失ふまいとすることは、かなり骨の折れる仕事だつた。

お秀を右京職の前に見ながら、からつけつの獄兵衛は、大學寮の背塀に沿つて跟けてゐる。

向ふの二條大路の辻、朱雀院の角に、赤穴の太吉が先廻りをしてゐる筈である。

左京職の築地にかゝつた時、腰をかゞめて、中間を遮つた牛車の下から覗くと、二條の辻の溝石にしやがみこんでゐる太吉の姿が見えた。

太吉は、たしかにお秀をそれと認めてゐる樣子だつた。その目つきでよく分る。

此方へ向つたら、殺しの合圖をしてやらう――獄兵衛はさう思つた。

太吉にお秀を渡しておいて、例の、先廻りをしようといふ獄兵衛の肚だつた。

が、偶然にその太吉が立上つたので、獄兵衛はびつくりした。

はつとなつて、お秀の步いてゐる筈のあたりを見た、が、姿がない。周章てゝ、車を避け、馬を遣り過して、その邊一帶を目で探しまはつたが、駄目だつた。

そんな筈はない、と思ふがゐないものはゐない。

太吉に合圖をするために一寸目を離した、その寸隙の出來ごとである。奇怪である。

太吉が知つてゐるだらう――

獄兵衛は馳だした。

太吉は道の眞中に立つて、腑拔けた態をして、獄兵衛を待つてゐるのだつた。

「お秀はどうした、太吉」

いきなり獄兵衛は太吉の腕を摑んで、ぶつゝけるやうに云つた。

「お前見てたらう」

「うん、見てたんだが……」

「見てたんなら、お前はどうならどう、からならから――お秀はどうしたんだ、一體？」

「お前は？」

「おれか、おれはお前に合圖をするんで、一寸目を離したんだ。顏をあげたらゐねエ」

「車が來たのよ、そらあの車だ。お秀があの車の蔭になつたんで、出て來るのを待つてゐると、それつきり出て來ねエんだ。變に思つて、向ふ側を見たがゐねエのさ。向ふ側だからお前には見えてた筈だがな」

「そんな馬鹿なお前――だが困つたなあ、狐につまゝれたやうな按排だ。どうしやがつたらうな」

「から先刻から見てるんだが、あの車が怪しかあねえかな」

「一味の車だといふのか」

「ないとはいへねエぜ」

外に考へやうはなかつた。目顏で知らせて左右に分れ、目差すその牛車をやり過ごしておいて、兩側から跟け始めた。

牛は逞しい伊豫產の黑牛だつた車は茜色の漆に貝を塗りこんだ驚嘆なもので、物見窓の簾越しに人の顏がチラ／＼するが、誰とも判らない。

牛車は二人の尾行者をつけたまゝ、悠暢に縱大路を練り步いて、午下りも大分更けた頃、加茂川を東へ渡つて東山にかゝつた。

變な所へひつぱりこみやがる――と思つてゐると、道の行手に丹塗りの樓門だ。

「やあ、太吉、勸修寺さまぢやねエか、あの門は」

驚いてゐる間に、ギーぴたりと車が着く。門が開く。牛をはづすと、なまめかしい裝を飜へして女房衆が二三人出迎へて簾を揚げると、車の主が現はれた。でつぷり肥えたお職の方の艶姿である。女房の扇をかりて車を下り、物憂きさうな步みを運んで、門內深く入つてしまつた。

下郎が空になつた車を門內へ引込み、門がギーぴしやんと閉まつて、牛小屋で牛がモウとないてゐる。

「太吉よ、わしやもう、こんな稼業がつく／＼厭になつた」

獄兵衛は道の眞ん中にべつたり坐つてしまつた。

映画と演藝

俳優を呼ぶ 常盤座

（三）正月映畫陣

連鎖商店街の繁榮策としては生れ出た常盤座は年末に開館し正月興行より華々しく客を迎へるべく着々と準備を進めつゝあるが、正月興行は第一週にマキノ時代劇特作品の「天保水滸傳」を內地と同時封切し加ふるに洋畫映畫として注目されて問題を惹起した東亞の時代劇特作品で嵐寬壽郎、原駒子主演の「鼠小僧一平」を組み時代劇週間となる豫定であるが「鼠小僧一平」は檢閲の都合で第二週に上映されるかも知れない、しかし現在第二週には壽々喜多呂九平原作のマキノ時代劇、南光明主演の「風雲兒」及び現代劇のマキノ智子、荒木忍主演の「父」を以てマキノ週間となし

喜樂會の狂言決る

歌舞伎座の初春興行に來演することになつた喜樂喜樂會は田宮米峰、秋月源之助をはじめ中堅揃ひの內容の充實した一座として期待されて居田宮米峰は成美團で鍛へ込んだ名前で花柳界方面の人氣を集めてゐるが、初御目見得狂言は笑劇「嫉妬」二場、喜劇「お染宗三郎」二場、社會劇「梅咲く頃」二場、新喜劇「裏と表」二場と決定した

呼話

常盤座は亂暴な設備が完成し開東劇場の施設を濟まして開館する日が益々追つて來たベローヤル映寫機に光を入れて「ヴォルガ」を試寫した▲未だ映畫人から注目されてゐた正月興行の入場料は五、七から六、八見當で大衆に呼びかけることになるらしい▲未だ浪速館は正月になつても最高階下四十錢止りでこれ亦安い料金で頑張るとのこと▲長太日活館主が昨日の船で歸つて來たが正月第一週以後六興分のプロを組んで來た▲その自慢の一つはパラマウント社からシネホーン發聲映畫裝置機と技師を雇き第一週から正月一杯トーキーを上映するといふ計畫である▲大物としては「四枚の羽根」と「ロイドの危險大歡迎」であるが、その間には一卷乃至二卷物の發聲映畫ニユースやヂヤズ映畫を上映▲そして技師一行は來る廿八日着の香港丸で着連すると

昭和の如くマキノ男女優が勢揃挨拶を行ひこの週間に盛大な開館式を舉げる豫定である、第三週はドイツデフ映畫のメリーカー夫人主演の母性愛を取扱つた「母」及びパテーデミル映畫モンテバンタス主演の「幸運馬鹿騒動」を上映して洋畫週間を催す豫定である、尙年末の開館が廿七日以後になつた場合は新築館第一週映畫の「ヴォルガ」及び「大利根の殺陣」を變更して正月番組に繰り入れるとのことである【寫眞は天保水滸傳】

浪華館　二十四日封切　本年掉尾大興行　◎帝キネ時代映畫週間◎
明石緣郎主演 **八百八狸**　片岡恒男、千草香子、都さくら助演　片岡童十郎
實川延松主演 **若衆劍豪**　片桐恒男、都さくら、實川延笑、望月禮子共演
松本田三郎主演 **幕末秘史町人魂**　長田芳川、金井龍三郎、千草香子、松枝鶴子力演
階下三十錢　切拔御持參下さい一枚で三名迄通用

演藝館　十二月廿五日封切　本年掉尾特別大興行
時代劇中の帝王寶玉蟲　市川右太衛門主演 **影法師大會**　―助演―　中根龍太郎　武井龍三　市川小文治　兒島武彥　マキノ清　鈴木澄子　松浦築枝

浪速館　全二十三卷同時封切上映！　二十錢　階下割引券は入りません
日活不朽の名畫！再び大連映畫界を席捲せん！　廿五日より大公開
日活池田富保吉例の大作品 **維新の京洛**　主演 山本嘉一、大河內傳次郎、河部五郎、酒井米子　助演 伏見直江、中野英治、梅村蓉子、外國澤瀬美
階下四十錢開放　…暖かで樂に觀られる…　昭和四年度の招待券は年內に御使用願ひます

大日活　二十六日ヨリ公開
別宮幸雄監督 **日の出前**　滌川るり子主演
階下貳拾錢解放
石田民三監督 **雪冤**　光岡龍三郎主演
監督仁科熊彥 **唐人蝙蝠傳**　鳥人　隼秀人主演

映画案内

二十七日より　本年掉尾の謝恩週間　階下三十錢解放！
ワレラが誇り一九二九年最高の名畫　牛原虛彥監督 **大都會勞働篇**　鈴木傳明、田中絹代主演
市川右太衛門主演 **素手鉢**
問題の人都さくら助演　戀はその日の出來ごころ **色氣たつぷり**　横尾泥海男、岡村文子
人氣沸騰々々　卅一日締切

帝國館

肺病、肋膜には　眞正 **獺の肝**（カワウソ）（獨逸醫學博士ニヤモノ氏推奬）大連市柴町二　佐々木洋行

淋藥界の最高權威

無効返金藥　二日のんでキキメなき時は殘藥引替に全部返金す（一ヶ每クスリ箱の內に無効返金證添付せり）

登錄商標　りんびやう こしけ **別府淋泉**　服用者大好評

別府溫泉で名高い岩里家の家傳秘藥　人迷せの賣藥のみ多き中に別府市中濱（岩里天然堂大藥房）發賣のりん藥は古來家傳秘藥にして男女血ウミ。痛。コシケ。消濁二日で止り速服するも絕對胃腸障害なき名藥であるが同藥は責任ある速効藥にして二日內服効なき時は殘藥引替に全部異議なく返金を實行し患者間に大なる安心と信賴を得益々好評を博せり急性慢性頑性治らぬ人は七日のまれよ申込次第新品送藥す

說明書實驗書進呈

藥價 一週分（黑箱）參圓 （赤箱）五圓　送料 前金無料 代金引換二十八錢 海外五十錢　振替下關八九四〇

◎淋病治療の栞數十頁の美本無代進呈

患者の神樣　五人が五人共服藥全快
拜啓貴堂益々御隆盛奉賀候就ては貴別府淋藥目下患者の神樣にして五人が五人共服用全快致し居り大いに喜びに堪へざる次第にて偉効絕大なる貴藥を拙者より厚く感謝仕り候向一層永久に効驗なき樣御願申上候
長崎縣西彼杵郡脇岬村　川原商店

知名新聞雜誌推奬
東京朝日　東京日日　大阪朝日　大阪每日　富士　講談俱樂部　實業之日本　主婦之友　及全國知名新聞廣告御參照

海外註文及醫院註文書の一部

東京講談社海外輸出
拜啓左記代金引替にて御送附下され度御願申上ます最も私共雜誌の外國讀者よりの註文で御座いますから
一週間分 黑箱 三圓
頑固用 赤箱 五圓
何相當時日を要することですから至急御送附下さる樣併せて御願ひ申上ます
東京本鄉駒込坂下町　講談社代理部

製藥發賣元 別府市中濱商店街 **岩里天然堂**　電話八七九番　振替下關八九四〇番

特約店募集
一、先約各町村一ヶ所限り藥店に限らず
一、金屬製美辻看板百枚特約店名入れ進呈
一、三錢切手封入申込次第規定書送附す

本欄特別廣告一手取扱　大阪今橋　第一廣告社

◇保溫十二時間◇

特許 炭化コルク製 **マホー飯櫃**

發賣元　大阪市博勞町 は 大谷藤四郎商店
製造元　株式會社 ヤマト特許コルク工業所
（各地家具・世帶道具店にあり）

懷爐界の革命兒！ **ミカサ懷爐**　ミカサ懷爐　懷爐灰

前帝國大學教授醫學博士 等諸先生御後援と御指導を得て一段と進步向上し殆んど完全無缺となりました

特長 「優美・輕便 無煙・無臭 保溫約十時間 價格低廉 衞生的優良品」

發賣元 は 大谷藤四郎商店　大阪博勞町
特約店　大連市浪速町　同 近江町　實業洋行　井上商行
（藥店・百貨店・小間物日用雜貨店にあり）

十二月一日より三十一日まで
熊井奉仕品色々
年末特價 一割引
大連市伊勢町角
カバン商 熊井洋行

滿洲日報
實業之日本 新年増大
輝く希望へ
青年の出世法 總理大臣 濱口雄幸
學資なき青年へ 松田源治
青年出世の新目標 高橋是清
出世する人の二大特長 久原房之助
希望に活き得る人
希望は前途を照らす 増田義一
金解禁後の國民の態度 大藏大臣 井上準之助
昭和五年の財界に寄す
愉快な生活 希望の生活
前途希望な青年へ
余が廿歳頃の希望
東京財界 富豪の角逐振り
邦人歡迎 海外發展地一覽
財界日本一番附
月給取をやめて百貨店主に
松永電力王の劇的な半生
鐵道省から私鐵へ入つた人々
人相判斷
社員から重役への要望
喫茶新養生法
長壽の三大要件
肺病の血統淨化法
六十錢 東京 實業之日本社
百萬圓をちよつと儲けた○○大福帳
初版再版忽ち賣切
世に勝つ
附 新豫言
法學士 湯淺一雄先生著 定價一圓廿錢
金解禁！深刻な不景氣の世に勝つ者の爲に、小説以上の事實談と其對策と的確な豫言を公開す
金儲け奇策相談所
我が日本の富の狀態
消えてなくなる一億圓の行方
打擊の一番大きい
解禁後どうして金を儲けるか
昭和五年度の財界
昭和五年度の政界
天文哲理 相場觀測秘傳
悲境から卅五万圓
解禁前後の世界成功美談
幸運と成功のチヤンスは
註文殺到三版出來
東京本石町 至誠堂
建築設計監督 宗像建築事務所
愈々出た！新年號の壯觀
野球界
昭和四年運動界回顧錄
六大學リーグ戰批判座談會
早慶戰批判座談會
博文館
美容と作法の寫眞畫報
主婦之友 新年附錄
四百十六頁の別冊大附錄
▲お化粧の秘訣
▲日本髮の結び方
▲洋髮の結び方
▲花嫁衣裳の着附
▲婦人式服の着附
▲男女洋服の着附
▲婚禮披露の作法
▲結婚儀式の作法
▲和風訪問の心得
▲洋風訪問の作法
▲社交ダンスの心得
▲日本料理の作法
▲西洋料理の作法
▲薄茶點の飲方
▲生花軸の飾方
▲贈答品の贈り方
▲吉凶の贈答
▲挨拶の正しい心得
▲客を招く時の心得
▲客に招かれた時の心得
▲家庭年中行事作法
▲公衆作法心得百ケ條
急告
此の外にも澤山の重要寫眞と記事が發表されてゐます。
此の大附錄を添へて『主婦之友』の新年號は僅か八拾錢です。雜誌店に賣切のときは東京神田駿河台の主婦之友社へ御註文くださいませ
二圓以上の價値ある大評判の畫報附錄
雜誌界空前の別冊大附錄でありますところで大評判でありまする。
勿論男子でも、知らねば恥となる美容と作法の一切の心得を、一粒選りの美人をモデルとして一々撮影した寫眞畫報であります。世評の如く二圓はおろか三圓出しても他では絶對に得られぬ、『主婦之友』獨特の新年附錄であります。
五百頁近い『結婚問題號』の本誌と二册で、定價は僅か八拾錢でございます。賣切れぬうち、至急にお求めください。

滿洲日報

露支交渉 その成立と正式會議への希望

去る七月以來の奉露紛糾、ハバロフスクにおけるシマノフスキー對蔡運升の折衝によつて、和平議定書に調印するに至り、豫備交渉の成立を見た譯である。來年一月二十五日までに、兩國は全權を任命し、モスクワに正式會議を開くことになつた。吾人は、モスクワの正式會議も、ハバロフスクの折衝の如く、圓滿に進捗し、一日も早く、北滿の地に平和の氣運の將來されんことを望まざるを得ない

◇

博克圖以西、東支鐵道西部沿線の慘情は、實に言語に絕するものがある。奉天側が、國際列車の運行を阻止したのも、全く已を得ざるところであつたと思はれる。勞農側の威嚇は、十二分に成功せられ、單なる飛行機の影に潰走した支那の軍隊は、好機逸すべからずと做し、平常の地金を暴露し、あらゆる掠奪を敢てしたのである。殊に奉天軍の胡軍は、黑龍江軍の梁軍などの地盤なりと思へるためか、慘澹たる修羅場を現世に演出したのであつた。この慘澹たる光景を、國際列車の窓前に展開することは、如何に厚顏無恥なる胡軍長らといへども快とせぬところであつたらう。果して國際列車は阻止せられた。その結果とでもいふべきか、ハバロフスクの交渉は捗々しく進展せられ、さすが蔡氏の支那式外交、例の遷延策、有耶無耶に當面を糊塗せんとの方策も奏功せず、つひに七月十日以前の原狀に還元するといふやうな、勞農側の當初の要求、殆んど全部を容認し、正式會議をモスクワに開かねばならぬ讓歩を餘儀なくされるに至つたものである。」

◇

併し、この事件の勃發した當時を追懷すれば、奉天側が、かくの如く讓歩を餘儀なくせられることは、蓋し當然の事理といはねばならぬのではあるまいか。最近、事每に退嬰的なる、北滿における勞農側の態度に對し、支那側は一擧にして勞農側の勢力を根絕せんと企圖したのであつた。そこに支那側の誤診があつた。而して東支鐵道といふ絕好の肉塊に對し、奉天側も南京側も、手段方法の巧拙如何を顧みる餘裕もなく、遽然として優先權を爭奪した。奉天側は、危く東支鐵道といふ肉塊を南京側から攫み去られんとした。然るに支那の形勢は一變また一變、さすがの王正廷外交部長も、東北三省から手を引かねばならぬ破目に陷つた。朱紹陽氏も周龍光氏も、ともに手を空しくして歸り去つた。南京政府の基礎が、動搖しかけたときに、勞農側は滿洲里方面より例の威嚇政策を敢てするに至り、つひにそれが成功し、奉天側は蔡を代表として敵領に派遣せねばならぬ窮狀に陷らせられたのである

◇

かくの如く觀じ來ると、東支鐵道に對する奉天側ならびに南京側すなはち支那側の策動は全く失敗に歸したといはねばならぬ。が併し、もと〳〵支那側としては、正々堂々たる外交手段によるにあらず、無理押しに東支鐵道の回收を敢てせんとしたところに無理が存するのであつて、かくの如くなるのが當然の結果と申すの外はない。而して支那側は、如何なる無理强ひも疲弊し切つた勞農のことであるから、何等の反擊やあらんと見くびつたところに大なる誤算があつたのである。然るに何ぞ圖らん勞農は飛行機を以て蹂躙し來つた。尤も、その勞農の飛行機なるものも、必ずしも優秀なるものにあらず、ただ支那側に比較すれば優秀といふ程度のものに過ぎぬのであつたが、逼足の立つた支那兵は一も二もなく退散した。勞農飛行機の影も見ず、音さへ聞かずに逸早く潰走し、その潰走の駄賃として例の最も得意とするところの掠奪を敢てして、西部沿線に荒涼たる光景を演出するに至つたのである

◇

併し、かくなる上は、何といふても、一日も早く平和解決を成立せしめねばなるまい。勞農側は、如何に赤色帝國主義に燃ゆるところあるにしても、平常の主張の手前（カラハン氏の言明などは知らざるもの〻如く）七月十日以前の原狀還元以上の要求はなし得ぬであらうから正副管理局長の新任命によつて、從來の勢力を挽回することに努めやうとするのであらうが併し、今日の北滿における奉露の現狀より考察するときは、まづ原狀還元といふことによつて、平和解決を期するより外に方法は殆ど見し得られないと思ふ。殊に、もと〳〵支那側が無理を通さんとして、敢て正々堂々たる外交手段に訴へることをせなかつた奉天側に重大なる手落ちの存することを認めねばならぬ以上は、勞農側の申出でを容認せねば、平和の將來は不可能と認められるからである。

◇

奉天側は屈服した。已むことを得ずして讓歩した、が併し、また支那側の情勢如何では、折角の正式會議も、果して豫期の如く開催され得るや否や、逆睹し得ぬものがある。といふのは、支那側の外交方針なるものは、常に動搖を示しつ〻あるからである。併し吾人は、今日となつて既引外交に沒頭し、正式會議の開催を不可能ならしむるが如きことは、決して北滿に平和を將來し得る所以でないばかりでなく、實に支那の對外前途を誤るものといはねばならぬ結果にならぬとも限らぬのであるから率直に全權を任命し、これをモスクワに對し正式會議の成立によつて平和的の國際關係を確立することに努むべきである。勿論、露支の關係は、その國境線の延長し、かつ利害の出入複雜せること、他に類を見ぬほどであるから、一朝一夕にこれを解決し去らんとしても、それは不可能事と申すの外なく、將來、必ず事案の惹起せらる〻ことは豫想に難くないところである。されば如何に、モスクワに正式會議を開催し、當面の紛糾を解決し得たりとするも、それが露支間の根本的平和解決となり得ぬことは露支問題の本質的關係上、當然のこと〻いはねばならぬ。が併し西部沿線における如き光景の演出は、一日といへども吾人の堪ゆるところにあらず、また東支鐵道により歐亞の連絡は、これまた一日たりとも缺くべからざるところであるから、ハバロフスクの豫備交渉の成立と共に、モスクワにおける正式會議によつて露支平和の解決され、北滿の治安が確保されんことを望まざるを得ぬのである。

金庫を空つぽにして城明渡しの方針
收入金を片端からどし〳〵使ふ 東支管理局の連中

【ハルビン發】東支管理局にては近くソウエート政府から新任正副管理局長が赴任して來るので會計の收入金は全部何等かの名義を以つてロシヤ側へ城あけ渡しの際は一文も殘さない主義で、各關係官公署から色々の費目を設けて支出してゐるが、教育廳からは一九三〇年度のソウエート子弟教育機關の經常費として百二十萬金貨留を理事會の手を經て要求した外、張國忱氏は行きがけの駄賃の意味が交際費として廿四日一萬八千元の支出を受けた、この調子ではソウエート側が管理局へ乘り込んだ時は金庫は全くからつぽとなつてゐるだらう

結局支那の失敗
勞農總領事館の檢擧

【ハルビン發】哈府に於て調印された議定書が發表された內容のものとすれば支那側の試みた七月の東支鐵道のクーデターは結果に於て支那の失敗以外何ものもなかつたことを證明してゐる、其れは五月勞農領事館を檢擧した際逮捕した三十六名の政治被疑者を赤化運動の集會として拘引し其れによつて呂榮寰督辦がエムシャノフと、エスイモンドの正副管理局長を驅逐し支那は世界に對して「ロシヤは東支鐵道により赤化運動を行ひ東洋の平和と人類の共同禍祉を紊るものだ」と聲明したことも全く一種の口實に過ぎなかつたことを裏書するものだ、何となれば五月一日以後の檢擧者三十六名も其後の拘引者と同樣無條件で釋放することを今回の豫備會議に於て承認したものであるから、支那の主張は最初から意義をなさなかつたことに歸着する、これでは東鐵のクーデターは一種の支那が利權回收に濫用した誇張的なものであつたことに

問題は歸着

する其ればかりか既に右三十六名は第一公判を終りいづれも被告は支那法により有罪と判決され高等法院に事件は廻附され審理中のものであつて若し本會議の交渉に基き其等のものが釋放されるに至れば支那の司法權は對內的に蹂躙され面目丸潰れとなるのである、これは最初の動機に支那側に十二分の不純があつたことを世界に暴露し、今後假令赤化運動を云々してソウエート側を壓迫せんとしても支那に信頼ができぬことになつた、これによつて東鐵間に職業同盟の復活は認められるであらう

禍根を殘す
呼倫貝爾問題 正式會議にも支障

【ハルビン發】ハイラルに蒙古軍が駐屯してゐるかどうか、支那側はブリヤート軍約三千が駐兵してゐるのでこれを撤退せぬ限り露支正式會議を開催することはできぬと主張し交渉は一時停頓した模樣である、然し決裂には至るまいと樂觀說が多く近く

正式會議は

ハルビンに於て開催される豫定で、モスクワ政府に對し會議地、日時、及全權代表の交渉中であると言はれ十九日には殆ど大綱は成立した、然し蔡氏の歸哈確定が遲れたのはハイラルのコロンバイルを支持せる蒙軍の處分方法であるが、ロシヤは全然關係はないと主張してゐるためこれが撤退の保證を得ることが困難となつた、コロンバイルとしては經濟的獨立は到底不可能で且つ政治方面にしても外蒙古の支援を得る必要あり旣報の如く外蒙、內蒙、コロンバイルの

聯盟成立し

ロシヤとの軍政密約も締結されたと支那側は傳へてゐるため、東北四省としてはコロンバイルの獨立は背後の脅威となり今に於て撤底的に統治權を確立する必要あり、將來東支鐵道の問題と共にコロンバイル事件は種々なる意味により紛爭の禍根を殘すものと憂慮されてゐる

旋盤工を振出に
今は時めく勞農の寵兒 ラ新東支管理局長

【ハルビン發】東支管理局長に任命されたラドウイ氏は一八八七年生の四十二歲の働き盛り、一九〇七年に南西鐵道の旋盤工を振出しにイノケンスキーに與し革命運動に參加しシベリーに逃亡十月革命後ドルゴム本部員となり、鐵道警備守備隊長、第三軍副司令からペルム、トムスキー後貝加爾鐵道長に就任、一九一九年交通部總務局長、南露鐵道長官に歷任し、ウクライナ地方に於ける革命で破壞された鐵道交通の整理に當りて令名あり、一九二五年

獨逸に到

り聯絡會議に出席し歐洲の各鐵道を調査し、人民交通委員會參與官となり功勞徽章を受けること二回、中央交通部の中樞人物で不惑の壇にあり春秋に富む

デニソフ氏は、ハリコフ鐵道に在職し技師であつたがボロネスイ鐵道に約十七ケ年勤續、後一九二四年長官となり、人民交通委員監察官で純然たる技術者である、本年五十三歲、モスクワ大學

經濟部の

教授であると云ふラドウイ氏は純眞の黨員で手腕は特にモスクワ政府に於て見拔いてゐるから政府の信任も厚く露支紛爭の後に於ける局長として艦に其重任を果すやう期待されてゐる

投書歡迎
新聞行數五十行以內のこと
中傷を目的とするものは採らず

自他の足許を見よ
奧地生

予商人に答ふ、君は僕に向て高處に着眼せよと云はれたが勿論夫れも惡くは有るまい、然し僕は君に向つて自他の足許を見よと勸告する、奉天や長春や哈爾賓其他各地の支那商が前には日本其他列國の商人を控え後には亂暴至極なる自國の政權を持ちながら着々健實に發展して行くのは其原因那邊に在りと思はるゝか、僕は君の滿蒙發展なる語を聽て臍が茶を沸かすの感を禁ずる事が出來ぬ、滿鐵沿線などにへばりついて滿鐵消費組合などを眼の上の瘤に騷ぎ廻る樣な君等が一番[illegible]間共であるのだ、君等が[illegible]州や滿鐵附屬地內に蠢動して同十尉を[illegible]やるが如きは僕等には問題では無い、僕の住める奧地では日本商人が暴利を貪るので支那商に敗退せしめられつゝある、滿鐵消費組合は消滅しても此讎敵を如何せんや故に一方に滿鐵消費組合など有つて君等の如き暴利商人を牽制するといふ事は却て君等の爲めに成ると云ふのである、君等こそ更に高處に着眼して滿鐵消費組合などを眼中に置かず、宜しく勸勉と節約とを以て成功の道に進み給へ

大日活館主に一言
日活子

貴館の日に盛んに月に進みつゝあることを心からお祝ひする、私は開館以來每度觀賞してゐる一人である、ところで甚だ失禮ながら私の氣づいた點を揭げて御參考に供したいと思ふ

一、オーケストラを映寫間に聞かして貰へるのは大變良いと思ひます、けれ共折角の奏樂を無聲のまゝ聞くのは周圍に氣が散り又騷々しくなり勝ちですから此處は改善して青色の電燈を舞臺の上から幕の上に放射し幕に幻燈式にて奏樂名を寫して（映寫機を利用して）靜かに且つ「センチメンタリズム」になつてきゝたいものです、慾を云へば「コンダクター」を立たしむれば猶ほ結構と思ひます

二、映畫觀賞中次から次へと入場者のある每に入口から光線が入りやかましい音のするのは實に不愉快なものです。此の點も改良願ひ度い左すれば貴館に對する吾々ファンの憧れは益々強くなり一層進展するのは疑ひなきことゝ信じます

南征雜錄 (6'8)
難波勝治

曾遊の地香港

汕頭から香港までの沿岸は、廣東省に於て最も早く開けた地帶だが、其間に海賊の巢窟を以て名高いバイアス灣がある、暗礁の多い險礁らしい海景色は何となく無氣味だ、香港は曾遊の地だけに觸目の山川いづれも懷しく、行く手に突つ立つヴイクトリヤ、ピークば時の變化を知らず翠に

翠色滴る

ばかり、午前七時滿ぎ上陸して東京ホテルに落着き、その間と午後とを市中見學に費したが、六時から山下君と案內者支店の石磯君に導かれ、自動車を驅ふて例の島巡りを試みた、深水灣、レパルス灣、アバーデン、デイリフアム牧場と二十五哩のアスフアルト道路を驅け行く愉快さと好風景とは、多くの旅行者が既に經驗して周ねく傳へた所だが、私は特にアバアデンの民船輻輳狀態を好愛する、南方支那の富を吸收して建設された香港は、經營者たる英國が最も大なる努力を

その經營

に傾注した所だが、それだけ彼等の生活を花々しくする爲めの設備は整ふて居る、唯歐洲戰爭以來の市況は何となく衰退した、それは英國の活動力が鈍つたといふよりも、寧ろ支那累次の動亂が民力を疲弊せしめた爲で、四港の貿易額は大正九年度の二億一千二百餘萬圓を最高とし、爾來年々落潮を逐ふて居たやうである、併し市街其者の繁昌と雜沓とは益々其度を加へた、最近の推定人口五十餘萬、九割八分が支那人で外國人は一萬三千餘に過ぎぬが、その中英國人七千八百八十九を一位として、次は

日本人の

一千六百二十七米國人の三百七十四、ドイツ人の百十などが重なる數字である、支那內部の不安が租借地の人口を激增さすのは同國の共通現象だが、昭和二年度に廣東其他の地方から香港に流入した支那人は約十萬あつた、これが理論上租權の回收が盛んに絕叫されながら、實際問題として頗る矛盾の多い譯だが、內外の經世家は此點に冷靜な注意を拂ふ必要がある、島廻りを了つたのは午後八時半、十時出帆の龍山丸に乘込んで廣東に向ふたが

同船者の

中には廣東博愛會醫院長鷲見讓一博士と、同院の事務長久保八二君とが居た、鷲見博士は曾て滿鐵醫院に在職した人で、今は臺灣總督府に籍を置いて居るが、久保君の談によれば、醫院刻下の年收は約九萬圓、總督府の補助九萬圓を加へて計十八萬圓に過ぎぬ、併しこの少額の經費で診察された患者數は、每年延人員三十二三萬人、廣東方面に於ける日本人の聲價は一般に良好でないが、その重な原因は營養の不足にある、支那の博愛事業はこの點からも頗る有意義だが、唯經費の少ない爲め

十分活動

し得ないのが遺憾だと、廣東は北緯二十三度に近い地點にあるが、眞夏の珠江畔は風落ちて流石に暑い、殊に十二時以後電扇の止められた部屋の中は蒸風呂のやう、素裸でベッドの上に橫はつて油汗は絕えぬ、讀書を拔く爲めにベエスンの水筒を搖ると湧きでるものは飴色の濁水ばかり夜一夜マンジリともしなかつたが翌朝五時過ぎ起床して甲板に出で微風に吹かれながら黃埔江近の要塞を望んだ時初めてホッとした、

朝炊ぐ

煙縷う立騰つて江上に點々する名物の蜑舟には、漁夫か運搬業者か櫓を操る年增女の影長く波間に搖曳する、船が廣東に近づくにつれて蜑舟の數は加はり、六時三十分上陸した埠頭の邊りはそう一面の船構だ。（寫眞は珠江埠上の景）

滿日詩壇

高[illegible]將軍周甲大慶席上疊韻二絕呈政　李文權

將軍假武喜修文　荻筆生涯興不群　更是今年剛一歲　鬢々白髮上鳥雲

同倫同軌復同文　伯樂如何相馬群　話到漢江前日事　儼然紅袖女如雲

登錄商標

たんせきぜんそく

エ翁曰く
撰擇を誤らずば不可能といふ

口は禍の門、たんせきは萬病の因。直接人間の呼吸に關係する病氣ゆゑ、治療を怠ると飛んだ災難を引起します。

慢性のたんせき、ぜんそく
何病にても慢性は習慣性となつて一寸癒ぎよいので油斷と成り勝ですが、たんせきぜんそくの慢性ばかりは後々まで怖しい。

急性のたんせき、ぜんそく
急性慢性ともたんせきがコヂレると肺炎、肋膜炎、肺腺、肺結核となりて十中八九は不治となります。

健康者老齢者の痰咳
健康者でもたんせきぜんそくには罹ります。何、せき位ゐと思つてゐる内に取返しのつかぬ事となります。この時救ふのはたゞ一服の龍角散です。

龍角散

たんせきに龍角散を撰べ！
ことなし！

御婦人子供のたんせき
龍角散は婦人子供老人にも服みよく、服む度びに精神がサツパリして咽喉の加減が誠に宜しく、知らず知らず治療の目的を達します。

かゝる人は必ず試みられよ

- ◉たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
- ◉ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
- ◉せき頻りに出で夜中眠り兼る人
- ◉流行感冒より起るたんせきの人
- ◉肺病にて常に力なきせき出づる人
- ◉たん臭氣を帶び時々血の交る人
- ◉音聲のかれ又咽喉のいたむ人
- ◉百日せき又ははしかせきの小兒

其他如何ほど變性頑固の呼吸器疾患のたんせきも凡そ一二週間續けて服用すれば其效果は速かに顯はる。

定價	
四日分	三十錢
八日分	五十錢
十八日分	一圓
四十日分	二圓
六十五日分	三圓

本舖　藥劑師　藤井得三郎
東京市神田區豐島町
振替東京九一八九〇
電話須花一二〇五〇番

△全國各藥店にあり▽

三共の藥品

ブロチン

鎭咳祛痰に

肺結核、氣管支炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼吸器病に基因する咳嗽喀痰ある場合盛に賞用せらる。蓋し效果佳良、服用容易、副作用絕無にして常に安心して用ひ得る特徵あるに據る……………………

創製者　吉村醫學博士及内海學士の實驗報告集あり、　無代進呈す
粉末及錠劑、液劑の各種あり………各地有名藥舖にて販賣す

東京室町　三共株式會社
大連市山縣通一九三　株式會社三共藥品販賣所

消炎鎭痛塗布劑　エキホス

(エキシカ・ホスピン)

咽喉カタル　扁桃腺炎　氣管枝炎に

エキホスは特有の消炎鎭痛作用によりて、患部の腫脹・炎症を去り、疼痛を輕減し、保溫作用によりて爽快の感を與ふ。諸種炎症疾患に對して先づ採るべき理學的新療法として賞用せらる

エキホスは一回の塗布よく十二—二十四時間效力を持續す

適應症
肺炎、咽喉カタル、扁桃腺炎、氣管枝炎、肋膜炎、神經痛、ロイマチス、火傷、腰痛、打撲傷

一〇〇瓦（四十五錢）
二五〇瓦（九十錢）
五〇〇瓦（一圓五十錢）
一〇〇〇瓦（四圓五十錢）

株式會社　武田長兵衛商店　大阪市東區道修町
株式會社　塩野義商店　大阪市東區道修町

29—X. 8

大連市三町二番地
日下齒科醫院
電話三三六七番

寒さに向ふて頭が鈍る、トツカピン服んですぐ冴た

森永ミルクチヨコレート

一個　五錢・十錢・廿錢

チヨコレート通の召上るチヨコレートは……
パリツ！と割れる齒切れのよさ
舌の上でいつの間にか溶けてゆく絹二重のやうな滑かさ
これが森永ミルクチヨコレートの洗練された滋味・香匂なのです

ニセモノあり　商標の天使にクーマの記號

Morinaga's MILK CHOCOLATE
森永ミルクチヨコレート

榮養價比較表	
森永ミルクチヨコレート	五、一七〇
卵	一、六六〇
米飯	一、四六〇
牛乳	六九〇

C—6

コドモページ

子供の理科
龍巻のお話（二）
海面から天にとゞく物凄い水柱

一郎。さうすると、海に起る龍巻もやつぱり砂旋風と同じやうにつむじ風が海の水を巻き上げるのですか。

父。ところが、さうぢやないんだ。お父さんも船の上で二度ばかり見たことがあるが、それは、二度とも風のないまことに穏かな日だつた。

一郎。變ですねえ。

父。別に變なことはない、陸上に起る砂旋風と海上に起る龍巻とは全然その原因がちがふのだ。砂旋風は前にも話した通りに、太陽のために非常に熱く熱せられた地面の熱を受けて下の方の空氣が上へ上へと昇りその留守に四方から、溫度の低い空氣が押し寄せて來て起るのだから、原因は下の方にあるのだが、龍巻の原因は上の方にあるのだ。つまり、上空に溫度の不平均なところが出來ると、前の砂旋風の時と同じやうな理由で、空氣の渦巻が出來る。そして、その渦巻の勢が强くなればなるほど中心の空氣が薄くなり、空氣が薄くなる結果として空氣が冷て渦巻のまん中だけに雲が出來る。

一郎。どうして雲が出來るのですか。

父、それは、いつかも話したやうに、空氣中にある水蒸氣は、冷るとこまかな水滴となつて雲になるのだ。

一郎。お風呂場に冷たい風が入ると急に湯氣が出來るのと同じですね。

父。さうだ〳〵。そして、その渦巻の中心にある雲は、尾を伸ばしたやうに下の方に下つて來る。

一郎。どうして雲が下に下るのでせう。

父。それは簡單に實驗が出來る。大きなコップに水を八分目ほど入れて持つておいで、それから匙を一本。

一郎。お父さんがお飲みになるんですか。

父。いや、飲むのぢやない、渦巻きの實驗をするのだ。

一郎。これでいゝのですか（一郎はコップと匙を持つて來る）

父。これでいゝ、さあ、見てゐてごらん。

（お父さんがコップの水を一方に强くかき廻すと龍巻きの時のやうに眞ん中に尾が出來て、それが、强く廻せば廻すほど下の方に下つて來る）

父。どうだ、わかつたらう。

一郎。面白いなあ、僕も一度やつて見やう。

〔一郎さんもコップの水を匙でかき廻すと、お父さんの時と同じやうな尾が出來た〕

父。どうだ、よくわかつたらう。この尻尾が、づつと海面まで下つて來て、海の水に觸れると水面は非常な勢ひでかき廻され時には水が巻き上げられることもある。

一郎。水は天まで上るのですか、

父。水は高くは上らない。その時に天までとどいた水柱のやうなものが出來るが、それは、水柱でなくて雲の柱なのだ。

一郎。龍巻の尻尾が海のとこまでとゞかないとどうなりますか。

父。その時は丁度、天の雲から龍が尾をぶら下げたやうになるだけで海の水はどうもならない。それから龍巻の水柱が時々附近を通り合せた船の甲板に雨のやうに降り注ぐことがあるが、この水柱が海の水でない證據に決して鹽辛くないさうだ。これで龍巻の起るわけが分つたらう（をはり）

オハナシ
スミチヤントスケート（下）
ハルミチ

オウチヘカヘルトオーバモヌガナイウチニスケートノツツミヲヒライテ「ホラコンナイイノヲカツテモラヒマシタヨ」トウレシサウニオカアサンノハナサキデガチヤガチヤイハセマシタ。スミチヤンハオトウサンニテツダツテモラツテスケートヲクツニトリツケマシタ。モウハイテミルツモリデス。「マアオウチデスケートヲハクヒトガアリマスカ」オカアサンハアキレテミテヰマス。スミチヤンハ「ダツテダツテ」トイヒナガラタウトウハイテシマヒマシタ。ソシテオヘヤノナカヲメウナコシツキデアルキダシマシタ。モウスベツテヰルツモリデス。「スミチヤン、イケマセン、モウ十ジデスカラオヤスミナサイ」スミチヤンハオカアサンニタシナメラレテヤウヤクスケートヲヌギマシタ。「オトウサンオヤスミナサイ、オカアサンオヤスミナサイ」スミチヤンハヨウフクヲネマキニキカヘ、スケートヲマクラモトニオイテ、オフトンノナカニハイリマシタ。シカシスケートノコトヲカンガヘルトムネガワクワクシテナカナカネムレマセン。トキドキテヲノバシテハスケートヲイヂツテヰマシタガオヒルノツカレデイツノマニカネムツテシマヒマシタ。ソノバンスミチヤンハドンナユメヲミタデセウ。

ニドメノ大チヤンノタンケン（169）
ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤン ノ センスイテイハ ヨロコビイサム ダラスヤ アブナイトコロヲ ヤウヤク タスカツタ オヒメサマ ナドヲ ノセテ イキホイヨク ダラスノシマヘ ムカヒマシタ。センスヰテイハ マモナク、ダラスノ シマニ ツキマシタ。ワウサマハ ブジニ カヘツタ オヒメサマノ カホヲ ミルト ナミダヲ ナガシテ ヨロコビマシタ。コレモミナ 大チヤンタチノ オカゲデアルト ワウサマハ 大チヤンヤ オヂサンヲ ココロカラ モテナシマシタ。ソシテ ダラスハ ソノヒカラ タイシヤウニ ナリマシタ。

兒童の作品
くやしい地理
嶺前小學校五年　小関惠美子

夜おそくまでかゝつてしらべて來たノートや紙を見ると「どうしても澤山發表しなくちやいけない」と思つて一生懸命に「はい〳〵、先生はい〳〵」と手を上げた。けれど先生は前の人によく言わせて、私には一つも言わせて下さらないので、始めの中は、熱心に手を上げたけれど終りにはもう言わせてもらふ氣がなくなつて、地理がつく〴〵いやになつてしまつた。こんな時になると先生は大きらひになる。

先生が、時々わからない様な事を聞いて、他の人が手を上げて居ないので、自分はわかつて居るけれど「もし違つてゐたら」と思つて手を上げないで居ると先生が「誰もわからないのか」と言つて、先生がお答へを言つてしまふ、耳をすまして聞いて居るとやつぱり、自分の思つた事があつて居るので「あゝもう自分は地理のせいせきはだめだ」と思ふ。そして誰かの手を引張つて引ずり廻してやりたくなる。殘念で殘念でならない。けれども「今」力を落してしまへばもういよ〳〵見込がなくなつてしまふ。やはり今力を落してしまつたら下手な地理がなほ悪くなるから、やはりこれからは、復習をよくして、前あつた事は何時までも忘れないように心掛やうと思ふ。

▷▷▷▷▷▷▷▷
新刊兒童讀物批評
…大連讀物研究會發表…

四つの王
東京朝日新聞學藝部編、野口雨情、西條八十、葛原しげる、その他知名童謠作家等の童謠や小品を集めたものである。製本もよく紙質もよく表紙も子供らしい感じのいゝものである。内容も悪からう筈がない。兒童の課外讀物としては好適のもの程度尋一以上三四年まで　定價一圓三十錢、寶文堂書店

歐米ところどころ……（十四）
テムズ河畔のロンドン塔
阿左見福馬

歐洲大陸をかけめぐつて再びロンドンに戻つた。或日流血の塔ロンドン塔に行つた。庭の楡の木に烏が二、三羽悲しそうな聲をして首をたれてゐた。悲慘な話を殘した牢獄を思ひ出す。今は遊就館の様になつてゐるホワイト・タワー階段を上ると、圖の様な甲冑をつけた騎士の姿が澤山ある。潜水器の様な鐵の鎧を着てゐても殺されたのだから不思議だ。數ある刀劒の中に、日本からキッチエーナ元帥に贈つた名刀がある。廻り廻つて皇室の寶器を陳列した塔に入る。八面硝子張りの柵をのぞくと、目もまばゆき王冠の中に、一きは美しいジョーヂ五世の王冠がある。冠の頂きに柿大のダイヤモンドが光つてゐる。硝子に鼻をすりつけて婦人がいつ迄も〳〵動かない。

The Armoury, Tower of London.

愈よ石本大連市長自發的に勇退する

一月八日ごろの開會の市會で表明

紛糾漸く大團圓へ

田中大連民政署長は二十六日市會側代表大内委員長及石本市長代理仙波議員と別箇に面會懇談の結果久しきに亘つて紛爭を續けられた市長問題も圓滿に最後的解決の議を遂げたものゝ如く、署長は同日赴旅

關東廳に報告して諒解を受けることになつた模樣である、かくて市會の紛糾も大團圓を告げた譯であるが、右につき大内委員長は記者團に對し次の如く語る

市長對市會の紛糾は田中署長の調停により圓滿に解決することゝなつた、和解の條件に就ては明言し難いが石本市長の面目を立て殘務事務を整理して頂いた上で適當の時機を見計ひ自發的に勇退されることになつた譯である

而して同氏の口吻によれば辭職は明年一月八日頃開かれる市會當日を以てする模樣で調停條件は七ケ條と觀測されるが

嚴秘に附してゐる、之に對し市長側では「被調停者たる立場上返答出來ない」と極力口外を避けてゐる、因に和解の第一歩として議事打合せのため二十七日市參事會が開かれることになつた

陸軍特別大演習

明年は岡山地方にて

【東京廿六日發電】鈴木參謀總長は二十六日午後一時半參内明年度陸軍特別大演習につき大本營を岡山市に置き參加部隊姫路第十、廣島第五兩師團其他特科隊を以て施行するにつき上奏御裁可を仰ぎ午後二時退出した

オリンピックに行幸を奏請

◇—日本體育協會から

【東京廿六日發電】明年春五月廿四日から八日間東京に行はれる極東オリムピック大會につき日本體育協會は特に、天皇陛下の行幸を奏請する事となつた多分、陛下は體育御奬勵の思召を以て行幸を仰出されるものと拜されて居る

春に魁けて＝室咲の梅綻ぶ

山梨縣廳の備品差押へ

買收金支拂で

【甲府廿六日發電】山梨縣西山梨郡千塚村地主中澤國ほか一名は廿六日甲府地方裁判所に山梨縣廳の備品一切の差押へを行つた、理由は曾て縣が甲府中學校敷地として一坪二圓五十錢で兩氏所有地を買收されることゝなつたので、原告は其の價格を不當として前知事時代に訴訟を起し、東京控訴院は買收價格を七圓五十錢と決定判決したが爾來縣はその金額を支拂はぬ

乳吞兒を背の病妻

留置の夫へ米代の相談

この暮は淋しい大連署留置場

師走を行く（26）

年も漸く暮れた、早いところは既に門松の青竹に水々しい昭和五年の走りを覗かせ一年間諸々の塵穢れ煤拂も濟まして服つて置きの「お芽出度う」を待つてゐる、げに昭和四年も漸く暮なんとしてゐる併し上層、下層、裏面、表面といろ／＼錯綜したこの立體的な社會

がに太陽の恩光と雖も行きわたらぬところもある、警察の一隅留置場もその一つか！

◇

現在大連署留置場には三十四名入れられてゐる、去る二十三日を以て年内に法院に送る者は全部送致し目下内譯日本人十一名、支那人二十二名、ポーランド人一名で全部男許り、女は一人も居らぬが、十五もある留置場は近來に無い閑散さだ、例年歳末には七、八十人も收容者があり昨年末等は百餘名でゴッタ返してゐたが、本年は犯罪も緩和となつたものか、兎に角お芽出たい事である

◇

留置者の犯罪別も竊盜十五名、詐欺四名、横領四名及び拘留言ひ渡し十一名で歳末を控えて血腥い強力犯人の無いのは先づ四海波穩かに昭和の御代目出度し／＼と新春を迎へられるといふもの

◇

だが囚はれの身の哀しさに薄暗い凍りつく樣な板敷の上に慄へる彼等にとつては冷たい赤煉瓦一重の外に吹まく世間の師走風も直接身に觸れぬだけ、高い磨硝子の樣に凍結した窓を通して一入身に泌み入らう年の瀨を眼の前に四人の子供迄ある貧乏世帶を殘して夫は曳かれ、餓鬼に追はれた病妻は乳飲み兒を背負つて留置中の夫に晩の米代を相談に來るのも罪の裏に流れる師走哀話である、留置者で差入を受ける程結構な身分の者は僅か四、五人で他は皆日本人十一錢支那人八錢の盛飯に舌鼓を打つてゐる

◇

不景氣風は最近檢擧される犯罪の種にも如明に表はれ、一圓二圓の無錢飮食の廉で冷たい留置場に放り込まれる罪名は詐欺被疑者、陳列窓硝子を破つた血塗れの手に握つた一塊のパンの爲め、遂に無垢な一生を十數年の牢獄に送つた饑えたジャン、バルジャンの物語りに泣いてゐる者もあらうか——レ、ミゼラブル——

移動警邏班を實施

滿鐵沿線の警備力充實

きのふ發表された關東廳に於る

警務局關係の豫算

昭和五年度における關東廳警務局關係の豫算は廿七日次の如く發表を見た

一、保健調査及びその一部實施並に衞生試驗所の設置

滿洲を何等病氣に懸念なき安住の地たらしめ傳染病その他の研究に對し良好なる成績を擧げんと云ふのであるが兩者で約二萬二千圓を要する

一、移動特別警邏班實施

これは巡査七十五名、三名を一組とする廿五組の移動的警邏班を設置し必要に應じ市街地に設置するものであるが、市街地の警察はその地域内における個人生活の安全に正比例するといふ見地からその警備を充實して一層安全率を高むる必要より出でたるもので滿洲警備の一新紀元を劃するもので、約七萬五千圓を計上されてゐる、蓋し明年度局内新規事業の筆頭である

一、中間驛及び州境警察力の充實

滿鐵沿線中間驛における警備の實情に照し頻發する病職者の經驗に鑑みその充實につき顧慮した結果決定されたもので、警部補各一名、巡査四十名、警部補七名を增加するため約四萬七千圓を計上

一、警察官吏派出所の新設

これに州境その他に五ケ所の派出所を增加設置し交通不便なる州境における警察力を充實するもので二萬圓計上されてゐる

一、警察官練習所の新營十二萬五千圓をもつて旅順、新市街に新築するものであるが、これは現在のものが古くて新進氣鋭の警察官を養成するところとしてふさわしからざる事及狹隘を告げたためで五年度中には完成の筈

一、衞生試驗所增築の件

從來衞生試驗は滿鐵衞生試驗所の援助によるものが大多數であつたがなるべくその援助によらぬ樣にしたいと云ふので約二萬圓を以つて本廳に增築の筈

一、專用電話架設、警察官舍の新營の件

前者は二萬圓後者は約二萬六千圓で警察電話を增設その連絡を便ならしめ一方又警察署派出所は附屬を新築し一層警察力の充實を計らんとするものである

帝劇正式に松竹に引渡さる

女優の目に涙光る

【東京廿六日發電】約廿餘年間の帝都一流劇場の歷史を殘して來る一月一日から向ふ十年間經營一切を擧げて松竹の手に移ることになつた帝劇の正式引渡しは、廿六日午後六時から帝劇事務所にて松竹から大谷社長以下各重役・帝劇からは西野會長以下並に梅幸、宗十郎、律子、菊江等幹部俳優等百餘名出席の上擧行されたが、先づ西野帝劇會長より俳優及び從業員に對し

大谷氏 も諸君の事は總べて引受けて下つたのであるから從前通り活動して貰ひたい

と述べ大谷社長は光輝ある帝劇を吾々の手で經營するに當り從前通り御奮闘を切望する

と答へ續いて俳優一同を代表して梅幸、律子の挨拶あつて無事式を終つた愈よ帝劇專屬俳優より帝劇附俳優となるので女優連は目に涙を浮べて居たのもあはれであつた

松原湖結氷して

スケーター連乘込む

【松本二十六日發電】一時暖氣に禍されスケーター連を失望せしめてゐたが、二十三日來の寒氣に先づ松原湖結氷し二十五日は三寸に達し滑走全く可能となつた湖畔に合宿して結氷を待つてゐた明大、慶應、東洋大學のスケート部員は早速猛練習を開始したが、一月四日から湖上で全國學生氷上選手權大會が行はれるを控へ全國各大學專門學校部員も二十六日頃から續々乘込んで來る模樣である

飛行聯隊の試驗飛行

戰鬪機で

【岐阜二十六日發電】各務ケ原飛行第一聯隊では本年一月朝鮮にて嚴寒期に於ける耐寒飛行を行ひ操縱者の身體及發動機について各種の研究をなしたが、更に來る一月二十一日から三十日まで北海道旭川にて甲式四型戰鬪機四機を使用し耐寒飛行演習をなすことゝなつた、又同第二聯隊では最近陸軍航空本部で試驗的に作製した變流氣溜測定機六個を乙式偵察機四機に備へ附け一月十六日より各務ケ原太刀洗間往復飛行をなすことゝなつたためである

岸上博士遺骨

けふ東京に着く

【東京廿六日發電】岸上博士の遺骨は廿六日午前九時東京驛着列車で飯京橋町の自邸に入つた、告別式は廿七日午後三時同邸で擧行の筈である

轉辭任警察官送別會

於廿九日午後六時大連ヤマトホテル

今回轉辭任された大連四警察署の署長等十數名の諸氏を招待し來る二十九日午後五時大連ヤマトホテルに於て送別會を開催致します、御參加の方は大連新聞社（電話五五三六番）に御申込み下さい會費金參圓當日御持參の事

發起人

日本電報通信社長津上善七、關東報知社長市川年房、大連新聞社長寶性確成、泰東日報社長阿部眞言、滿洲日報社長高柳保太郎、滿洲報社長西片朝三、マンチュリア・デーリーニュース社長濱村善吉

出刄庖丁で五人斬りの慘劇

發作的精神異狀から

【門司廿六日發電】歳の瀨迫る本日未明南高來郡小濱町に五人斬りの慘事あり同町字金濱無職武藤茂勝（三）は午前五時半自宅で實兒二名に出刄庖丁にて斬り付け重傷を負はせ更に附近の北串山村收入役林田總次郎方に闖入し同人の母と小兒二名を突き殺し小濱署に逮捕された原因は發作的精神異狀ならんと

馴染み女を騙り元活辯訴へらる

姉の『久松』涙の嘆願で送局だけは御猶豫

本籍大阪市住吉區阿部野町四三六、當時市内美濃町五五伏見館止宿井上菊平（三二）は本年七月以來、長春東三條通滿活社に居住し長春滿鐵俱樂部映畫館に辯士見習の名で活躍をしてゐたが、當時長春北門裏料理店滿洲館内小千代こと平山八重子（二〇）と馴染み、入質の詐欺を受出すから百圓貸て貰ひたい、十月には大連美濃町小川楼に久松と名乗つて藝妓をしてゐる

姉が穀替 するので三百圓許り手に入るから必ず返濟すると甘言を以て百圓を借り出し、その後來連し前記の場所に移り住んで右金額を返濟せぬので、小千代より詐欺として告訴され、二十六日大連署栗司法主任より取調を受けた結果、送院送りとなるところを姉の久松も出頭し「私の身で百圓工面しますから」と弟の爲めに涙を流しての哀願に取敢ず金が出來る迄署に留置する事となつた

船艙で寢込んでその儘門司まで

のんきな埠頭の臨時苦力

山東省登州府文登縣生れ市内寺兒溝居住玉仁亭（三〇）は臨時苦力として働いてゐたが、當時廿七番埠頭のいたりい丸で荷積込中船艙で疲勞の爲め寢てしまつた、しかるに船は十六日午後門司に出帆したが、御本人はグッスリ寢込んで目を覺ますと黄海の眞只中なので吃驚しのこ／＼這ひ出した所を發見され、門司入港と共に門司水上署の手を經て廿六日大連入港のいんであ丸で送還されて來た

可愛い子には旅とは

それは昔、今は可愛い子がメキメキ良くなる幼年俱樂部！新年號にはオマケが十、子供たち大喜び。

淺野社長に爭議團が歎願書を提出す

總同盟に應援を打電

【門司二十六日發電】同盟罷業の擧に出でた淺野セメント會社勞働組合では東京の勞働總同盟に應援方を打電すると共に總同盟九州聯合會からは伊藤四郎氏を東上せしめ淺野社長に不當解雇反對、整本の撤廢、賠償手當額々定、賞與改正、賃金一割引上げ、昇給、賞與の公平等八ケ條の歎願を爲し一面大いに氣勢を宣揚することゝなつたが、神奈川縣川崎セメント工場も同情罷業に入らんとし歳末殊に北九州の工業地帶とて形勢重大視さる

氷滑大會の協議會

けふ體協で

滿洲體育協會では廿七日午後四時より社員俱樂部階上會議室に於て定例役員會を開き左の二件を附議する筈

一、全日本スケート選手大會に對する本會の態度決定の件

二、滿洲朝鮮スケート大會を鴨綠江上に開催の件（安東運動協會を應援又は合同主催の下に）

飛んだ屆け出

市外甘井子居住張玉齋（五二）は同地孫延齋の名儀で共同出資にて牛肉販賣業を續けてゐたが、孫が利益を壟當せぬ爲め自己の名儀に書き換んとして代書人に依頼したところ代書人が間違つて廢業屆を出したのも知らず營業を續けてゐたのを發覺、二十六日大連署に呼出され、無許可營業の廉に依り科料五圓に處せられた

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿七日（金曜）

自午前十一時 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後零時三十分 相場（特産、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分 相場（特産、錢鈔、株式）ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、兒童科學講座 雪、中學校、治郁義

三、萬歳 高島家源太、高島家菊治

四、俗謡 數種、高島家…

五、喜劇 樋屋さん、一場東都淺草公園の場、二、屋新兵衛宅の場、新兵衛女房お島屋源太、新兵衛…、同樋屋…、同娘お花茶目丸、…

六、…

七、天氣豫報

謹告

拜啓本月二十六日大連新聞朝刊紙上「愛宕町貿易商オリエンタル商會外交員エムロヂスキなる者弊行の賣上金四千圓餘詐欺發覺直ちに自宅にて拘引云々……」の記事掲載せられ候得共弊行には斯る前科者を雇傭せし事無く從て何等の被害も無之全然事實無根にして弊行員に外人も永年勤務致し居り尙近來弊行の商號を使用するもの有之直ちに江湖の御誤解を招くやも計られず弊行の信用上特に謹告候也

大連市加賀町四番地（元愛宕町）

オリエンタル貿易商會

主　山内豊四郎

夕刊
滿洲日報
十二月廿六日

帝國議會の開院式
聖上、大元帥の御正裝にて親臨
けさ貴族院で行はる

【東京二十六日發電】榮え輝く昭和の御代二十六日畏くも天皇陛下には貴族院に親臨あらせられ第五十七回帝國議會開院の式を行はせられた、此日陛下には大元帥の御正裝に大勲位菊花大綬章を召され午前十時三十五分宮城御出門第二公式鹵簿にて鈴木侍從長御陪乘、一木宮相、奈良侍從武官長其他供奉員を從へさせられ二重橋より輝く陽に照り映える冬木立の打水に澄める大路祝田町を右に日比谷公園脇を十時四十五分貴族院へ行幸、親王總代高松宮、王總代賀陽宮の兩殿下、濱口首相以下各大臣、倉富、平沼樞府正副議長以下各顧問官、徳川、堀切貴衆兩院議長等總て金色燦き禮裝にて御車寄せにて奉迎し、蜂須賀、清藤兩院副議長並に兩院高等官等は院門内にて整列奉迎し陛下には便殿に入御、徳川議長、林式部長官、一木宮相等前行、鈴木侍從長、奈良武官長、侍從武官等御後に供し濱口首相以下各大臣其側に扈從を賜り十一時二分徳川、堀切兩院議長、各員、成瀬、中村兩院書記官長、各書記官等式場に參進して本位に着けば内閣總理大臣濱口雄幸氏は勅語書を捧じて式場に參進、陛下には林式部長官、一木宮相の前行にて式場に出御、高松宮、賀陽宮兩殿下、鈴木侍從長、奈良武官長等供奉參進 陛下には玉座に着御各員最敬禮裡に濱口首相御前に進み勅語書を奉れば 陛下にはいと朗かなる玉音にて優渥なる勅語を賜ふ、各員拝聽最敬禮を行ひ徳川議長は跪拝して御前に參進、勅語書を拝受して退下、陛下には供奉員を從へさせられて入御十一時五分式を終らせらる、斯くて陛下には同十五分衆議院より御出門還幸あらせられた

開院式に賜はつた勅語

【東京二十六日發電】開院式勅語左の如し
朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

衆議院の奉答文
堀切議長參内して捧呈

【東京二十六日發電】開院式終了後衆議院は勅語奉答文議決のため本會議を開く、議鈴と共に與黨議員は濱口首相以下閣僚、政務官等の金ピカ姿で大賑はひだ、堀切議長は滿場の拍手裡に着席して十一時二十五分開會を宣し、開院式の勅語奉答文起草のため委員を指名して其承認を求め三十分休憩奉答文委員會を開き文案を決定したので午前十一時四十五分再開議長に招かれて奉答文起草委員長山本悌二郎君登壇奉答文起草委員會の經過並に結果を報告すると委員長、理事の選擧結果を述べたる後總員起立裡に左の奉答文を朗讀すれば滿場默然之を可決し堀切議長は「捧呈します」と告げ十一時五十三分散會した

奉答文は可決されました、議長は午後宮中の御都合を伺ひ參内の上

謹て惟に車駕親臨して茲に第五十七回帝國議會開院の式を行ひ優渥なる聖詔を賜ふ臣等感激の至に勝へず臣等謹て聖旨を奉體し其の任を竭し上陛下の聖旨に對へ下國民の委託に副む事を期す
衆議院議長臣堀切善兵衛誠惶誠恐謹て奏す

政友會の鐵道會議對策

【東京二十六日發電】政友會は十五日鐵道會議に對し對策につき協議を行つた結果政府が法律改正をなさずして建設線を打切り繰延べたことは非立憲の極みであると云ふ意見に一致し政友會鐵道會議委員をして飽くまで其責をたゞさしめるに決した

重大決議案を上程
貴院が休會明け劈頭に

【東京二十六日發電】現下の我内治外交上の重要問題たる海軍々縮問題及び綱紀肅正問題に對し貴院各派有力者間に休會明け議會劈頭に重大意義を有する決議案上程の議が擡頭し其成行を注目されてゐる、即ち其主旨とする所は

一、海軍々縮會議に於ける帝國全權の主張は我國防の最低限にして國民一致之が貫徹に努むべきである、故に貴族院は此意志を中外に宣明し全權の主張を後援せねばならぬ

二、綱紀肅正問題は現下の政情に於て最も緊切なる問題にして政界の淨化革正は一に次期總選擧の公正に依つて決せられる以上議會の解散直前に特に本問題を高調し國民の要望する所に應ずべきである

と云ふに在り、各派も異論を唱へる餘地がないので之が具體化は大いに期待すべきものがあると云はれてゐる

政局に關して
仙石總裁進言か
けふ濱口首相を訪問

【東京二十六日發至急報】仙石滿鐵總裁は本日午後三時濱口首相を其官邸に訪問する事となつたが仙石總裁は政局につき何等かの重要なる進言をなす可しと期待されてゐる

海軍辭令

【東京廿六日發電】
海軍中將 谷口美員
海軍造兵中將 同 岸科政雄
海軍少將 武藤稠太郎
同 宮坂助治郎
同 畔柳三男三
同 市來崎慶一
同 菊井信義
同 長井實
海軍少將 增田乙三郎
同 石河英吉
同 林正男
同 滿岡諒次
海軍々醫少將 折茂恒治
同 今井金三郎
海軍主計少將 同 驛見長衛
同 太田一郎
海軍造船少將 同 吉村梅吉
佐々初喜
豫備役被仰付(各通)

不動産貸付
利率据置に決定

【東京廿六日發電】大藏省は昭和五年上半期の日本勸業及び北海道拓殖外全國農工銀行の不動產貸付利率を据置きとすべく認可を與へた

汪精衛氏の黨籍
解除事情
胡漢民氏仇を討つ

黨爭反蔣派の蜂起によつて、現南京政府の將來が頗る悲觀さるべき狀態に陷ると共に、此程以來香港に歸來した所謂改組派即ち國民黨左派の首領たる汪精衛氏との妥協交渉說が頻りに傳へられてゐる際に、殆ど南京政府の要人たちを以て組織されてゐるところの國民黨中央執行委員會常務委員會が突如として汪精衛氏の黨籍解除に對する決議案を通過し次いで去る十八日の中央監察常務委員會また執行常務委員會の決議を承認し、更に十九日の中央執行常務委員會に於て汪氏の除名に關する決定書を正式に發表するにいたつたことは一般に多大の衝動を與へたものである。

×

汪精衛氏は人も知る如く、國民黨左派の代表人物とされてゐるのみならず、孫文氏在世當時に在りては孫氏の片腕として終始した人であり、現在の國民黨の爲めには蔣介石氏よりも胡漢民氏よりも更に譚延闓氏などよりも、國民黨を背負つて立つに足るべき大御輪として誰もが考へてゐる人物である、孫文氏の歿後は一時廣東に在りて國民黨を領導したことはあるが、黨内に於ける左派右派の軋轢が、黨幹部個人間に於ける反目暗鬪等のために、黨務から離れて永く海外に在り、さきに武漢政府時代の末期に、一時歸京して黨務をみたことはあるが、依然その時を得ず再び海外に去つて去月上旬幾度目かに香港に歸來したのである、氏の香港歸來は時局の爲に在りて活動しつゝあつた所謂改組派の活動を勢ひづけたのみならず、汪氏に期待する全國の青年黨員等はもとより廣く一般もまた汪精衛時代來るの感を深くしたのであつた。

×

南京政府の現幹部たちが黨國にも等しきこの汪氏を除名するにいたつた理由は十九日發表された決定書によれば汪氏が民國十六年の暮、張發奎等をして廣州を奪取せしめてかの共產黨暴動の端をつくつたといふこと、而して陳公博、顧孟餘氏等と共に黨内に小組織を設け中央府罪をもつて事としたこと最近に在りては馮玉祥、張發奎、唐生智等の傀儡となつて中央の破壞、黨國の顛覆を企圖したといふことの以上の三點をあげてゐるが、廣州暴動といひ「小組織といひ、黨國の顛覆といひ爲めにせんとする口實に過ぎないことは一目して明かである、各黨部方面では汪氏の今次の除名は全く胡漢民、古應芬兩氏の畫策奔走大いに努めた結果であるといつてゐる。

×

黨部方面での消息によると、今次汪氏の除名決議案は、胡漢民古應芬兩氏によつて提議され、胡氏の如きはこれが提案理由の說明に際しては非常に昂奮して終始激越な言辭をもつて除名を高潮しこれが通過に努めたといはれてゐる。

×

胡漢民氏は汪氏ほどの人望を持たぬものゝ如くであるが、汪氏と共に孫文氏に永く事へ、孫氏の革命事業に多大の協助を掛つた一人である、孫氏在世當時は勿論、孫氏の歿後も汪氏に胡氏とは兄弟も及ばぬ間柄に在つたもので、當時の兩氏の間柄を知る一老國民黨員は、今でも當時の二人の關係はひとを羨ましがらせたものであつたといつてゐる。

×

この胡氏が、この汪氏の除名にかく激越な言辭を使つてまで何故にその實現をはからねばならなかつたかは全く一ッの呪はれたる奇蹟である。

×

去る民國十五年、孫文氏の歿後國民黨の混亂時代に於て當時國民政府最高顧問ボロヂン氏が一日汪精衛氏に迫つて胡漢民氏逮捕状に署名せんことを求めた、汪氏は胡氏に對して胡氏とは兄弟にも等しき間柄に在ることを語り、胡氏の逮捕令に署名するとはどうしても忍びない旨を告げた、ところがボ氏は「大なる革命事業のためには兄弟が何か、親をも殺せ」と迫り遂に汪氏をして涙をふるつて署名せしめたといはれてゐる。

×

たとへ涙をふるつたとはいへ汪氏のこの署名によつて胡氏は罪の人となり永く流浪の生活を送らねばならなくなつた、兩氏の關係が相容れざる間柄になつたのはそれ以來であるといはれてゐる。

×

この度汪精衛氏が除名されたのは共產黨暴動の動因をつくつたからでもなく、黨内に小組織を設けた爲めでもなく、また黨國の顛覆を企てた爲でもなく全く胡漢民氏の主動によつて廣東の仇を南京で討たれたものであるといふことが出來る(上海特信廿二日記)……寫眞は汪氏(上)と胡氏……

對滿新政策樹立に關し
外務拓務の首腦部會議
滿鐵行政權の關東廳移管と
在滿鮮人の保護對策

【東京二十六日發電】拓務省は松田拓相の就任以來所管各植民地に對する統治上新政策を確立すべく調査の歩を進めてゐるが、殊に滿洲及び朝鮮については拓相の滿鮮旅行以來急速度に具體化して來たので林奉天總領事の上京を機會に二十五日午後一時より外務、拓務兩省の聯合首腦部會議を開き對滿政策に關する重要協議をなした、即ち滿洲の二大案件たる

一、在滿鮮人保護に關する具體的對策
二、現在滿鐵の有する滿鐵附屬地の行政權を關東廳に移管する件

につき愼重審議をなしたのであるが、其の内容は極秘に附されてゐるが、在滿鮮人保護問題は至急解決を要するのみならず、朝鮮總督府永年の懸案たる在滿鮮人の同化問題にも觸れて來るものであり、又行政權の關東廳移管問題は關東長官の地位を高めて帝國對滿政策上の代表者となし從來弊害の多かつた三頭政治、四頭政治の混亂を除かんとするものであつて會議の結果如何なる形態を以て現はれるか極めて重大視されてゐる

實現は困難
未だ具體化してはゐない
大藏滿鐵理事否定す

右につき大藏滿鐵理事に訊すと
記者「東京では二十五日に對滿政策に關して外務、拓務兩省の聯合首腦會議が開かれてゐますが總裁も之に出席の爲め上京を急がれたのですか」
理事「いや違ひます」
記者「實田理事は此の會議に出席されてゐますか」
理事「そんなことはありません」
記者「附屬地行政權の關東廳移管問題は最早具體化する機運に向つてゐるのではありませんか」
理事「いや……まだなか／＼ですよ」
と強く否定した

けふの寫眞

廿六日開院式行幸の豫行演習(中)と民政(上)政友(下)兩黨の勢揃ひ

移管は不利
豫算の編成不能も一理由
保々地方部長の意見

之は隨分久しい前からの問題だ、デリケートな性質を有つてゐるからはつきりしたことは申上兼るが私個人としては關東廳に移管することによつて多くの
不利益が 生じやうとも、大局からは何等有利な結果を得ることは出來ないと思つてゐる、其の理由を說明することは困るが要するに結論だけ云へば附屬地の行政といふものは官廳の監督下に移し一定の豫算を組んでやるといふ風では到底やつて行ける性質のものではない、此事は滿洲を深く研究すればする程よく判つて來る、從來の三頭政治とか四頭政治とかいふものが續行されて行く事は結構だ、然し
根本的に 既存機關と政策の一部が改められるといふなら兎も角部分的な改正に過ぎぬのに移管するといふのなら大間違ひで此點私は相當根據のある反對論を抱懷してゐる

河南省の地盤を
山西に讓渡
閻氏愈よ唐軍を討伐

【北平二十五日發電】閻錫山氏は大勢を見て取り蔣介石氏と握手して汪兆銘氏反對の態度を持してゐるが、最近蔣介石氏より河南全省の地盤を山西に讓渡する交換條件にて唐生智軍の驅逐を依頼し來れるため鄭州に集中せる山西軍を南下せしめ許昌、郾城の唐生智軍を武力解決するに決した、なほ閻錫山氏は今後の河南警備に山西軍第三十三師長孫楚氏をして當らしめるはずであるが、斯くて閻錫山氏の勢力は京漢線及び隴海線に伸長し名實共に天下三分の形勢を馴致するに至るだらう

我全權の着英期
廿七日サザンプトン着豫定

【オリムピック號二十五日發電】相變らず波浪高く風強けれど我オリムピック號は快速力にて航行を續行しつゝあり、昨一晝夜の航程は四百七十四哩である、サザンプトン着は二十七日午後四時の見込みで全權一行は本日も午後の活動寫眞其他の餘興に打興じ全員大元氣である、昨夜十一時若槻、財部兩全權並に其他の隨員一同食堂にてクリスマスの前夜を祝する晩餐會を催したが、船暈の者一人もない、一行サザンプトン着の際は駐英日本大使館堀參事官並に先發せる全權隨員事務總長佐藤尚武氏が出迎へる旨入電あつた

滿鐵理事に
梅野氏說有力

【東京廿六日發電】滿鐵陣理事は二十二日を以て任期滿了となつたので其後任は仙石總裁の上京を機會に種々考慮されてゐるが、元滿鐵理事梅野實氏最も有力視されてゐる

櫻內理事長

五品取引所の後任理事長に內定の櫻內長郎氏は既報の通り二十五日東京發二十八日の五品臨時總會に出席する筈の處政局多事の折柄離京を許さず總會には出席出來ぬことになつた

旅順警察署長
事務引繼

旅順警察署長から四平街署に轉勤を命ぜられた龍原氏は二十六日午前九時旅順署に最後の登廳を爲し新に署長事務取扱を命ぜられた谷警部と事務引繼を行ひ他署へ轉勤する鮫島警部、立川警部、西內警部補等と共に同署會議室に於て署員一同に對し挨拶を述べたが記者に對しては
何分宜しく願ひます
と極めて慇懃な態度を示した

大觀小觀

天皇陛下、第五十七議會の開院式に御親臨、優渥なる勅語を下し賜ふ。

八千萬臣子、陛下の御仁慈に對し、感泣の外なし。

◇

然るに、國民の選良たる四百餘の議員、時に淨化廓清の的となる畏き限りにこそ。

◇

閻錫山氏の勢力、徐々、河南に伸張すといふ。

◇

山西モンロー主義、いつの間にやら自ら破れ、五台山下から京漢隴海兩線に乘り出す。

◇

待てば海路の日和といふか、とにかく漸ヶ鯨の閻百川、例の引込主義でも居られぬやうになつたか

◇

併し、問題は支那の事だ。今日を以て明日のことを斷ずるは愚。

天氣豫報

(廿七日)晴れ北西の風一時曇り

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	〇、八	同零下二、七
旅順	二、〇	同 六、四
營口	零下六、一	同 一三、四
奉天	同 二、五	同 一五、五
長春	同 七、九	同 二五、七

昨日の埠頭着貨車 石炭と特産で千車
毎日恐ろしい勢ひで増加する 此機に事故防止デー

大連埠頭においては貨車および補助運搬具作業並びに特殊作業たる市内入出庫の安全正確を目的とし廿八九兩日にまたがり事故防止デーを施行する事となつた、目下到着貨車數は恐ろしい勢ひで増加し廿四日が石炭二百九十三車特産六百六十三車、廿五日が石炭三百十車特産七百廿車と云ふ素晴らしい數字を示し雪解けの埠頭構内は車馬苦力の來往で繁忙の極を呈してゐる、埠頭ではこの廿八九の事故防止デーを意義あらしむべく特に所期の目的を貫徹さすべく各係員を督勵するところあつた

市長問題は解決の第一歩へ
調停を一任されて
田中署長と市長の會見

石本大連市長と市會の紛糾を解かんとする田中民政署長の調停は漸く歩みを進め二十六日午後いよく序幕に入らんとする模様である、右につき同署長は語る

最に市長並に市會側に對し問題の經過並に意見を糺したところ孰れも圓滿解決を急いでゐる熱意を察知した、其後

市會側 では合議の結果、私まで解決策を内示されたが當方より議案に盛られた條件の緩和方を極力交渉したところアツサリ放棄され全然白紙に歸つて私に調停を一任されるまで漕付けた譯である、一方市長に對しては當初一回面談しただけで其後會談せず從つて調停案の内容に就ても何等意見を交換してゐないので廿六日午後中に要談を進めるつもりである、幾ら問いても調停の

内容に 就ては一切云へない、又墨行き次第で當方の出方も自ら與らざるを得ないから僕自身が分らないよ

因に市會側の交渉委員會は午前よ

取調べは濟んだ
小橋前文相談

【東京二十六日發電】二十五日再び檢事局に召喚參考人として取調を受けた小橋前文相は歸宅後語る

取調の内容は豫審判事との約束で絶對に御話し出來ぬが、諸君の想像通りの事件に關し參考人として取調を受けたもので今日の取調を以て一切の事は濟んだものと思ふから今後更に召喚されるやうな事はあるまいと思ふ

り午後に亘つて鳩首密議を凝して居り大内委員長は正午田中署長と多時懇談し、午後には署長と市長の會見が行はれる筈で之によつて前途の見極めが漸次明るくなるであらう

ラ式大會出場

來春早々關西ラグビー蹴球協會主催で行はれる全日本高等專門學校及び中等學校ラグビー蹴球選手權大會に出場する奉天醫大及び奉天中學選手一行は既定の豫定を變更し、醫大は廿六日十五時三十分發急行にて陸路より奉中は廿七日大連出帆の定期船にて夫々内地に遠征する事となつた、因みに醫大は途中下關及び福岡にて試合を行ふ筈であると

淺野セメントの門司工場罷業す

【門司廿六日發電】淺野セメント門司工場では本日午前七時の交代時間に九百名の從業職工中五百の男女職工一齊に退場し湊町の日本海員組合支部に引揚げ假式罷業に入つたのでセメント界に於ては東洋一を誇る同工場の十一本の大煙突は一時に煙を止めたが、這は同工場開設以來始めての事で原因は先日ベルトに卷かれて死亡した職工原喜一に對する會社側の態度冷淡に過ぐと云ふのと二十五日セメント勞働組合加入の三木、松本の二名を解雇したゝめである

忙しい足許に泥濘
けふ西廣場所見

榮譽一切の辭退勸告
山梨大將に

【鎌倉二十六日發電】二十五日午後四時半鎌倉の山梨大將別莊に勞働者風の男と洋服紳士風の男が來て大將に面會を强要するので同家からの急報に鎌倉署から警官出張取押へた、右は九州愛國青年聯盟員伊知地義一(二八)と聯盟會京都支部長鳥居佐太郎(二九)と云ひ山梨大將に榮譽一切の辭退を勸告に來たもので取調べの上釋放された

昌圖保線區詰所全燒
原因は取調中

滿鐵昌圖保線區詰所では二十五日午後九時半出火折柄の北風にあほられ同十時四十分同詰所を全燒して鎭火したが、同詰所は保線區としては相當大きく且つ突然の火災であつたゝめ保線用材料を持出す餘裕なく全燒せしめたので損害は相當額に上るであらうと見られてゐる、尚原因損害については目下取調べ中であると

西條八十氏が滿洲小唄を
滿鐵々道部の招聘で來春早々に來滿する

詩人西條八十氏は今回滿鐵々道部の招聘に應じ來春早々(一月八日東京發の豫定)來滿、冬の滿洲各地を約三週間に亘り遊歷して滿蒙を主題としたモダーン小唄を創作し大に滿蒙を宣傳することになつた、尚同氏の來滿を機として滿鐵社會課では氏を中心とした座談會又は講演會を開催する筈である

撫順線で貨車脱線
一時單線運轉

二十四日十一時四十分頃撫順線牛相屯、孤家子間二十一キロ八百の地點を二七四列車が通過中軌條接損のため石炭滿載貨車一輛、車掌車一輛脫線し上下線を閉鎖したが五七五列車を現場に止め下り線を開通せしめ單線運轉を行ひつゝ復舊工事に努力した結果二十五日十時三十分復線開通を見るに至つたと

全治まで二週間を要す負傷
安田大汽社長

【濟南二十六日發電】東上の途列車で奇禍に遭つた大連汽船社長安田柾(五〇)氏は硝子の破片で後頭部に裂傷を負ひ直に手當を加へたが全治二週間を要する見込みで原因は列車の擦れ違つた際共に急速度のため其の間にエアーポケットが出來たものらしく見られてゐるが鐵道最初の珍しい事故と云はれてゐる

法院長殺しの首魁は死刑
けふ一味に判決言渡

前大連地方法院長安住時太郎氏を狙撃射殺せる華麗堂一味の判決は二十六日午前十一時より大連地方法院に於いて森本裁判長より左の如く言ひ渡しがあつた

▲華麗堂死刑▲隋劉民懲役七月(未決勾留日數二百日を通算)▲隋治臣同上(同上)▲隋治長懲役十ケ月(同上)▲李氏懲役七ケ月(同上)▲隋孫民同上(同上)▲隋孫氏懲役七ケ月(同上)▲王恒久懲役五ケ月(未決百日算入)▲下厚彦懲役七ケ月(未決二百日算入)

貧しき人々へ

兒玉町十番地鳥井ヤヱさんは「御氣の毒な方に」と金十圓、また神明町六二横山愛子さんは金十圓、春日小學校少年赤十字團の寄附は金一圓四十錢、市内白金町九一木戶粂太郎氏は金三圓、同沙河口基督教會生徒一同は廿五日夜のクリスマス費用の餘り十一圓五十六錢をそれぐ貧困者へと寄贈方を申出でた

香奠返を献金

二十日以後の献金は左の如く吉本四郎氏は香奠返しとして百圓献金した

三寺朝日小學校四年三組有志▲十圓小野田セメント内熊本縣人會▲百圓眞金町四七の六吉本長太郎遺族吉本四郎▲三十二圓惠比須町黒住教會婦人會▲金八十八圓沙河口工場旋盤事務所有志

次の長篇小說 元旦號より連載

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終局を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交渉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田吾郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說 戀と地獄
作者 三上於菟吉
挿畫 鶴田吾郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては一局面を示したものと言へると思ふ。僕はこの一局に現代東京が含む一切の悪しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき沸き立つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決むだ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

滿洲の子供は明るいと
巖谷小波氏が門司で語る

【門司二十六日發電】滿洲から支那へとお伽行脚を終へたお伽の小父さん巖谷小波氏は昨日青島から泰山丸で歸つたが左の如く語つた

滿洲其の他海外に居る少年少女は内地の子供達に比し皆人なつこく明るく少しもいじけたやうな所がない、それに童話に對する理解力もよく如何にも家庭生活の解放的であり明るいもので ある事を偲ばせる、青島の如き小學生ですら周圍の刺戟の强くない關係か極めて純なものがある、濟南では感想文を募つて見たが子供達の戰禍を恐れる氣持ははつきり知る事が出來たが、當時の氣憶が幸に消滅し純眞な彼等の氣持を傷けてゐない樣だ、俳句も到る處盛んでお伽講演の傍ら隨分忙しい目を見た、何しろ滿洲でも支那でも雪の日ばかりでね……とて目に青きもののなき街の寒さ哉

藝者のエキストラで都さくらにお目玉
鑑札なしして頻りに座敷を稼いで

市内美濃町北村席に前借三千圓にて抱えられ去る十六日來連以來當地花柳界に大人氣の元帝キネ女優原鑑神戶相生町一丁目三ノ一都さくら事山本綾子(二三)は父親の承諾捺印が不備な爲め未だ無許可なるに拘らず、其後每夜座敷に出で酒間をとりもち稼業を始めてゐるので數日前大連署保安係員より注意を受けたが、再び二十六日大連署に抱主共呼出され散々油を絞られた上始末書を出す樣命じられほうく の態で引下つた

少年諸君!

一、面白い、新案少年日記
二、美麗な、國史唱歌大繪卷
三、素敵な、新案物識かるた

少年倶樂部新年號に右の三大附錄がつく、書店へカケ足!早くく

車上から轉落
馬車の衝突で

二十四日午後六時五十五分市內大連車夫合宿所内車夫陳忠京(二二)は美濃町四一飲食店中島一壽を乘せ信濃町九十四番地前を通行中前方より來た自轉車乘の市內吉野町七五回砂方出前持張春明(二七)に衝突し自車は車體約九圓、乘客の中島は車上より轉落して眼部に打撲傷を負つた

店員の遣込み

市內西公園町一二一羽布團商吉田商會店員津村良三(二七)は本年四月より同店に外交員として雇はれ中十月以向御御地、海城、遼陽、奉天各地に出張販賣せる賣上代金約二百圓を横領費消したので店主吉田綿熊の告訴に依り取調べの結果二十六日大連署に拘引された

腸チブスと赤痢が昨年より六十名宛增加
傳染病から觀た邦人と支那人

歲末を控て現在市内に於ける傳染病患者は赤痢四人、腸チブス四十三人、パラチブス四人、猩紅熱十人、ヂフテリー四人あるが、十二月二十五日現在の

本年度の 傳染病患者は左記の如くで昨年に比して猩紅熱は約百人、痘瘡は約六十人の減少を示してゐるが、腸チブス、赤痢は孰れも約六十宛罹病者の增加をみてゐる、特に著しい現象と觀るべきは衞生觀念に乏しいと言はれてゐる支那人の罹病者が少い事で苦力は食等腐敗物を平氣で食べ乍ら

罹病者は 食物に卑しい日本人に比して三パーセントにも當らない、是を以てしても邦人が病氣に對して抵抗力の弱い事を物語つてゐるが、其代り昨年寺兒溝方面に於いて一苦力が發疹チブスに罹つた爲め忽ち同地帶一面に八百人餘に傳播した例もある、因みに人口千に對する罹病率日本人一四・〇五支那人〇・八二である、十二月二十五日現在に於ける市內傳染病發生狀態左の如し

病名		發生	全治	死亡
赤痢	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
腸チブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
パラチブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
痘瘡	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
猩紅熱	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ヂフテリー	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
發疹チブス	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
流行性腦脊髓膜炎	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
コレラ	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	日	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	支	[illegible]	[illegible]	[illegible]

靑聯シヤツが幅を効かす
一ケ月半に大連支部だけて二千三百枚を賣出す

丈夫で經濟で優美でこの三つに力を入れて滿洲靑年聯盟が奮職シヤツを賣り觸めてから、電車の中に或ひは路上でこのシヤツを着た人達に會ふが、十一月十日から賣出して廿六日迄に既に二千三百枚のシヤツを大連支部丈で捌つたと云ふが、何分生活標準の必需品として各方面で頗る歡迎されてゐるが聯盟としては神經を郊外迄して全滿の人達にこれを普及したいと云つてゐる

聖德會の總會

聖德會では去る廿二日定期總會開催の筈であつたところ會員定數に達せざるため流會となり廿五日午後六時半より同會事務所樓上において再び開催、葛井理事外廿一名出席葛井理事長となり昭和三年度決算報告の後、五年度豫算決定議案の件、何れも承認し明年五月五日同人職工五名表彰に關する詮衡方法を協議して午後十一時過ぎ散會した

滿鐵の忘年會
實業家記者招待

滿鐵では二十五日午後六時から星ヶ浦芳亭において大連市中の商工業有力者および操觚業者數十名を招待し每年の例を破り聚樂的忘年會を開催した、大平副總裁は大纛、藤根、小日山理事と出席し大に歡談するところあり大平氏の挨拶に對し石本市長は來賓を代表して謝辭を述べ同九時歡談裡に散會した

今景彥氏臺灣へ

南滿洲工業專門學校長として功勞ありし今景彥氏は目下東京市麻布區山元町三三に居を構へてゐるが今回臺南高等工業學校創立委員長兼臺灣總督府囑託となり此の十二月末より來年二月にかけて臺南工業學校の創立等に努力する事となつた而して臺灣の出先居所は臺北市の旅館朝陽號である

苦力の賭博

市內加賀町苦力石義和(三二)市內沙河口町苦力艾永明(三七)は二十四日午後四十分市內千代田町三十番地埠頭苦力姜成雲(二七)方に於いて牌九と稱する賭博開帳中、千代田町派出所員に踏込まれ大洋九圓小洋九圓六十錢外證據品と共に逮捕された

無錢飲食

原籍大分縣速見郡大賀村輝川當時市內常盤町春日館止宿無職河野菊馬(三七)は二十四日市內常盤町一丁目飲食店平乃家方にて二圓九十錢、翌日一圓四十錢の無錢飲食をなしたが屆出に依つて二十六日大連署に引致、詐欺罪として告發された

自動車衝突

市內春日町五四大タク支店運轉手金基浩(二五)の自動車は二十四日午前十時三十分逢坂町四五相生樓前に於て市外嶺前屯陳大和(二四)の荷車に衝突し自動車は泥除三圓の損害を蒙つた

台所メモ

品名		百匁	
鯛		一、二〇	三〇
ほうぼう	同	二二	一五
さはら	同	三五	二五
いわし	同	一八	二五
かき	同	一五	一五
なまこ	同	一五	一〇
ごぼう	同	一七	一〇
れんこん	同	一〇	五
さと芋	同	七	七
やま芋	同	一二	六
かぶら菜	同	三	七
ほうれん草	同	七	二
玉ねぎ	同	六	四
ねぎ	同	五	四
大根	同	四	三

昭和四年を顧みて(九)
海運界
一般に下押氣味で市況不勢裡に越年(上)

近海、遠洋共に多枯を知らずに比較的閑散なる市況を示して昭和三年を越えた本年の大連港を中心とする海運界を回顧してみる――新正休日中には意外の安値引受の船主現はれ豆粕阪神七錢五厘、京濱八錢五厘の暗相場を出現したが休日明け後は特產物の出廻り相當に回復し

◇…運賃市況も 幾分強調とな…◇

り折柄の遠洋及び內地海運界の好轉により月央急反撥して三錢乃至五錢の昂騰を見せたが其後荷動きの一巡と共に船腹の需要も平穩され強保合の裡に推移した、一方遠洋に在りては船腹の漸增に影響されて歐洲運賃は漸く氣配軟弱となり殊に昨秋以來の大量輸入に依る歐洲の滯貨豐富なるため買氣一服氣味と相俟つて取引も閑散となりために大豆運賃は三十二、三志より三十志と下押したが一面に於て久しく停止の狀態にあつた對歐取引の復活となり月間約一千噸の積出を見た、かくて二月に入るや月初突發せる輸出税增徵問題は折柄の舊正氣分漸次濃厚なりしと相俟つて

◇…輸出取引に 一頓挫を來し…◇

市況も閑散を呈した即ち近海航路は月初以來見越輸出激增のため稍配船過剩の傾向を生じ他方內地市況は石炭の出廻り增加から各船主共先高氣構へにて安値見送りの態なりしため、折柄の舊正關係に依る特產物の出廻り不振にも拘らず運賃市場に活氣を喚び一、二錢方の強調を示し先行極めて良好であつたが、輸出附加税問題の立消えに因る見越輸出の杜絕特產物の地場高による取引の澁滯、米價安關係による豆粕の內地輸出不振等にて荷動き著るしく閑散となり、運賃も漸落步調に轉じ、月末には思惑配船も手傳ひ、阪神豆粕運賃は九錢臺の軟弱を喚ぶに至つた、遠洋に於ては北米航路は何等の變化なく

◇…雜穀運賃は 三弗見當に居…◇

据はりたるも、歐洲航路は前月以來就航船舶潤澤にして、運賃又著るしく弱含みとなれる折柄、舊正による取引不振は同方面に最も深刻に現はれ、殆ど新規の契約なく更に關税見越の荷動きも見ざりし結果として、遂に月央大豆運賃は一氣に二十五志臺に落ち加ふるに歐洲滯貨の消化遲々たるものがあり、一段の下押氣味となり不勢裡に推移した、三月には輸出附加税問題落着以來內地及び歐洲向け豆粕の漸增氣配に先行稍期待されたるに拘らず、更に特產物石炭の出廻り最盛期を經過したる感ある處へ思惑配船の期待外れ並に遠洋不振に依る大型船の近海割込等に因して聊か船腹過剩に陷り、運賃市況は近海遠洋共に漸次軟化の傾向をなした

◇…近海航路は 內地施肥季を…◇

控へ豆粕の荷動き相當に復活し、配船狀態も比較的順調であつたが下旬に至り近海他港の荷動き閑散なるに加へ遠洋就航大型船の回航頻繁なりしため、運賃市況は一向に冴え來らず、就中特產積取船の如き、各社共折柄の出廻り不振と相俟つて、滯貨上非常な困難に陷り漸落氣配を呈した、歐洲航路は荷動き稍停頓の形勢にて此傾向は大豆輸出に於て特に著るしく運賃も亦二十五志と前月末の安値を持續した、越えて四月には近海市場が北洋材の好轉及山東撤兵に對する御用船の徵發關係等より配船の順調を缺きたるため全般的に強調となり、一時的ながら橫濱方面の運賃は昂騰するに至つたが、他面遠洋不振にする大型船の割込其の他に影響せられ

…◇大勢は未だ 著しき好轉を…◇

見るに至らなかつた、即ち近海は前月末の運賃界不況の後を承け依然弱保合の範圍を脫せざりしも其後內地の施肥季來を控へ豆粕の動き相當に活況を呈し來り折柄の北洋材の積取好轉に依り大連港への回航船減少の矢先御用船の撤廢に出會し船主唱へ値俄に硬化し、就中橫濱方面の船腹拂底時に甚だしく遂に同方面の豆粕運賃は三十錢見當を唱へ一氣に六七錢方暴騰を演出した、これがその阪神九州方面の運賃又昂騰氣配を呈するに至つたが幾何もなく山東撤兵の延期及び大型船の臨時回航屢々なりしため再び平調に歸し、其後は氣配夏枯季に向ひ一般に軟弱傾向を示し阪神十一錢、橫濱十三錢處を唱へた、遠洋航路では北米向け雜穀が同地の關税增徵豫想其の他に依り依然荷動き捗々しからず、運賃も前月後半の安値をその儘に移して二弗七十五仙を唱へた、然るに

◇…歐洲向大豆 は折柄の當地…◇

市價低落と爲替の回復により成約意外に捗どり荷動きも稍順調なるを得たが船腹が比較的に潤澤なりしため運賃市況は案外に伸びず、依然二十五志見當で終始した

消費組合に對する遼陽の對策決定
骨子は組合機構更改

滿鐵社員消費組合問題は屢報の如く各地商工會議所の蹶起となり、いよいよ具體的對策運動に移りつゝあるが遼陽實業會及び輸入組合では再三協議の結果、左の如き對策案を得、二十六日大連商議へ參考資料として送附して來た

一、滿鐵社員消費組合支部を市民に讓渡方要望の件

消費組合の市民への讓渡は單に遼陽邦商の窮狀を救濟するに力あるのみならず從來滿鐵社員の消費組合に依りて得たると同一の恩惠が一般市民にも均霑せらるゝ事となるのである(中略)即ち讓渡の結果は邦商の賣上高は倍加し假令利益率を激減するとも收支償ふに至り邦商の地步は從つて鞏固となるに至るべし、利益率の低減は次に述べんとする仕入の合理化と相俟つて市價を安定ならしめ華人側への進展漸く容易なるを見るに至るべし斯る點よりして消費組合の市民に讓渡を切望す

二、消費組合中央配給所を邦商の仕入機關とせられ度し

消費組合中央配給所は大々的仕入機關となり小賣商をして大量購入の恩典に浴せしむべく、邦商は斯る機關を有することに依り徒らなるストックを省くことを得、資金の回轉又從つて圓滑となり華商の圈內に進出する機會を增加すべし、而して輸入組合は邦商の中央配給所に屬する監督機關となり邦商の中央配給所に屬する決濟を保證する事、物價は現在消費組合の販賣價格を以て指定價額とし邦商又この指定價格を超ゆるを得ず絕對的に之を守り反則者には組合罰則を設くる事

三、滿鐵消費組合の邦商に與へる打擊

消費組合中央配給所は凡ゆる物品を網羅して之を沿線各消費組合に配給し(中略)しかし商品の運賃、關税を組合利益中より負擔し以つて中央と沿線との販賣價の均衡をとりつゝあり、故に市中物價との間に大なる開きの生ずるは必然の結果にて、邦商苦境いよいよ深刻を極む、去る十一月一日以來消費組合の現金割引に對し市內九十餘の邦商も亦之に追隨割引を行つたが根本的小賣價の値開きは如何ともなし難く、賣上高は各商店共に安易方の減退を示し(中略)邦商の

露支交涉成行と北滿貨物の南下
增減二樣に觀測さる

露支關係の惡化以來北滿貨物の南下數量の激增せることは屢報の如くであり此の傾向は特產出廻り最盛期たる十一月末より十二月にかけて著るしく一日の

◇南下數量 五百車を突破することも敢て異とするに足らぬ盛況を呈してゐるが、去る十四日以來哈爾賓に於ける露支豫備會議の開始によりて露支關係解決を氣構へて稍南行を差控へたるものゝ如く總計に於ても幾分南下數量の減少を見たるが、此傾向は東部南部兩線に於て著るしく殊に東部線にありては上旬一日平均百五十車內外であつたものが十八日には僅かに六車の南行貨物を出したといふ

◇珍現象を 示して此の間の消息を雄辯に物語つて居る、今試みに本月一日より二十三日迄に於ける南下貨物數量を各線毎に比較對照すれば左の如くである

	西部線	ハルビン管區	東部線	南部線	合計
一日	一一九	七〇	一六四	一四四	五一七
二日	一〇三	一二七	一五七	一五五	四四一
三日	一〇九	八四	一七九	七八	四五〇
四日	九二	一四九	一〇一	一一三	四五〇
五日	一六五	八五	七〇	一三三	四五一
六日	一三四	一二五	一七〇	八〇	三九九
七日	一三九	三九	八九	九〇	三五七
八日	一六九	一五一	一六〇	二一	五〇一

	西部線	ハルビン管區	東部線	南部線	合計
九日	一三二	一〇七	一七一	七八	四八九
十日	一五〇	一二九	八八	一五一	四一八
十一日	一一九	一三二	一〇六	八一	三三九
十二日	一三二	六四	七四	一五五	五八六
十三日	一四三	九五	六二	一一一	四一一
十四日	一七八	六二	六九	九二	四〇一
十五日	一二三	六八	四三	一一六	三四九
十六日	一八二	五三	四一	一二一	三八六
十七日	一九〇	七四	二四	六四	三五八
十八日	一一八	六六	六	七七	三三七
十九日	一二九	七七	一八	五一	一七五
二十日	一三二	一一六	一八	一五一	三〇一
廿一日	一九一	九〇	一一	一七	三三九
廿二日	一〇〇	一〇七	四一	六一	三〇九
廿三日	一六六	一四四	一七	四九	四六六

即ち右表に於けるが如く西部線、ハルビン管區に於ては大體何等の變化を認め得ないが、東部、南部兩線に於ては月半以後和平解決を氣構へて南行

◇差控への 傾向顯著なるものが看取され而も、二十日以後に於て合計數量では又復盛返したる事態を示してゐるが、これは去る十九日に大體の協定を見たるものゝ更に細目協定に於て遲延すべきにあらざるものか否かと憂慮したるものと消息通は觀てゐる、大體右の如き事情にあり豫定の如く露支關係が圓滿に解決されれば南行貨物の漸減は免れざる所であるが、一部に於て豫想さるゝが如く細目協定の件について

◇交涉遲延 を招來するが如き場合は今迄南下を差控へてゐた反動として更に南下數量の殺到を來すべしとの二樣の觀測が行はれてゐる

安取株主總會

安東取引所は二十四日午後四時より本社樓上に第十八回定時株主總會を開催し豫定の議案を可決した後理事の選任を行ひ

一、常任理事來栖健助氏の辭任申出を承認後任常務は補充せざること
二、理事荒川六平氏の辭任を承認
三、理事三名選擧の結果山本高一、豐澄泰司の三氏

右可決確定午後五時二十分散會した

生活は漸次脅かされつゝあり。(後略)

關東州鹽の朝鮮輸出を期待
本年相當滯貨を見ん

販路擴張に惱む關東州鹽は兩三年來生產制限により辛うじて調節を圖りつゝあるが本年も採鹽を一ケ月操短し總收穫四億斤を見た、而してストック二億斤を合せ六億斤の製鹽に對し目下內地及朝鮮方面の移輸出に努力しつゝあるも依然香ばしからぬ事情にあり本洋も相當のストックを生ずるものと見られてゐる、しかし朝鮮輸出は明年四月一日から總督府の特別關税撤廢に伴ふ外鹽管理の結果、關東州鹽には有利に展開するものとされ、明年度朝鮮輸出に非常な期待がつながれてゐる

開取金票受渡高

開原取引所十二月二十五日限金票受渡高は九萬二千圓で前限に比し一萬圓增加受渡標準値段は七千六百九十一圓四十錢前限に比し三百二十六圓八十錢高である受渡ず合せ左の如し(單位千圓)

▲賣方 東永茂四三、同順成八、德增祥九、愼德成六、外十二軒
▲買方 滙源達三九、增益通一一、大德潤一〇、純豐茂九、華日勝八、福隆源七、義恒達五、廣信恒三

經濟雜叢
貿易大勢
經濟界の打開策は產業合理化

本年の貿易は輸出入共に昨年より增加してゐる、輸出だけではない、輸入も增加してゐるのである(一月から十一月迄單位千圓)

	輸出	輸入
昨年	一、七六八、〇五五	一、九九二、四三三
本年	一、八六八、二六六	二、〇五六、四四七

輸入增加

政府が消費節約を宣傳してゐるのに、どうして輸入が增加したか增加したのは概して上半期の事で今の政府の出來る以前の事であるから仕方がない。

何が增加したかといふに殆ど何もかも增加してゐる、然し輸入品の第一位に在るものは棉花であるから、先づこれに就て調べて見やう昨年は一月から十月までに四億三千七百萬圓ばかり買つてゐるそれが本年は殆ど五億圓になつてゐる、上半期の高いところで餘計に買つて、下半期の安いところで買控へになつてゐる、硫安の如きは昨年は一ケ年で三千六百萬圓、本年は十ケ月で既に四千萬圓を超えてゐる、輸入の增加した品物を擧げるよりも減つた方を擧げた方が話が早い、減つたものは羊毛、毛糸、毛織物、銅、木材等で、其他は增加してゐる。

要するに輸入は增加したが、然しそれは多く上半期中の事で、下半期になつては概して漸減となつてゐる。

輸出も增加

輸出品も殆ど萬遍なく增加してゐる、生糸、綿布、絹織物の樣な重要品も大に增加してゐるが、それよりずつと金額の少い物が孰れも增加してゐる、例へば陶磁器だとか、メリヤスのシヤツだとか、鑵詰、ビン詰、玩具といつた樣なものも大に增加してゐる。

貿易と景氣

金本位を維持するには國際貸借の平均を保つ必要がある、つまり輸入を抑へ、輸出を盛んにせねばならぬ、さうするには國內の景氣を惡くして置く方がよい、國內で物が賣れない樣にして置けば自然輸入が減る、唯問題は何もかも賣れない樣にして置くべきか、それとも今少し研究して消費を節減すべき品目を定めるかである。輸入のみではない、ドイツでは國內の景氣が下火になれば輸出が增加するといつてゐる、生產品の捌け口を外に求めるからである。

產業の合理化

國內を不景氣にして置いて、それで辛ふじて貿易のバランスを保つといふのは一時の窮策である、決して永續きのする經濟政策ではない、これは最早議論のないところで、政府もこれからは產業の合理化に依り、生產費を切下げて、それで輸出の增進を圖らうとしてゐる。

ゾルフ博士

前駐日ドイツ大使ゾルフ博士が先般ベルリンに於て日本の經濟事情に就て一場の講演をした、曰くヨーロツパ大戰後、段々と輸出が減つて來たので日本は國內の市場を防禦することに苦心し始めた、自給自足といふ事を唱へて保護關税を高くし、輸入を防いで何もかも自國で作らうと焦つてゐる、これは輸出に依つて貿易のバランスを保つ樣にする事が出來ないからである、然し私(ゾルフ博士)は此の自給自足政策は永續きせぬと思ふ、保護政策は消費工業を害する、一般消費者も迷惑する、其の上にジユネーヴの國際經濟會議の影響などもあつて、自由通商主義が識者の間に勢を得て來た。

輸出增進策

ゾルフ博士は日本の輸出增進策に就てこふ言つてゐる、インド、南洋、支那にかけて役人を派遣したり、見本市を開いたり商品陳列館を設けたり、色々してゐるが、そうした事よりも先づ以て國內に於て生產組織を合理化し、良い品を安く生產するやうにした方がよくはないか、日本はマーク安定後のドイツに似てゐる、日本の經濟の行詰りを打開するには日本の生產設備を世界の進んだレベルに引上げなくてはならぬ。

黃塵

◇…本年も餘すところ五日で泣いても笑つても越されずとも越さねばならぬ年の瀨が迫つて來た

◇…年初巳の年の緣起を祝つて本年こそ巳成金と夢みた人も多かつたが全ての希望も蛇尾と化して了つた。

◇…例年ならば株市場などは春高見越して一寸景氣づくところであるが來年は恒例の餅搗相場もなく閑古鳥の鳴くやうな寂れ方だ。

◇…株式が數年來の新安値を示すと銀も開市以來の安値に逆る、何もかも大安賣時代だ。

◇…全てが受難時代だが陰の極は陽氣の發するところとでもあきらめて不景氣な年を越すより外なからう。

市況

特產 各品平調

商品 前場

株式 內地保合乍ら五品弱含み

錢鈔 倫敦銀塊安乍ら鈔票靛り

市場電報

大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戶豆粕　橫濱生糸　印度麻袋　奧地市況　爲替相場

公示催告

平安異香（211）

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（九）

朱雀大路もこの邊は臨講官衙街で、北の諸が識官衙を含む大ゝ裏で、大路の東側には大學寮、弘文院、左京職右京職などが、門を列ねてゐる。したがつて、往來の車馬に絶え間がなく、その間を縫つて行く一人の女を見失ふまいとすることは、かなり骨の折れる仕事だつた。

お秀を右京職の前に見ながら、からつけつの放免兵衛は、大學寮の青塀に沿つて跟けてゐる。

向ふの二條大路の辻、朱雀院の角に、赤穴の太吉が先廻りをしてゐる筈である。

左京職の築地にかゝつた時、放免は、中間を遮つた牛車の下から覗くと、二條の辻の礎石にしやがみこんでゐる太吉の姿が見

太吉は、たしかにお秀をそれと認めてゐる様子だつた。その目つきでよく分る。

此方へ向つたら、遣しの合圖をしてやらう——放免兵衛はさう思つた。

太吉にお秀を渡しておいて、例の、先廻りをしようといふ放免兵衛の肚だつた。

が、突然にその太吉が立上つたので、放免兵衛はびつくりした。はつとなつて、お秀の歩いてゐる筈のあたりを見た、が、姿がない。周章てゝ、車を避け、馬を遣り過して、その邊一帶を目で探しまはつたが、駄目だつた。

そんな筈はない、と思ふがゐないものはゐない。

太吉に合圖をするために一寸目を離したゞその寸隙の間の出來ごとである。奇蹟である。

太吉が知つてゐるだらう——放免兵衛は駈だした。

太吉は道の眞中に立つて、腑抜けた顔をして、放免兵衛を待つてゐるのだつた。

「お秀はどうした、太吉」

いきなり放免兵衛は太吉の腕を掴んで、ぶつゝけるやうに云つた。

「お前見てたらう」

「うん、見てたんだが……」

「見てたんなら、お前はどうならどう、かうならかう——お秀はどうしたんだ、一體？」

「お前は？」

「おれか、おれはお前に合圖をするんで、一寸目を離したんだ。途端をあげたらゐねエ」

「車がゐたのよ、そらあの車だ。お秀があの車の蔭になつたんで、それ出て來るのを待つてゐると、それつきり出て來ねエんだ。變に思つて、向ふ側を見たがゐねエのさ。向ふ側だからお前には見えてた筈だがな」

「そんな馬鹿なお前——だが出つたなあ、狐につまゝれたやうな按排だ。どうしやがつたらうな」

「かう先刻から見てるんだが、あの車が怪しかあねえかな」

の車だといふのか」

「ないとはいへねエぜ」

外に考へやうはなかつた。

目顔で知らせて左右に分れ、目差すその牛車をやり過ごしておいて、兩側から跟け始めた。

牛は逞しい伊豫産の黒牛だつた車は茜色の漆に青貝を塗りこんだ贅澤なもので、物見窓の簾越しに人の顔がチラ〳〵するが、誰とも判らない。

牛車は二人の尾行者をつけたまゝ、悠々と大路を練り歩いて、加茂川を東へ渡つて東山にかゝつた。

變な所へひつぱりこみやがる——と思つてゐると、道の行手に丹塗りの樓門だ。

「やあ、太吉、鹽釜寺さまぢやねエか、あの門は」

驚いてゐる間に、ギーぴたりと車が着く。門が開く。牛をはづすと、女房衆が二三人出迎へて簾を掲げると、なまめかしい裳を靡へして車の主が現はれた。でつぷり肥つたお顔の方の態姿である。女房の肩をかりて車を下り、物憂ぎさうな歩みを運んで、門内深く入つてしまつた。

下郎が空になつた車を門内へ引込み、門がギーぴしやんと閉まつて、牛小屋で牛がモウとないてゐる。

「太吉よ、わしやもう、こんな稼業がつく〴〵厭になつた」

放免兵衛は道の眞ん中にべつたり坐つてしまつた。

映畫と演藝

俳優を呼ぶ 常盤座

（三）正月映畫陣

連鎖商店街の繁榮策としては生れ出た常盤座は年末に開館し正月興行より華々しく客を迎へるべく着々と準備を進めつゝあるが、正月興行は第一週にマキノ時代劇特作品の「天保水滸傳」を内地と同時封切し加ふるに東亞映畫を々として注目され間隙を惹起した東亞の時代劇特作品で嵐寛壽郎原駒子主演の「貝殻一平」を組み時代劇週間となる豫定であるが「貝殻一平」は検閲の都合で第二週に上映されるかも知れない、しかし現在第二週には詩々喜多呂々平原作のマキノ時代劇々光明主演の「風雲兒」及び現代劇のマキノ智子荒木忍主演の「父」を以てマキノ週間となし…の如くマキノ男女優を迎へて舞臺挨拶を行ひこの週間に盛大な開館式を擧げる豫定である、第三週はドイツデフ映畫のメリーカー夫人主演の母性愛を取扱つた「母」及びパテーデミル映畫モンテバンクス主演の「幸運馬鹿騒動」を上映して洋畫週間を催す豫定である、尚年末の開館が廿七日以後になつた場合は新築第一週映畫の「ヴォルガ」及び「大利根の殺陣」を變更して正月番組に繰り入れるとのことである【寫眞は天保水滸傳】

喜樂會の狂言決る

歌舞伎座の初春興行に來連することになつた喜劇喜樂會は田宮米峰、秋月淑之助をはじめ中堅揃ひの内容の充實した一座として期待されて花柳界方面の人氣を集めてゐるが、初御目見得狂言は笑劇「發展」二場、舊喜劇「お染宗三郎」二場、社會劇「梅咲く頃」二場、新喜劇「裏と表」二場と決定した

噂話

常盤座は漸く館内の設備が完成し關東廳の縦開を濟まして開館する日が愈々迫つて來た▲ゆふべローヤル映寫機に光を入れて「ヴォルガ」を試寫した▲未だ映畫人から注目されてゐた正月興行の入場料は五、七から六、入見當で大衆に呼びかけることになるらしい▲未だ浪速館は正月になつても最高階下四十錢止りでこれ亦安い料金で頑張るとのこと▲長大日活館主が昨日の船で歸つて來たが正月第一週以後六週分のプロを組んで來た▲その自慢の一つはパラマウント社からシネホーン發聲映畫發聲器機と技師を引き連第一週から正月一杯トーキーを上映するといふ計畫である▲大物としては「四枚の羽根」と「ロイドの危險大歡迎」であるが、その間には一巻乃至二巻物の發聲映畫ニュースやヂヤズ映畫を上映▲そして技師一行は來る廿八日着の香港丸で來連すると

映畫案内

實業之日本
新年増大
輝く希望へ
滿洲日報
青年の出世法　濱口雄幸
學養なき青年へ　松田源治
青年出世の新目標　高橋是清
出世する人の二大特長
希望に活き得る人
希望は前途を照らす　増田義一
昭和五年の財界に寄す
金解禁後の國民の態度　井上準之助
愉快な生活　希望の生活
前途希望な青年へ
余が廿歳頃の希望
財界日本一番附
東京財界富豪の角逐振り
邦人歡迎海外發展地一覽
月給取をやめて百貨店主に
松永電力王の半生
鐵道省か私鐵へ入る人々
喫茶新養生法
長壽の三大要件
肺病の血統浄化法
六十錢
實業之日本社
初版再版忽ち賣切
百萬圓をちよっと儲けた○○大福帳
法學士　湯淺一雄先生著
世に勝つ
附新豫言
金解禁！深刻な不景氣の世に勝つ者の爲に、小説以上の事實談と其對策と的確な豫言を公開す
解禁後どう金を儲けるか
昭和五年度の財界
昭和五年度の政界
天文哲理　相場觀測秘傳
幸運と成功
註文殺到三版出來
至誠堂
愈々出た！新年號の壯觀
野球界
昭和四年運動界回顧録
六大學リーグ戰批判座談會
早慶戰批判座談會
博文館
宗像建築事務所
美容と作法の寫眞畫報
主婦之友
新年附録
四百十六頁の別冊大附録
二圓以上の價値ある大評判の畫報附録
▲お化粧の秘訣
▲日本髪の結び方
▲洋髪の結び方
▲花嫁衣裳の着附
▲婦人式服の着附
▲男女洋服の着附
▲婚禮の儀式作法
▲結婚披露の心得
▲和風訪問の作法
▲洋風訪問の作法
▲社交ダンスの心得
▲日本料理の作法
▲西洋料理の作法
▲薄茶の點方飲方
▲生花掛軸の飾方
▲贈答品の贈り方
▲吉凶の訪問贈答
▲挨拶の正しい心得
▲客を招く時の心得
▲客に招かれた時の心得
▲家庭年中行事作法
▲公衆作法心得百ケ條
急告

きのふ開院式擧らる
焦り出した野黨政友會 解散回避に死物狂ひ
民政、一意總選擧準備に沒頭す

【東京二十五日發電】いよく第五十七議會の幕も切つて落され二十六日を以て開院式の運びに至つたが、政友會の對議會策につき民政黨方面に達した情報によれば政友會は疑獄事件を逆用し現内閣を傷つけ、アワよくばこれを以て内閣を毒殺せんとの陰謀計畫を立て鈴木派並に久原派が必死の策動を試みたが、豫期に反し遂に大山鳴動鼠一匹に終つた觀あり最早之れ以上進展せぬことが大體明かとなつた、從つて今や政友會内部の失望蔽ふべからざるものあり、これがため鈴木系に對する黨内の反感高まりそれに床次系との暗鬪も絡つて

各派間の勢力爭ひは益々深刻ならんとしてゐるが只僅かに解散の聲に依つて事なきを得てゐるに過ぎない狀態である之を以て一度解散を受けんか政友會は滅茶々々に慘敗の憂目を見るべきは明かなるを以て解散を回避のため貴族院や樞府方面さては宮中方面等にまで手を延ばして宣傳或は策動に努めてゐる模樣であり、また一部では表面上金解禁後の財界對策並に軍縮會議等のため此の際解散は不當であるとの口實を設け濱口、犬養兩黨首の會見を行ひて妥協せしめんと奔走せる者もあるやに傳へられてゐる、要するにこれ等

は總て政友會が解散を回避し内閣を倒さんとの魂膽に基けるもので政友會が如何に焦慮せるかを裏書するものである、と云ふにある、民政黨としては濱口總裁も機會有る毎に力說してゐる通り毫も不純なる解散回避の聲に耳を藉さず、更に斷乎として陰謀を排撃して進む方針であり、延いては與黨幹部に於ては如何なることありとも休會明け後の議會に於ては憲政上の理由に基き解散を斷行せらるゝものと確信し、之がため安達内相を中心に屢々會合し解散後の後任候補者の銓衡並に濫立防止につき協議し一意總選擧準備に沒頭してゐる

靜に休會明けを待ち 解散は突如斷行か
休會中
政治經濟的流言蜚語を取締り 回避運動を警戒

【東京二十五日發電】現内閣の進むべき途は實際上からも理論上からも解散斷行の一途有るのみである、政府もまた二十四日の閣議に於て凡ゆる倒閣陰謀、解散回避運動を排して所信を斷行する方針を貫徹するに決し

總選擧に 臨み擲揚すべき政策に關しても意見交換の結果、既に一部發表された諸政策につき更に具體的研究を急ぎ休會明け前の閣議に附議決定の上へ濱口首相の施政方針演說中に挿入して國民に宣揚することゝなつた、併しながら議會休會中反對黨が倒閣運動のため放つ流言蜚語は益々辛辣を加へ政友會、中間派、貴族院および樞密院の一部、財界一部等の間に密に連絡を結びつゝ行はれ解散回避運動も益々

深刻化す る形勢がある、これが對策につきても同日の閣議で意見の交換が行はれた結果、政府は休會中に於ける解散回避の動きに警戒を怠らず倒閣のためにする政治經濟的流言蜚語の取締を嚴重にすると共に殊更に解散恐怖の念を釀成して回避および倒閣の陰謀を深刻化することを避けるため解散の聲を餘り大にせず靜かに休會明けを待つて

疾風迅雷 的に解散を斷行する戰術を採用することゝしたらしく如何に解散回避の動きが穩密の間に動きつゝあるかを知ること が出來る

政友幹部不信の聲
血氣にはやる有志代議士

【東京二十五日發電】政友會が解散の危機を孕む今期議會に對し如何なる方針を以て進まんとしてゐるかについては、黨員の間にも未だ大部分總裁並に幹部の眞意を計り兼ねてゐる有樣で、果して解散覺悟に主戰的强硬態度を以て邁進するものか或は解散回避で行くのかが議論を判然と捕捉するに苦むの狀態に在るが、斯くては

對議會策 は乘も角選擧準備上專ら選擧準備に熱中するとが出來ず、また幹部にしても就職ある幹部の所謂通り休會明け前倒閣の目的も達し得ず又解散回避も不能の場合はそれこそ選擧の結果は非常に不利と見なければならぬ、幹部は其の責任を如何にするかと所謂幹部の不信の聲を放つ者も黨内に相當釀成されつゝあることは否まれない事實で此の際いづれか黨の態度を明瞭にし度いとの理由で二、三有志發起となり二十五日午後一時半本部に有志

代議士會 を開くこととなつた、然るに幹部は此の血氣にはやる有志代議士を宥め總裁及幹部の間に深く決するところあり、決して無爲無策で漫然其の日を送るものでないとの理由を以て幹部は本日の有志代議士會を中止せしむるに至つた

社民黨反動化の 防衛協議會組織
鈴木氏等に脫退を勸告

【東京二十六日發電】去る十日大會席上左右兩派に大分裂を見た社會民衆黨では又も本部内の宮崎龍介氏を中心に先の分裂は黨内少數者の反動的私黨主義に依るものであるとの聲が揚げられ二十五日午後七時本所公會堂に全國有志代表三十餘名出席社民黨反動化防衛全國協議會を組織し左の決議をなした

決議

鈴木文治、松岡駒吉、西尾末廣三君は我黨第四回大會に於て立黨の精神に悖り集團的暴力を以て大衆の黨議を蹂躙したり、依つて即時三君の脫退を勸告し之が實行を黨中央執行委員會に要求す、此の回答は來る三十一日正午までに當協議會事務所宛寄せらるべし

今議會の前途暗澹
鐵道計畫と 貴院態度

【東京二十六日發電】明年度鐵道建設計畫に關し貴族院研究會は明廿七日の鐵道會議を前にして態度頗る硬化し其成行は注目さるゝに至つた、即ち同會議の委員たる小笠原、溝口兩伯、青木子、馬場、小松氏の外堀田政務審査會長は廿五日會合協議の結果

一、鐵道問題は疑獄事件の中心で研究會はそのため深き疑惑を掛けられてゐる際でもあり特に嚴正な見地に立ち諮問に應ずる事

二、内閣更迭毎に建設計畫の變更を見る弊害の一掃を期し、現内閣の打切緩和と復活諸線に對し黨利黨略の動機理由有らば飽くまで追窮すべきである

三、會議が多數決にて研究會の主張を葬る場合研究會は飽くまで所信の貫徹に努む

との大體方針を決した、從つて會議に於ける政府の態度如何に依つては休會明け議會は相當紛糾を免れずと見らる

けふの貴族院
兩委員長選擧

【東京廿六日發電】廿七日の貴族院は午前十時開議、勅語奉答文を決定次で全院委員長選擧を行ひ各常任委員長選擧の爲め一時休

漸進的法權撤廢の 商議には應ずる
英覺書を支那に交付

【東京二十六日發電】國民政府の治外法權撤廢に關し英國勞働黨政府は外相ヘンダーソン氏より駐英支那公使施肇基氏に對し左の如き覺書を交附せしめた

一、英國政府は國民政府が一九三〇年一月一日より治外法權を撤廢せんとするは承認し得ぬも同日より漸進的撤廢の道程に入る事は之を承認す

二、支那政情安定せば英國は本問題の具體的商議に應ずる用意あり

三、右趣旨に依る撤廢聲明には異議を唱へず

國民政府明春二月 新國定稅則を實施
日本に對しては宣言後交涉か 目下稅則を起草中

【上海特電二十六日發】七種差等暫行稅則は明年二月一日で實施以來、滿一年になるので國民政府は明年二月一日より新國定稅則を實施する計畫のもとにこれが稅則を

起草中で あるが新國定稅則實施に當つては條約の規定または各國の同意による必要があるので國民政府では目下、これが對策に腐心してゐるもの如くであるが工部局方面の消息によれば英、米各國は既に締結した新關稅條約において新國定稅則の實施を認めてゐるので問題は未だ新條約を締結するに至らない日本のみとなし國民政府は既定方針に基き先づ

國定稅則 の實施を宣言して後、日本に對しては別に外交手段を以て解決の方法を講ずることに決定したとも傳へられてゐるが政府の機關紙「中央通信」は各國との間に未だ關稅條約が全部締結されるに至らないので明年二月一日より國定稅則を實施するや又は現行稅則を更に延長實施するやは目下、審議中にして未だ決定するには至らないと傳へてゐる

支那海關收入 二億元超過

海關方面 の消息によれば二月一日より七種差等稅則を實施した結果、約四千萬元の關稅增收を見たと

【上海廿六日發電】本年二月一日七種差等稅率採用以來十一月末までの國民政府の全國海關總收入は二億元を超過し前年同期に比し五千萬元を增し支那關稅收入の最高記錄を作つた

東鐵督辦
蔡運升氏有力

【ハルビン特電二十六日發】後任の東支鐵道督辦には蔡運升氏說有力である

露支國境の交通は 愈よ近く復活せん
貨物の浦鹽吸收の爲

【ハルビン廿六日發電】東鐵原狀回復と共に七月以來封鎖されてゐる東西兩國境も愈々近く開放されることゝなつた、ロシア側は北滿貨物の浦鹽吸收策から東部國境を急速に開放する方針であると

烏鐵代表の赴哈
東部線開通準備に

【ハルビン特電二十六日發】蔡氏一行と共にルーデー、デンソフ正副管理局長、シマノウスキー代表烏鐵イヅチエンコ氏其他國營機關の代表は二十七日來哈の豫定で烏鐵代表の來哈により直に東部線開通の見込であると

支那側の面子 何處に在る
露支議定書の内容につき 支那側要人の憤慨

【ハルビン特電二十六日發】露支の假議定書に二十二日蔡、シ兩全權は調印し蔡氏は奉天、南京兩政府の確認を請訓中だといふ、之に對し支那側某要人は

面子何處 に在る、余の知れる範圍では東鐵正副管理局長のロシアの推薦に對し支那は承認したのみで白系露人の處分、ロシア領事館の檢擧による三十六名の無條件釋放の如きは不可能だ、何となれば無籍國又は支那歸化の白系露人に對しロシアが政治的に容喙することは支那の主權を侵害する越權の行爲である、若し調印により效力が發生するならば直に

拘禁者を 釋放し軍隊を撤退してゐる筈だが未だ事實に行はれてゐない、之によつて見るも二十二日の調印はハバロフスクのロシアが爲めにせんとする報道である

と調印說に反對せる者もあり、蔡全權の歸哈の遲れたるはロシア代表の勢揃へを俟つてゐる爲めだとの說と、奉天、南京兩政府の回答が遲れた爲めであるとの兩說あり調印は了つても内容は非常に差があり、ロシアの宣傳は上手だと支那側では否定してゐる

東鐵新局長 一行十四名ポグラ着

【ポグラニチナヤ廿六日發電】新任東鐵管理局長ルデイ、副管理局長デニソフ氏外東鐵ロシア側幹部一行十四名は蔡運升氏一行と共に今朝九時露領より堂々と乘込んで來た、尙一行は特別列車で直ちにハルビンに向つた

汪精衛氏を 一般に非難
『一定した主張なし』と

【上海特電二十五日發】香港にあつた汪精衛氏は廣西派および張發奎軍の廣東奪取失敗に歸したので最近河内に去つたと傳へられてゐたが、昨日、香港において二十二日附の通電を發し、今後も依然繼續して奮鬪すべきことを述べると共に蔣介石氏を倒したのちは、よろしく政治は公開すべく一黨の專制によつてはならぬとの旨を聲明した、右汪氏の聲明は閻錫山氏の諒解を求めるための意思表示と見られてゐるが、閻氏は既に改組派と提携を斷つことを聲明してをり

汪氏の斯くの如き表示は何等、閻氏の同情をうけるには至らないであらうと見られてゐる、只汪氏が政治は一黨の專制によつてはならぬとしたことは從來、汪氏の主張したる黨治說を覆へすもので汪氏にして今後の說を飽くまで支持せんとするにおいては、それは大なる決意によるものであるといへるが一般では、これによつて汪氏には一定の主張なく、その成敗如何によつて時により、その主張をかへるものであると見てをる

開院式當日の 議會雜觀

◇…【東京二十六日發電】五十七議會の開院式を擧げらるゝ今二十六日陽光うらゝかにして掃き淨められた貴、衆兩院内は午前九時頃から早くも金色燦然たる大禮服や燕尾服に威儀を正し今日ばかりは解散の脅威も忘れて晴れやかな面持にて登院する

◇…今を時めく與黨民政黨の控室では小泉遞相が金ピカの大禮服に勳二等を胸に飾つて院外團の猛者連に取まかれ「選擧區有志から寄附されたんだが、どうぢや立派ぢやろ」と丸で子供のやうに帽子をいぢつたり劍を持上げたりして如何にもたまらぬらしいはしやぎようである

◇…そこに田中新文相が故鄕に錦を飾つた氣持で控室をぐるぐる廻りしながら得意滿面、例の髭を落して若返つた片岡直溫先生大禮服を着た氣持は忘れかねると見え位階服でやつて來る、横山、高田、小坂氏等政務官連も今日は晴れの金ピカで陣笠連の羨望の的となる

◇…政友會控室を覗けば、犬養翁は燕尾服に勳一等の綬を帶び如何にも野黨總裁らしい裝ひである、無産黨は前議會で背廣服が祟つて問題となつたのに懲りてか何れも燕尾服に威容を整へ無産黨唯一の有勳者龜井君の勳四等が異彩を放つてゐる、安部さんも今日は御大典記念章を佩用してゐるのも人目を惹く

◇…目出度く式を終り院内で議費半額一千五百圓也を交附されるので衆議院の庶務課は取付にあつた銀行のやうな騷ぎである、受付には例に依つて債鬼が待受け右から左に失敬して行かれる代議士もあり、さすがに不景氣風は院内にも吹きすさんでゐる

選擧廓淸案は 明春に持越

【東京廿六日發電】年内に成立を期待された選擧廓淸案議會制度は明日閣議に附議されず明春持越しとなつた、斯く遲延を來せる裏面に某有力筋の反對ありと

總此間に議長參内奉答文を奏上し退下再び議事を開き當選したる各常任委員の報告ありて散會明年一月二十日迄休會となる

民政黨の 委員長候補

【東京廿六日發電】民政黨の全院委員長並に常任委員長候補者左の如し

全院委員長　西村丹治郞
豫算委員長　森田茂
決算委員長　淸水留三郞
懲罰委員長　野田文一郞
請願委員長　淺川浩

小山氏民政入黨

【東京二十六日發電】長野縣選出明政會代議士小山邦太郞氏は二十六日正式に民政黨に入黨した、之で民政黨は百七十三名となつた

滿洲の將來
太平洋調査會の反響
(10)……保々隆矣

民國の青年識者に與ふ(下)

日本が滿洲の開發に參加することを諸君の内には恰も日本がパチルスでも播き歩くかの如く誣ゆる人々もあるがこれ亦頗る謬見で事實を知らざるも甚だしい話である現に廿餘年前の滿洲は支那中最も財政的貧弱なる地方の一では無かつたか。

然るに現今に於て、東三省は支那に於て最大治安の地域で且つ其省財政は故張將軍が連年戰爭を繼續するも猶且つ窮民多からぬ程豐富になつたではないか。諸君は日本の滿洲進出を以て獨逸人が佛人のルール占領に對する口吻を以てするが、世界の科學文明の先頭をきるドイツ人が經營せるものを佛人が占領したればとて、之を歐洲の經濟的、文化的見地よりして人類界に何等貢獻する處はないが滿洲に於ける吾人の進出は全然これに反するので例へば撫順の如きも若し我國なかりせば數十戶の農民も生を安ずるに足らぬ地である。

然るに一旦我滿鐵の施設湧むや數萬の苦力と數十萬の其家族とは生を安ずるではないか、此の如く吾人が滿洲に於て鐵道、鑛山、港灣を經營し、更に進んでは、歐米より高價を拂ひて學習せる、都市計畫、教育、衛生、其他百般の文明的施設を諸君の眼前に施して貴國の庶民に實物教育を施すことは、即ち滿洲の產業開發となり、文化の促進となるのではないか。而して之を政治的、文化的、將又人類相愛の念より言ふも、吾人の業は聖者の業であり、文明の遂行である。吾人は天地に俯仰して愧ざる心懷を以て、君等の所謂「文化的、經濟的侵略」をして居るのである、吾人は病兒に藥を飮ます

る氣持で居る、吾人は諸君の如き中國の若人が固陋なる其父兄に對する考へと同一の心構である。吾人が滿洲に發展することに因つて滿洲の中國民は、其衣食を日々に實にして行くことは、理論でなくて、過去廿ケ年の實蹟である。諸君の内には動もすれば「國權恢復」てふ簡單の文字のみに心醉して、失禮ながら、現實を見ない青臀生論が橫行して居る樣である粗笨なる議論は生民を塗炭に陷らしめる。天然資源は地上に何物をも齎さぬ。民を思ふ眞の治者の業ではあるまい。余は非禮にもかく率直に諸君に忠言する所以は諸君が再思、三考して迷業を啓き、開悟一番、吾人と與に手を攜へて東北アジヤの文化建設に最善の努力を拂はむことを衷心より希ふからである。

尙最後に一言するが、吾人は敢て諸君を欺く考へはない。同時に亦欺ふ氣分の持合せもない。其意味で一言するが、吾人日本人は滿洲に借家住まひして居るのではない。張學良を追出して之を加護して居る後見人である。若此老人の子供が漸く家を迎へ入れて之を加護して居る後見人である。若此老人の子供が漸く鮮で、非道の言行を此上とも無遠慮にやるならば、後見人の拒絕の緒は少しづゝ切れつゝあることをも諸君は承知して居て貰はねばならぬことである(終)

訂正 前回に小標題「民國の青年議員に與ふ」は青年識者の誤り、又本文終りより十二(?)行「時のドイツ外相より」同三行目「ないか」迄は三段目終りより六行目「結果ではないか」の次に入る

年末の金融界 極めて平凡
但し地方中小銀行の申込みて 日銀貸出八億八千萬に及ばん

【東京廿五日發電】金解禁前年の歲末決濟として本年末の金融界は特別の意義を有するが、今日までの實際の推移は前年末と殆ど變りなく極めて平穩平凡に經過してゐる、即ち期末配當資金の需要、年末決算資金の

地方送り は二十日過ぎからぼつ〳〵始まつたが、相變らず事業界の不振と商取引縮小の結果分量は少くコールレートも月半以降漸騰步調を取つてゐるが、休日前二十四日の唱へは紡績手形と共に前年同日と略變りなく、二十四日には市償シンジゲート銀行から豫定以外の融通二千九十五萬圓が行はれ人氣的に多少引締り氣味となつたが、實際上には何等

影響なく 今後越年までの見込についても著るしい變化は豫想せられず今年末は金解禁實行が年明け早々に迫つてゐるのと前年末の有力銀行が融通し過ぎた經驗に鑑み有力銀行筋で多少貸澁り氣味なので年末民間預金の減少は一億五、六千萬圓程度にとゞまり、その代り地方銀行および中、小銀行の日銀に對する貸出申込でその結果年末の

日銀貸出 は現在に比し二億圓内外增の八億八千萬圓位に達しコールも日銀高低步合一錢五、六厘位となる模樣である

大連港を中心とする 年末年始の 海運界
依然として不振を續く

大連港を中心とする年末年始に於ける海運界の市況を概觀するに、近海に在つては船腹依然として潤澤を極め、のみならず内地需要軟弱なるため採算關係不〻味にして取引また不活潑なるを免れぬ狀態にある、これが爲め荷動き捗々しからず豆粕阪神六錢、京濱七錢を維持するに過ぎない、此の

情況は 來春舊正當開始まで繼續するものと觀られる、更に遠洋市況に於ては歐洲方面は大豆穀貨の消化遲々たるため取引殆ど見染りの狀態にあるに反し、船腹は依然過剩なるため運賃は漸落步調を辿り十一月末まで十二月積二十四志、一月積二十五志と先高見込みであつたが、十二月に入つて以來上記の悲觀材料益々濃厚にして先物に對しては二十二志を唱ふるに至つてゐるが、更に二月以降の一般的大豆利用

減退を 考慮すれば恐らく現在以上の進展を見ざるものと觀られる、一方對米市況は殆ど何等の變化なく依然雜穀の引合平調にして先物に對する豆油の商談相當にあるも、内地魚油引合旺盛に押されたると、好適タンクの供給不充分なるがため、市況の躍動を見ざる模樣である

西山民政署長の 行政抱負

關東廳警務課長の椅子から再び旅順民政署長を命ぜられ二度の勤めに返り咲した西山旅順民政署長は二十六日午前九時初登廳をなし同署樓上會議室へ署員一同を召集して就任挨拶を述べたが折柄往訪の記者に對し南國人らしい濶達さを以てかる

旅順とはお馴染深い間柄で別段新感想は無いが行政の終局目的は各人その處を得て安心してその生活を營むことにあるのですから能ふ限り太田長官の目標とされる明るい政治に努める考へです管内住民諸氏に於てもよく此の點を諒解して希望のある處は遠慮なく申出て貰ひたい、これを充分檢討した上で無理のない處置を採りたいと思つてゐる

香港丸船客

【門司特電二十六日發】香港丸乘組の船客左の如し

▲玉置巡介▲鈴木夫人

人事

▲寺田良之助氏(元大連水上警察署長)撫順署長に轉任挨拶のため廿六日市内主なる方面を歷訪

▲窪田五六氏(元大連水上署勤務警部)營口署へ轉任せるに就て廿六日市内歷訪挨拶

▲福島主計正(關東陸軍倉庫長)後任の佐藤主計正と共に廿六日市内主なる方面を歷訪挨拶した

▲小倉鐸二氏(奉天地方事務所長)二十七日九時發急行にて赴任

▲藤田俱次郞氏(前關東廳學務課長)轉任挨拶のため二十六日市内各方面歷訪

安樂椅子

岡理事が任期滿了で退社したゝめ滿鐵理事の椅子に一つ空席を生じた▲滿鐵社員になつたからには何んとかして理事までなりたいものだとは大學出の社員の最高の希望でありまた理想のやうだ▲この意味から岡理事の空席を狙ふ社員の多いとは止むを得ない事實だが東電によると何んだか梅野前理事が非常に有力だとあり社内の白羽後任理事の噂を見てガッカリしてゐるとの噂▲そこで太平副總裁に伺ひを立てると――梅野君は絕對來ないから聞いてゐるが總裁も理事にしやうとの考へは持つて居られないやうだ▲社内からか社外からかそれや判らぬが若し社内からとすればこれ〳〵と推薦はして置いたがどう賽の目が出るか▲社内自稱理事候補者も梅野氏の理事說は副總裁の話で影がなくなつたから先づ〳〵安心してよからう。

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(强調)單位屜

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	六六〇	六六〇	六六七〇	六六八〇
一月末	六七三〇	六七三〇	六七〇〇	六七二〇
二月末	六七二〇	六七二〇	六六九〇	六七〇〇
三月末	六八二〇	六八二〇	六八〇〇	六八二〇
四月末	六九一〇	六九一〇	六八九〇	六九〇〇

出來高　百十六車

▲豆粕(强調)單位屜　▲普通大豆(出來不申)

限月	寄付	高値	安値	大引
二月限	三三五	三三五	三三〇	三三五
三月限	三三六	三三六	三三五	三三六
四月限	三三五	三三五	三三五	三三〇

出來高　一萬二千枚

▲豆油(軟り)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一八〇	一八五	一八〇	一八五

出來高　千箱

▲高粱(低落)單位屜

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四四〇	四四〇	四四〇	四四〇
一月末	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇
二月末	四四〇	四四〇	四四〇	四四〇
三月末	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇
四月末	四三〇	四三〇	四三〇	四三〇

出來高　百二十二車

▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

	寄付	大引
保大豆(裸物・俵込)	六六八〇	六六七〇

出來高　二十車

品目	價格	出來高
普通大豆	出來不申	
豆粕	二二二五	八千枚
豆油	一八二五	二千箱
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	七〇五	七〇五	七〇五	七〇五
遠期	七〇	七〇	七〇	七〇

出來高　近期三十五萬圓　遠期八十萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	七〇	一三〇	一四五
二時半	七〇	一三〇	一四五
三時半	不申	一二五	一四五

出來高　銀對金九萬九千圓　銀對洋一萬圓

神戸特產(廿六日)

品目	價格
大豆現物	六四五
大豆先物	五五〇
豆粕現物	一八七
豆粕先物	四〇二
滿洲小麥	六三〇
豆油現物	二二〇〇

東京株式(短期)

	東新
寄値	不申
高値	不申
安値	一〇〇

五品

東京期米

限月	後場寄	後場引
一月	二七九	二七五
二月	二七四六	二七六九

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
一月	一一八五〇	一一八二〇
二月	一一八八〇	一一八八〇
三月	一一六八〇	一一七〇〇
四月	一一六一〇	一一六三〇
五月	一一五六〇	一一五九〇

露支交涉
その成立と正式會議への希望

滿洲日報

去る七月以來の東露紛糾、ハバロフスクにおけるシマノフスキー蔡運升の折衝によつて、和平議定書に調印するに至り、豫備交涉の成立を見た譯である。來年一月二十五日までに、兩國は全權を任命し、モスクワに正式會議を開くことになつた。吾人は、モスクワの正式會議も、ハバロフスクの折衝の如く、圓滿に進捗し、一日も早く、北滿の地に平和の氣運の將來されんことを望まざるを得ない。

◇

博克圖以西、東支鐵道西部沿線の慘憺は、實に言語に絶するものがある。奉天側が、國際列車の運行を阻止したのも、全く已を得ざるところであつたと思はれる。勞農側の威嚇は、十二分に成功せられ、單なる飛行機の影に潰走した支那の軍隊は、好機逸すべからずと做し、平常の地金を暴露し、あらゆる掠奪を敢てしたのである。殊に奉天軍の胡軍は、黑龍江軍の東軍などの地盤なりと與へるためか、慘憺たる修羅場を現世に演出したのであつた。この慘憺たる光景を、國際列車の眼前に展開することは、如何に厚顏無恥なる胡軍と雖も、快とせぬところであつたらう。果して國際列車は阻止せられた。その結果とでもいふべきか、ハバロフスクの交涉は捗々しく進展せられ、さすが蔡氏の支那式外交、例の遷延策、有耶無耶に當面を糊塗せんとの方策も奏功せず、つひに七月十日以前の原狀に還元するといふやうな、勞農側の當初の要求、殆んど全部を容認し、正式會議をモスクワに開かねばならぬ讓歩を餘儀なくされるに至つたものである。

◇

併し、この事件の勃發した當時を追懷すれば、奉天側が、かくの如く讓歩を餘儀なくせられることは、豈し當然の事理といはねばならぬのではあるまいか。最近、事毎に退嬰的なる、北滿における勞農側の態度に對し、支那側は一擧にして勞農側の勢力を根絶せんと企圖したのであつた。そこに支那側の誤診があつた。而して東支鐵道といふ絶好の肉塊に對し、奉天側も南京側も、手段方法の巧拙如何を顧みる餘裕もなく、遽然として優先權を爭奪した。奉天側は、危く東支鐵道といふ肉塊を南京側から攫み去られんとした。然るに支那の形勢は一變また一變、さすがの王正廷外交部長も、東北三省から手を引かねばならぬ破目に陥つた。朱紹陽氏も周龍光氏も、ともに手を空しくして歸り去つた。南京政府の基礎が、動搖しかけたときに、勞農側は滿洲里方面よりの威嚇政策を敢てするに至り、つひにそれが成功し、奉天側は蔡氏を代表として露領に派遣せねばならぬ窮狀に陥らせられたのである

◇

かくの如く觀じ來ると、東支鐵道に對する奉天側ならびに南京側すなはち支那側の策動は全く失敗に歸したといはねばならぬ。が併し、もと〱支那側としては、正々堂々たる外交手段によるにあらず、無理押しに東支鐵道の回收を敢てせんとしたところに無理が存するのであつて、かくの如くなるのが當然の結果と申すの外はない而して支那側は、如何なる無理強ひも疲弊し切つた勞農のことであるから、何等の反撃やあらんと見くびつたところに大なる誤算があつたのである。然るに何ぞ圖らん勞農は飛行機を以て威嚇し來つたが、その勞農の飛行機なるものも、必ずしも優秀なるものにあらず、ただ支那側に比較すれば優秀といふ程度のものに過ぎぬのであつたが、遁足の立つた支那兵は一も二もなく退散した。勞農飛行機の影も見ず、音さへ聞かずに逸早く潰走し、その潰走の駄賃として例の最も得意とするところの掠奪を敢てして、西部沿線に荒涼たる光景を演出するに至つたのである

◇

併し、かくなる上は、何といふても、一日も早く平和解決を成立せしめねばなるまい。勞農側は、如何に赤色帝國主義に燃ゆるところあるにしても、平常の主張の手前(カラハン氏の言明などは知らざるものゝ如く)七月十日以前の原狀還元以上の要求はなし得ぬであらうから正副管理局長の新任命によつて、從來の勢力を挽回することに努めやうとするのであらうが併し、今日の北滿における奉露の現狀より考察するときは、まづ原狀還元といふことによつて、平和解決を期するより外に方途は發見し得られないと思ふ。殊に、もと〱支那側が無理を通さんとして、敢て正々堂々たる外交手段に訴へることをせなかつた奉天側に重大なる手落ちの存することを認めねばならぬ以上は、勞農側の申出でを容認せねば、平和の將來は不可能と認められるからである。

◇

奉天側は屈服した。已むことを得ずして讓歩した、が併し、また支那側の情勢如何では、折角の正式會議も、果して豫期の如く開催され得るや否や、逆睹し得ぬものがある。といふのは、支那側の外交方針なるものは、常に動搖を示しつゝあるからである。併し吾人は、今日となつて臨引外交に沒頭し、正式會議の開催を不可能ならしむるが如きことは、決して北滿に平和を將來し得る所以でないばかりでなく、實に支那の對外前途を誤るものといはねばならぬ結果にならぬとも限らぬのであるから率直に全權を任命し、これをモスクワに對し正式會議の成立によつて奉露間の國際關係を確立することに努むべきである。勿論、露支の關係は、その國境線の延長し、かつ利害の出入複雜せること、他に類を見ぬほどであるから、一朝一夕にこれを解決し去らんとしても、それは不可能事と申すの外なく、將來、必ず事案の惹起せらるゝことは豫想に難くないところである。されば如何に、モスクワに正式會議を開催し、當面の紛糾を解決し得たりとするも、それが露支間の根本的平和解決となり得ぬことは露支問題の本質的關係上、當然のことゝいはねばならぬ。が併し西部沿線におけるが如き光景の演出は、一日といへども吾人の堪ゆるところにあらず、また東支鐵道により歐亞の連絡は、これまた一日たりとも缺くべからざるところであるから、ハバロフスクの豫備交涉の成立と共に、モスクワにおける正式會議によつて露支平和の解決され、北滿の治安が確保されんことを望まざるを得ぬのである。

金庫を空つぽにして城明渡しの方針
收入金を片端からどし〱使ふ東支管理局の連中

【ハルビン發】東支管理局にては近くソウエート政府から新任正副管理局長が赴任して來るので會計の收入金は全部何等かの名義を以つてロシヤ側へ城あけ渡しの際は一文も殘さない主義で、各官公署から色々の費目を設けて支出してゐるが、教育廳からは一九三〇年度のソウエート子弟教育機關の經常費として百二十萬金貨留を理事會の手を經て要求した外、張國忱氏は行きがけの駄賃の意味が交際費として廿四日一萬八千元の支出を受けた、この調子ではソウエート側が管理局へ乘り込んだ時は金庫は全くからつぽとなつてゐるだらう

呂榮寰督辦

がエムシヤノフと、エスイモシドの正副管理局長を驅逐し支那は世界に對し「ロシヤは東支鐵道により赤化運動を行ひ東洋の平和と人類の共同福祉を紊るものだ」と聲明した斷の集會として擁護し其れによつて赤化運動を云々してソウエート側を驅逐せんとしても支那に信ずべきことも全く一種の口實に過ぎなかつたことを裏書するものだ、何と

問題は歸着

する其れば六名も其後の拘引者と同樣無條件で釋放することを今回の豫備會議に於て承認したものであるから、支那の主張は最初から意義をなさなかつたことに歸着する、これではは東鐵のクーデターは一種の支那が抑壓回收に濫用した誇張的なものであつたことに

かりか既に右三十六名は第一公判を終りいづれも被告は支那法によりて有罪と判決され高等法院に事件は繫附され審理中のものであつて若し本會議の交渉に基き其等のものが釋放されるに至れば支那の司法權は對內的に蹂躙され面目丸潰れとなるのである、これは最初の動機に支那側に十二分の不純があつたことを世界に暴露し、今後假令赤化運動を云々してソウエート側を驅逐せんとしても支那に信ずべききぬことになつた、これによつて東鐵間に職業同盟の復活は認められるであらう

結局支那の失敗
勞農總領事館の檢擧

【ハルビン發】哈爾に於て調印された議定書が發表された內容のものとすれば支那側の試みた七月の東支鐵道のクーデターは結果に於て支那の失敗以外何ものもなかつたことを證明してゐる、其れは五月勞農側事館を檢擧した際逮捕した三十六名の政治的嫌疑者を赤化運動なれば五月一日以後の檢擧者三十

禍根を殘す
呼倫貝爾問題
正式會議にも支障

【ハルビン發】ハイラルに蒙古軍が駐屯してゐるかどうか、支那側はブリヤート軍約三千が駐兵してゐるのでこれを撤退せぬ限り露支正式會議を開催することはできぬと主張し交渉は一時停頓した模様である、然し決裂には至るまいと

正式會議は

ハルビンに於て開催される豫定で、モスクワ政府に對し會議地、日時、及全權代表の交渉中であると言はれ十九

旋盤工を振出に
今は時めく勞農の寵兒
ラ新東支管理局長

【ハルビン發】東支管理局長に任命されたラドウイ氏は一八八七年生の四十二歳の働き盛り、一九〇七年に南西鐵道の旋盤工を振出しり春秋に富む

民交通委員會參與官となり功勞勳章を受けること二回、中央交通部の中樞人物で不惑の齡にあデニソフ氏は、ハリコフ鐵道に在職し技師であつたがボロネスイ鐵道に約十七ケ年勤續、後一九二四年長官となり、人民交通委員監察官で純然たる技術者である、本年五十三歳、モスクワ大學

經濟部の

教授であると云ふラドウイ氏は純然たる黨員で手腕は特にモスクワ政府に於て買拔いてゐるから政府の信任も厚く露支紛爭の後に於ける局長として極めて其重任を果すやう期待されてゐる

聯盟成立し

內蒙、コロンバイルの日には殆ど大綱は成立した、然し其氏の歸哈豫定が遲れたのはハイラルのコロンバイルを支持せる蒙軍の處分方法であるが、ロシヤは全然關係はないと主張してゐるためこれが撤退の保證を得ることが困難となつた、コロンバイルとしては經濟的獨立は到底不可能で且つ政治方面にしても外蒙古の支援を得る必要あり既報の如く外蒙、ロシヤとの軍政當局も締結されたと支那側は傳へてゐるため、東北四省として聯邦を確立する必要あり、將來東支鐵道の問題と共にコロンバイル事件は種々なる意味により紛爭の禍根を殘すものと憂慮されてゐる

自他の足許を見よ

奥地生

予商人に答ふ、君は僕に向て高處に着眼せよと云はれたが勿論夫れも惡くは有るまい、然し僕は君に向つて自他の足許を見よと勸告する、奉天や長春や哈爾賓其他各地の支那商が何には日本其他列國の商人を控え乍らには亂暴至極なる自國の政權を持ちながら滿々健實に發展して行くのは其原因那邊に在りと思はるゝか、僕は君の滿蒙發展なる語を聽て臍が茶を沸かすの感を禁ずる事が出來ぬ、滿鐵沿線などにへばりついて滿鐵消費組合などを眼の上の瘤に騒ぎ過る樣な君等が一番滿蒙發展の出來ぬ人間共であるのだ、君等が關東州や滿鐵附屬地內に蟄伏して同士討をやるが如きは僕等には問題では無い、僕の住める奧地では日本商人が暴利を貪るので支那商に敗退せしめられつゝある、滿鐵消費組合は消滅しても此義斷を如何せんや故に一方に滿鐵消費組合など有つて君等の如き暴利商人を牽制するといふ事は却て君等の爲めに成ると云ふのである、君等こそ更に高處に着眼して滿鐵消費組合などを眼中に置かず、宜しく勤勉と節約とを以て成功の道に進み給へ

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず
新聞行數五十行以內のこと

大日活館主に一言

日活子

貴館の日に盛んに月に進みつゝあることを心からお祝ひする、私は開館以來每度觀賞してゐる一人である、ところで甚だ失禮ながら私の氣ついた點を揭げて御參考に供したいと思ふ

一、オーケストラを映寫間に聞かして貰へるのは大變良いと思ひますけれ共折角の奏樂を四のまゝ聞くのは周圍に氣が散り又騒々しくなり勝ちですから此處は改善して背の電燈を舞臺の上から幕の上に放射し幕に幻燈式にて奏樂名を寫して(映寫機を利用して)靜かに且つ「センチメンタリズム」になつてきゝたいものです、惑を云へば「コンダクター」を立たしむれば猶ほ結構と思ひます

二、映畫觀賞中次から次へと入場者のある每に入口から光線が入りやかましい音のするのは實に不愉快なものです。此の點も改良願ひ度い左すれば貴館に對する吾々フアンの憧れは益々强くなり一層進展するのは疑ひなきことゝ信じます

蜜柑 卸問屋

大連市浪速町一丁目三番地
宏來洋行
電七六七八番

南征雜錄 (68)

難波勝治

曾遊の地香港

汕頭から香港までの沿岸は、廣東省に於て最も早く開けた地帶だが、其間に海賊の巢窟を以て名高いバイアス灣がある、暗礁の多い熱帶らしい海景色は何となく氣味だ、香港は曾遊の地だけに懐しい目の山川いづれも懐しく、行く手に突つ立つヴイクトリヤ、ピークは時の變化を知らず綠に

翠色滴る

ばかり、午前七時過ぎ上陸して東京ホテルに落着いた、その朝と午後とを市中見物に費したが、六時から山下君と三井物產支店の石田君に導かれ、自動車を驅ふて例の島巡りを試みた、淺水灣、レパルス灣、アバーデン、デイリフアーム牧場と二十五哩のアスフアルト道路を驅け行く愉快さと好風景とは、多くの旅行者が既に經驗して周ねく傳へた所だが、秘は特にアバアデンの民船輻輳狀態を好愛する、南方支那の富を吸收して建設された香港は、經營者たる英國が最も大なる努力を

その經營

に傾注した所だが、それだけ彼等の生活を花々しくする爲めの設備は整ふて居る、世界歐洲戰爭以來の市況は何となく衰退した、それは本國の活動力が鈍つたといふよりも、寧ろ支那の大の動亂が民力を疲弊せしめた爲で、香港の貿易額は大正九年度の二億一千二百餘萬磅を最高とし、爾來年々減退を辿ふて居たやうである、併し市街其者の繁昌と經營とは益々其度を加へた、最近の推定人口五十餘萬、九割八分が支那人で外國人は一萬三千餘に過ぎぬが、その中英國人七千八百八十九を一位として、次は

日本人の

一千六百二十七、米國人の三百七十四、ドイツ人の百十などが重なる數字である、支那內部の不安が租借地の人口を漸增さすのは同國の共通現象だが、昭和二年度に廣東其他の地方から香港に流入した支那人は約十萬あつた、これが理論上租稅の回收がなく盛んに論議されながら、實際問題として頗る矛盾の多い點だが、內外の經世家は此點に冷靜な注意を拂ふ必要がある、島巡りを了つたのは午後八時半、十時出帆の龍山丸に乘込んで廣東に向ふたが

同船者の

中には廣東博愛會醫院長富見識一博士と、同院の事務長久保八二君とが居た、富見博士は曾て滿鐵醫院に在職した人で、今は總督府醫院に籍を置いて居るが、久保君の談によれば、醫院經費の年收は約九萬圓、總督府の補助九萬圓を加へて計十八萬圓に過ぎぬ、併しこの少額の經費で診療された患者數は、每年約八萬三十二三萬人、廣東方面に於ける支那人の體格は一般に良好でないが、その重な原因は營養の不足にある、支那の博愛事業はこの點から頗る有意義だが、唯經費の少ない爲め

十分活動

し得ないのが遺憾だと、廣東は北緯二十三度に近い地點にあるが、眞夏の珠江灣は風落ちて滝石に暑い、殊に十二時以後電扇の止められた部屋の中は蒸風呂のやう、素裸でベツドの上に横はつて油汗は絶えぬ、體を拭く爲めにペエスンの水盤を搖ると湧きでるものは鉛色の濁水ばかり夜一夜マンジリともしなかつたが翌朝五時過ぎ起床して甲板に出て綠を孕んだ時初めてホツとした、珠江上に訴へする名物の蛋船には、蛋夫が運搬業者か

朝餉炊ぐ

煙繞ら立騰つて櫓を操る年增女の影長く波間に搖曳する、船が廣東に近づくにつれて舟舶の數は加はり、六時三十分上陸した埠頭の邊りはモウ一面の船群だ。(寫眞は珠江舞上の景)

滿日詩壇

李文權

高桐將軍周甲大慶席上賦謝二絶呈政
將軍儒武喜修文萩筆生涯與不群更是今年剛一歲總々白髮上鳥雲同倫同戰復同文伯樂知何相馬群話到漢江前日事儼然紅袖女如雲

満日地方版

奉天

醫大の選手壯圖に上る
二十五日奉天を出發内地を經由歐洲へ

滿洲醫大アイスホッケー部選手九名は十川監督に引率され愈々廿五日十三時半安奉線にて花々しき征歐の途についた

驛には醫大學生職員有志婦その他市民各方面の多數見送りあり萬歳盛裡に出發した

一行は既報の如き日程で内地の敦賀に向ひ同地より浦鹽斯徳に渡り烏蘇里線經由赴歐しドイツのベルリンを皮切りに各地で試合をなし三月三日歸奉の豫定である【寫眞は奉天驛出發の選手一行】

大正天皇の遙拜式 盛大に執行

先帝神去りまして早くも三年奉天に於ては奉天神社で廿五日午前十時から盛大な遙拜式が行はれ、市民は何れも軒頭に日章旗をかゝげ敬意を表した

警察の異動

今日か明日かと待兼ねてゐた關東警務局の部長級以上の異動は廿三日發表され、奉天署においても大陸に免官等相當行はれ現在では大風の後の靜けさの感があり、悲喜交々の狀態であるが、その異動を示すと

乾署長は栃木縣警視に任命され署長の事務は後任が決定着任するまでは立川警視が取扱ふことに決定その他、本署では問題となつてゐた片山警部(保安主任)及び山口警部補は依願免官となり、下田部長は警部補に昇進し營口署勤務となる、又高等の山本警部補は警部に昇進し關東廳警察では高等の伊藤警部は關東廳保安課勤務を命ぜらる、領事館署の警務課に、菊地警部は遼陽署に夫々轉勤を命ぜられた、沿線から奉天署に轉任して來るものは安東署の小杉警部、關東廳保安課の星子警部、金州の金警部補、鐵嶺の宇野警部補それに撫順の小澤部長及び四平街の早川部長は警部補に昇進し奉天署勤務を命ぜられた

支那側の年末警戒

本年の支那側正月は國民政府の改新令により陽曆を以て主とし十二月卅一日より一月五日まで各官衙共休業することになつたが、一方公安局、憲兵隊關係者は憲兵司令部に參集し年末年首における特別警戒につき打合せをなせる結果、來る卅日より一月六日まで協力して省城内外を嚴重警戒することに決定したと

國債償還獻金

日本赤十字社奉天病院職員卅名は國債償還獻金五百七十圓を奉天署に差出した

貧困者へ寄贈

年末貧困者救濟資金としてロータリー倶樂部から百十圓奉天署に寄贈して出た、又琴平可某氏から金百圓也を救濟資金として寄附

郵便物の注意

年末年首に際し郵便物差出上特に注意すべき事は廿五日より市内特別郵便の取扱ひが中止されることで、同日以後一月七日まではその取扱ひを爲さざるため年末年始大賣出しの宣傳印刷物を郵便として差出す時は普通郵便として差出さねばならぬ、又一月一日以後二週間は年賀郵便の配達に大繁忙を極めるので葉書その他無封書狀等は翌日一號便に統括して配達される故に幾分遲延を免れぬ狀態であるがため速達を要する郵便は市内郵便でも封書を以て差出されたいと

不埒な馬車夫

廿四日午前十一時頃奉天署にて市内運搬馬車の石炭檢斤の際、伊豫組附近において石炭を運搬中の馬車夫を呼び止め傳票の檢査をなした處、その馬車夫は傳票は所持してゐないと稱したので車體檢査を行ふと、公益公司の傳票が飛び出し早速その由を公益公司に通すると、同公司發送の石炭には何れも封印がしてあるとの事であつたしかし該馬車の石炭は全部封印してないので更に取調べをなさんとした處同馬車夫は何處にか姿を晦ました、該馬車夫は運搬の途中他の石炭と積み替へ持ち運んでゐた模樣があるので目下嚴重取調中である

人事

▲松井大連鐵道事務所營業長 廿四日來奉
▲三宅關東軍參謀長 廿五日來奉
守田民會長 廿四日夜歸奉
▲杉村陽太郎氏(國際聯盟事務局次長) 廿四日撫順より來奉廿五日安東へ
▲青木奉天鐵道事務所運轉長 廿四日歸奉
▲韓吉長鐵路局長 廿四日歸吉
▲周四洮鐵路局長 廿四日來奉

瀋陽駄話

關東廳警務局の大異動は愈々發表された奉天署で噂に上つてゐた立川警視は依然留任署長事務取扱ひを命ぜられ▲問題の人保安主任片山警部は依願免官となり▲一方高等の山本警部補は若年にして警部に昇進し關東廳保安課勤務となる▲これまでの例によると高等に來る警部補は一年前後にして何れも警部に昇進し高等を去る始末に▲仲村高等主任は漸く高等勤務に馴れたかと思ふと立ち去つて行くので何時も入り變り立ち變りの多いのにこぼしてゐる▲が高等からどしどし警部に昇進するのを見て兄弟の樣に喜んでゐる▲それほど指導のよろしきを得好成績を揚げてゐる仲村主任は轉ては關東廳の課長かそれとも沿線の署長にでも昇進しなければ當局も措かないであらう▲同氏の前途の榮譽と健在を祈る

哈爾賓

居直り强盜老婆を斬る
◇―鮮人風の行商人

廿四日午後一時半斜紋街商品陳列館隣田尻方に一鮮人の風態をした行商人が來り留守居中のコヨ(六〇)と話てゐたが、居直り强盜となり刺身庖丁をもつてコヨを脅迫し金庫を強つ拂ひ逃走せんとしたが果さず背後二ケ所の重傷を與へて置時計とズボンを强奪し逃走した、急報により我警察署にては目下犯人嚴探中

居住民が連署で劉團長に感謝狀
兇暴犯人の樣な支那軍隊に淸廉潔白な指揮官

支那兵と言へば掠奪、强姦、放火の犯人のやうに考へられてゐたが今回の東支西部線に於ける事實に徵してさうだと見做されても仕方がない、然し人數の多い軍隊のことであるから中には嚴重に軍律を守り部下を統率してゐる指揮官もゐない譯はない、イレクテ一帶興安嶺の守備に當つてゐる第六十九旅長劉某は稀にみる立派な團長で札免公司の日本人所有物件は責任を以つて保護し且つ從業員に對しては麥粉其他の食料品を軍隊から支給して保護を加へてゐる、從業員もこの團長に對しては感謝し居住氏が連署で感謝狀を贈つた、處が劉團長の前任駐屯部隊が公司の出張所を襲ひ金庫を破壞し目星いものを全部掠奪した責任は不幸にして劉團長にあるので神長札免公司員に「どうか財產は全部完全であつた」と感謝狀に書き添へて欲しいと切望したが感謝狀には團長の希望要求を記さず神長氏は國際列車の一行と歸哈したが、支那軍隊に珍しい淸廉潔白の人物であると内外人に賞揚されてゐる

北滿特產の出廻狀況
青柳支店長談

日淸製油青柳支店長は特產出廻りの狀況に就き語る

露支時局影響で浦鹽向け輸出不

傅家甸支那商の倒產者四十餘戶
甚大な時局の影響

露支時局影響を受けて傅家甸方面の支那商の打擊は相當に大きいらしい、濱江商務會の調査によると本年春一、二、三月は商務會の入會商店は四千二百八十件にあつたが、四、五、六の三ヶ月の夏季は約四百件增加し七月以來東支問題の發生に商取引は全くなく大小商店の退會するもの續增し七、八、九は左程でもなかつたが、十一月末現在は四百餘件の減少となり十二月の決算期を前に控へて倒產するもの四十餘戶あり、この傾向を捨てて置けば傅家甸の經濟界は非常なパニックを來すであらうと憂慮され債權、債務の整理は時局安定し金融界の落ちつくまで双方共に一時延期し餘り債務を取立てぬことに申合せができたと

能のため全部南下してゐた特產も本月初旬露支交涉が順調に進行してゐると云ふので、東部線で買はれたものは各大手筋共に驛積みとして

開通聯絡

を待つてゐる、ワッサルド、シビルスキー、三井、三菱等も交涉は本年度内に成立し東行線の輸出豫想から外商筋は戰時保險し百斤に付三十錢を附し一日も早く開通を期待してゐるが、果して本年はどうであるか、既に旬日もないので多分開通しても來年一月中は要しはしないであらうかと思ふ、其れでも一ケ月後は必ず輸送が出來るとなれば南行よりは非常に運賃率が安いのであるから引合ひはする、本年は東部線總出廻四、五十萬噸のうち半數は南下したから東が開いても一面拔以東物より出廻るまいと考へる

我々とし

唯てハバロフスクの會議が如何なる程度に進行してゐるかを知ることが先決問題だが、支那側の消息では二十二日露軍の飛行機が牡丹江上空に現はれ偵察して引返へしたとのことであり、國境方面には露支兩軍の小競合もあると云ふ話であるから東部線の開通も一寸見當がつかない

傅一面坡方面に集散してゐた五常其他の背後地から出廻る特產は、本年は全部南行線によつた爲め二三萬噸の出廻り減少を來し馬車輸送で東支南部又は吉長沿線に出廻つたと

北滿電氣の營業狀況
辻監查役語る

北滿電氣監查役辻光氏は同社の狀況に就き語る

總會の決濟の結果本期は約二千餘圓の利益で缺損はないが、勿論會社は無配當である、支那側電業公司との競爭上以前一キロ金三十錢であつたが

哈大洋票の十七錢五厘(金十錢見當)と約三分の一に値段を切下げ經營も仲々困難であるが、石炭も安くなり且つ新に二千五百キロのタービン機も据付けられ現も角も支持しては行ける、支那側電業との協定は根本に於て意見の相違せるため料金の如きも現狀維持で忍んで行かねばならぬが、哈大洋票も今日の相場以上に良くなるとは考へられぬから電業としても容易でないと想ふ、唯電業公司側は電車の收入に多少の利益あるらしいから經營して行ける位で利益にはならない

需要家側

はこれがため非常な利益を受けてゐる、北滿の夜を飾る電燈も電業と北滿電氣が料金の値下で競爭し最後の線にまで突き進み火花を散らしてゐるが、露支人間に於ては北滿電氣の方が明るいために信用がある

匪賊旅行
西部線に

東支西部線牙克石以西ハイラル間には匪賊が往行しハイラルは蒙古人の自警團により秩序を保つてゐることは事實であるらしく、ハイラルから滿洲里に至る間は赤軍は一兵も駐屯してをらないことが判明した、然し滿洲里は依然として赤軍の統制下にあると

露支兩軍交戰の眞相漸く判明す
滿洲里通信自由になり

滿洲里に於ける露支兩軍の交戰狀態は滿洲里よりの通信が自由になつたので詳細判明するに至つた十七日午前七時ダウリヤ方面から二臺の露機が飛來し偵察をした後十八機を揃へて飛行し上空に旋廻の上八十六發を投下した返へしたが其際爆彈を投下したので支那兵三名即死、三名負傷露人四名即死、七名負傷し電信電話、司令部、兵舍等を破壞、民家は十餘戶被壞された、十八日は終日砲擊あり支那軍應戰し、午後四時半頃露機の襲來あり二十一臺が飛翔してゐた十九日は東風に吹雪さへ加へたので露機は來なかつたが夜半十二時から砲擊の音あり午後四時半頃機關銃の響き――に午後六時頃に至るも絕えず――二十日午後二時に至り支那軍は全部武裝を解除された、この時流彈は市内に飛來し十九日には日本領事館と日本旅館に砲彈が來り日本旅館の屋上をうちぬき又領事館は炸裂彈のため表窓硝子十一ケ所が粉碎された、流彈の際支那兵一名、馬二頭が即死した、邦人二百餘名は生き心地なく領事館一帶に避難した

松江餘滴

國際列車が免渡河で立往生の時支那側の交涉を引受けたのが米國領事のリーストロン氏▲「支那軍隊の列車運行阻止の理由が判らぬ」と趙道尹に詰め寄ると▲軍隊と國際列車代表の主張に板挾みとなつた趙は「何分前方に赤軍がゐるので」と曖昧な言葉を濁す▲「それは何の理由にもならない、若し支那側が保護せぬとなれば我等は自ら保護して向ふ」と逆襲した▲そして後方を顧みて日本側新聞記者一同に「諸公は支那軍隊の理由を正當なりとして打電されたるや」と問ひ▲趙君に向き直つて曰く「我等國際列車の代表は日本新聞に於ては大朝、大毎、八大新聞代表の日本電報通信合、滿洲代表のデーリーニュース電通に滿洲代表のデーリニュース「ハルビン」等々を說明し▲米國側ではシカゴトリビユナー、ライトスミス氏は七十八社の通信代表者

噓ばかり並べる呆れた支那官吏
國際列車も遂に幕を閉ぢる運命
國際列車で戰線突破の記(五)

神藏特派員

十八日、午前十一時頃、旅長が來て免渡河に飛行機二臺が來襲しましたと告げる、度々のことでもう信ずるものもない、飛行機位が恐ろしくて今度の一行に加はるものかと誰かが云ふ、日は胡軍長に最後の談判をする日だ、會見時間は正午から……、定刻に胡軍長と趙道尹が列車にやつて來た

◇早速馬と車

の交涉をする、馬車が無ければ手押車があるだらうからそれでもよいと云ふと趙道尹、今日は案內折れて出た「免渡河に早速問ひ合せて手押車があればそれでもよいでせう、御出發の際は憲兵をつけますから憲兵の承諾を得て貰ひたい」と、形勢逆轉だ、然し又何を言つて來るかも知れぬ油斷は禁物、氣安めを言つて置いて又掌を返すのだらう、何れにしても千中の八九までは絕望だ、哈爾賓に歸つたら慰勞會をやらうなどとポツく話が始めた、高橋聯絡係がもう駄目だと見越したか

◇馬鹿に氣前

がよい、今日は氣分を轉換する爲めに一同散步に出る、記者は運悪く風邪の氣味で列車內に一日籠込んだ、行く時から見るとロシア人の往來が多い、從業員らしくないのが忙しさうに步いてゐる、女も混つてゐる、聞けば國際列車が行つたのでこの自分の住家を檢分に來たのだと云ふ、然しさぞ失望したことであらう、三時頃道尹の使が來て「本日正陽官理局長が路交涉員及び李紹庚と同伴、來哈し直ちに就任した」との口上を述べて歸る

◇近く西部線

も開通するから周章て、今行く必要もあるまいとの謎である、後で哈爾賓に問合せたら之も眞赤な噓、支那の官吏はどうしてこんな空々しい噓を許り並べ立てるのか不思議でならぬ、昨日見せると約束した施療もとうとう來なかつた、支那側の肚も見へすいたし何時まで待つてゐてもラチは明きさうもない、一同ふ氣になつて來た、米國領事も寧ろ引揚げた方が得策だらうと云ふ見越して報告書の作成にとりかゝつてゐる、今日は

◇重松官補と

大藏部長が炊事當番だが夕食には肉のスープを食はせた、一同珍らしい御馳走に實識の辭を浴びせる、後で聞けばボーイに作らせたのだと云ふ食後外人側と打合せて八木總領事に電話を掛ける、其返事はかうだ「滿洲里方面の狀況も大體判明したし、露支交涉も順調に進んでゐるし早晚海拉爾方面も開通するだらうから一先づ引返せ」、十一時就寢

後の幕を閉ぢることゝなつた

折角意氣込んだ國際列車も之で最

大石橋

機關區や郵便局に小學生達の實習見習
冬季休暇中の勤勞奉仕

郵便局 辻本□雄、中澤仲太、計二名廿六日より九日間

大石橋小學校に於ては兒童を實社會に働かし生きた實務を味はせる目的を以て今期の多季休業を利用し高等科男生徒をして勤勞奉仕生活を試みることゝし先般來當地機關區、消費組合、郵便局に對し諒解を求むべく谷口校長自ら奔走する所あつたが何れも快諾を得且つ父兄よりも充分の理解と贊意を表せられたので廿四日第二學期終業式を終ると同時に實業科擔當秋友訓導は直に本人同道各所を歷訪紹介したが休暇に入ると同時に谷口校長高等科擔任三田訓導及び前記秋友訓導は西部を定めて兒童の實務狀況を巡視激勵を加ふる事になつたと、實習性の割當及期間は左の如くである

機關區事務 本田正治十二月廿六日より六日間
同現場 常見重三、大澤敏雄、森廣正澄、伊藤秀雄、計四名廿五日より八日間
消費組合 永田正一、只野俊晴、片桐榮治、江本達雄、計四名廿五日より六日間

好評だつた飯盛部長
惜まれる離橋

大石橋警察署巡查部長飯盛三夫氏は近く撫順警察署に榮轉に決定した氏は、當署來任以來日猶淺きも上官及び部下の信望厚く殊に撫澤巡查の犯人檢擧の功勞は氏の努力に依つ處勘からずとせられ内外の評判極めて良好で、今回の離橋は各方面より非常に惜まれてゐる

蟠龍閑話

守備隊、機關區、地方事務所等上司から正月の馳走を黑豆、數の子、ごまめ三種の制限令が出た▲緊縮は愈々徹底したお蔭で暮れの不景氣は益々深刻だ▲併し經濟國難を救ふために(は)難を舐めても我慢する必要があらう▲地方側商人も不況をかこつよりも日鬻と努力に依つて打開策を講ずる事が肝腎だと思ふ

開原

郵便局の勉强

開原郵便局の年賀郵便特別取扱は二十日より二十九日まで取扱はるゝが、本年は開始四日目の二十三日既に引受八千三百七十五通到着

年末年首休場

開原取引所にては恒例により年末年首に際し左の通り立會を休場すると
十二月二十八日後場休會、同月二十九日より一月三日迄全休場
一月四日後場休會(前場初立會)
一月六日より通常通り立會開始

修養團講話會

開原修養團支部にては來る二十七日午後七時より滿鐵倶樂部に於て三上先生の講話會を催すと

河野訓導歸省

開原小學校河野訓導は休暇にて二十四日午前十一時五十五分發特急にて鄕里廣島へ歸省

中村旅團長

柳樹屯駐箚第十九旅團長中村少將閣下は沿線巡視の途次二十三日午後五時三十一分ゝ急にて來開二葉に一泊翌二十四日午前八時五十七分發急行にて雙廟子向け出發

二千九十八通に及び昨年より何れも增加を示して居るが、二十六七日頃が繁忙の絕頂と豫想されて居ると、なほ同局にては年末に際し一般の便宜の爲め來る二十九日は日曜にかゝはらず爲替貯金事務も通常通り取扱はるゝ事となつたと

金州

勇敢な支那人六名を警務課長から表彰
荒天に難破船を救助し遭難者に手厚い看護

管內大孤山會三道溝屯居住郡喜昌(二七)同郡喜發(五〇)同郡喜成(五二)同郡喜同(三〇)同郡喜孟(二四)小孤山會馬橋子屯居住劉長德(二九)の六名は去る二十三日附に對し海難救助者として感狀に金三□宛を添へ當地警務課長より表彰したが右は去る十月三十一日午前五時頃普蘭店管內城子外沖合に於て折柄の荒天に遭難船あるを前記六名が發見し直に船を仕立て、遭難船に近づき貔子窩管內獅子島大耗島屯居住吳發子(三〇)同吳藤子(二〇)同王與俺(二〇)の三名を收容し遭難船を曳船して上陸し手厚き看護を施して歸鄕せしめたと云ふ支那人といふのである

田邊事務官
署長に決定

本年七月以來空席であつた民政支署長は去る二十四日左の通り發表され署內は俄に活況を呈して居る、署長の赴任期は多分年明けてからであらう、尙署長以外の異動は二十七、八日前後に發表を見る筈、池田總務課長は卽日署長事務取扱を免ぜられた

休職地方事務官(熊本) 田邊秀雄
任關東廳警視兼事務官(五等) 關東廳事務官 田邊秀雄
補金州民政支署長
關東廳屬(總務課長) 池田公雄

三浦課長招宴

免金州民政支署長事務取扱 三浦警務課長は管下勤務員の年末召集を機として來る二十七日午後五時より在金各新聞記者並に有志を城內倶樂部に招待し忘年懇談會を催すと

鞍山

貯金週間成績
貯金額五千圓

十五日から二十一日までの貯金週間には井之上局長を初め各從事員數班に分れて各戶を訪問し貯金の勸誘に努めたが其成績は左の如し
△貯金 五八八口、金額三、四三二圓五六錢
△簡易保險 二八口、契約金額五一一三圓
△年金 二口、金額二四〇圓

續々獻金
國債償還資金

地方事務所員一同は百七十一圓六十八錢を、又小學校六學年男生徒十五圓三十錢、無名氏より七圓を

事務所忘年會

地方事務所員は例年の恒例に依り二十三日午後五時より演藝に於て忘年會を開催した

浮浪者の取締
徹底せしむ

警察署にては一定の住所職業なく市中を徘徊する者を漁る者等は常に小盜を働くので年末警戒の方法として最近嚴重取締を實行して居る

るため講演會研究會活動寫眞等を開く外必要なる事項を擧げた

尙本聯盟の趣旨を

永井氏入營

實業青年團員永井義光氏は廿五日敦賀聯隊へ入營の途についたが驛頭には青年團員町內會其の他多數の見送りがあつて頗る賑つた

公園內で支那老人の縊死

廿四日午前九時頃湯崗子公園内の胡藤の樹に帶を掛けて縊死し居る七十歲位の支那老人を園丁が發見し其筋へ屆出たが身許不明、死體は同地の村長に引渡したと

派出所小異動

鞍山警察署では廿四日左の如く派出所の小異動を行つた
元直轄 河野巡查
居場巡查
驛派出所 元驛派出所 坂本巡查
直轄 平尾巡查

鮮人女將が虛僞の申告
三日間の拘留

原籍朝鮮平安北道義州郡光城面正心洞二九現住鞍山柳町六二朝鮮料理店敷島女將金鳳女(三〇)は二十三日午後七時頃同地派出所に出頭し只今集金しての歸途鐵西に於て强盜に襲はれ所持金を强奪されたと屆出でたので非常線を張り犯人搜查に努めたがそれらしい形跡がないので嚴重取調べた結果、酩酊の上虛僞の申告と判明し三日間の拘留に處せられた

瓦房店

教化聯盟が愈よ生れた
二十四日に成立式

瓦房店教化聯盟は二十四日午後六時半社員倶樂部に於て成立式を擧行した、定刻西村委員長目下の狀勢に鑑み教化聯盟の必要なる所以を述べて挨拶とし聯盟役員は一致して之を讚し茲に瓦房店教化聯盟は成立した、其の

目出度成立

名稱目的綱領役員等左の如し
一、名稱 瓦房店教化聯盟
二、目的 國體觀念を明徵にし國民精神を作興し經濟生活の改善を圖り國力を培養するを以て目的とす
三、綱領(一)國體の精華を明かにし忠義奉公の精神を發揚する事
(二)神佛を崇敬し知德の併進に力め剛健親和の美風を振作する事
(三)國家經濟の現狀を理解し勤儉力行以て國民生活の改善に努むる事
四、組織各學校、神社(氏子)各宗教團體(信徒)在鄕軍人分會青年團修養團希望相互會各人會
六、役員委員長西村秀治副委員長佐藤雅助
委員 杵淵彌太郎、福井優、大國宗一、西樹昭、小川文舟、矢野善次郎、長井公平、藤井彌助、森興吉、草津光雄、山田勘吉、草野やす子、杵淵八重子、森田良子、大國品子、羽田雄三、三浦由之助、吉村繁義
顧問 吉留英熊、山川九恩、四本兼雄、脇川若吾、小野村米吉、松井卯吉、尾崎重樹、石丸幸作、板橋喜久治、藤沼長吉、高橋能克、白土彌次郎、小川政次郎

榮轉者と後任
警務局異動

關東廳警務局遺回の異動に依つて中木保安主任は勇退し上野警務主任は警部に昇進して大連水上署に榮轉、中木氏の後任には撫順より山本警部補、上野氏の後任には旅順より西內警部補が來任する事となつた

國債償還資金に獻金した

普蘭店

脫稅者の取締

普蘭店に海關派出所を設けられしより此の方主として支那人の脫稅者は間斷なく密輸を行ひ來りしが最近に至り日本人も加入し居るやの聞きにて日支條約に基き警察側にては今後嚴重に取締ることゝなつた

果樹組合總會出席

大連協和會館に於て廿二日午後一時より關東州果樹組合總會を開催したので本社支部長以下役員組合員等多數出席即日歸任したが議題は定款の改正事業報告等なりしと

第八回 滿日勝繼碁戰(乙部氏二回 勝三回目)

C—63

コドモページ

子供の理科

龍巻のお話（二）

海面から天にとゞく物凄い水柱

一郎。さうすると、海に起る龍巻もやつぱり砂旋風と同じやうにつむじ風が海の水を卷き上げるのですか。

父。ところが、さうぢやないんだ。お父さんも船の上で二度ばかり見たことがあるが、それは、二度とも風のないまことに穏かな日だつた。

一郎。變ですねえ。

父。別に變なことはない、陸上に起る砂旋風と海上に起る龍巻とは全然その原因がちがふのだ。砂旋風は前にも話した通りに、太陽のために非常に熱く熱せられた地面の熱を受けて下の方の空氣が上へ上へと昇りその留守に四方から、温度の低い空氣が押し寄せて來て起るのだから、原因は下の方にあるのだが、龍巻の原因は上の方にあるのだ。つまり、上空に温度の不平均なところが出來ると、前の砂旋風の時と同じやうな理由で、空氣の渦巻が出來る。そして、その渦巻の勢が強くなればなるほど中心の空氣が薄くなり、空氣が薄くなる結果として空氣が冷えて渦巻のまん中だけに雲が出來る。

一郎。どうして雲が出來るのですか。

父、それは、いつかも話したやうに、空氣中にある水蒸氣は、冷えるとこまかな水滴となつて雲になるのだ。

一郎。お風呂場に冷たい風が入ると急に湯氣が出來るのと同じですね。

父。さうだ〳〵。そして、その渦巻の中心にある雲は、尾を伸ばしたやうに下の方に下つて來る。

一郎。どうして雲が下に下るのでせう。

父。それは簡單に實驗が出來る。大きなコップに水を八分目ほど入れて持つておいで。それから匙を一本。

一郎。お父さんがお飲みになるんですか。

父。いや、飲むのぢやない、龍巻の實驗をするのだ。

一郎。これでいゝのですか（一郎はコップと匙を持つて來る）

父。これでいゝ、さあ、見てゐてごらん。

（お父さんがコップの水を一方に強くかき廻すと龍巻きの時のやうに眞ん中に尾が出來て、それが、強く廻せば廻すほど下の方に下つて來る）

父。どうだ、わかつたらう。

一郎。面白いなあ、僕も一度やつて見やう。

（一郎さんもコップの水を匙でかき廻すと、お父さんの時と同じやうな尾が出來た）

父。どうだ、よくわかつたらう。この尻尾が、づつと海面まで下つて來て、海の水に觸れると水面は非常な勢ひでかき廻され時には水が卷き上げられることもある。

一郎。水は天まで上るのですか、

父。水は高くは上らない。その時に天までとどいた水柱のやうなものが出來るが、それは、水柱でなくて雲の柱なのだ。

一郎。龍巻の尻尾が海のとこまでとゞかないとどうなりますか。

父。その時は丁度、天の雲から龍が尾をぶら下げたやうになるだけで海の水はどうもならない。それから龍巻の水柱が時々附近を通り合せた船の甲板に雨のやうに降り注ぐことがあるが、この水柱が海の水でない證據に決して鹽辛くないさうだ。これで龍巻の起るわけが分つたらう。（おはり）

オハナシ　スミチヤント　スケート（下）

ハルミチ

オウチヘ　カヘルト　オーバモ　ヌガナイウチニ　スケートノ　ツツミヲ　ヒライテ　「ホラ　コンナ　イイノヲ　カツテモラヒマシタヨ」ト　ウレシサウニ　オカアサンノ　ハナサキ　デ　ガチヤガチヤ　イハセマシタ。スミチヤン　ハ　オトウサン　ニ　テツダツテモラツテ　スケートヲ　クツ　ニ　トリツケマシタ。モウ　ハイテミルツモリデス。

「マア　オウチデ　スケートヲ　ハクヒトガ　アリマスカ」オカアサン　ハ　アキレテ　ミテヰマス。スミチヤン　ハ「ダツテ　ダツテ」ト　イヒナガラ　タウトウ　ハイテ　シマヒマシタ。ソシテ　オヘヤノ　ナカヲ　メウナ　コシツキデ　アルキダシマシタ。モウ　スベツテヰル　ツモリデス。

「スミチヤン・イケマセン　モウ　十ジデスカラ　オヤスミナサイ」

スミチヤン　ハ　オカアサン　ニ　タシナメラレテ　ヤウヤク　スケート　ヲ　ヌギマシタ。

「オトウサン　オヤスミナサイ　オカアサン　オヤスミナサイ」

スミチヤン　ハ　ヨウフクヲ　ネマキ　ニ　キカヘ、スケート　ヲ　マクラモト　ニ　オイテ、オフトンノ　ナカ　ニ　ハイリマシタ。シカシ　スケートノコトヲ　カンガヘルト　ムネ　ガ　ワクワクシテ　ナカナカ　ネムレマセン。トキドキ　テヲ　ノバシテハ　スケートヲ・イヂツテヰマシタガ　オヒルノ　ツカレデ　イツノマニカ　ネムツテ　シマヒマシタ。

ソノバン　スミチヤン　ハ　ドンナ　ユメ　ヲ　ミタデセウ。

ニドメノ　大チヤンノタンケン　〈169〉

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤン　ノ　センスヰテイハ　ヨロコトイサム　ダラスヤ　アブナイトコロヲ　ヤウヤク　タスカツタ　オヒメサマ　ナドヲ　ノセテ　イキホイヨク　ダラス　ノシマヘ　ムカヒマシタ。

マモナク、ダラスノ　シマニ　ツキマシタ。ワウサマハ　ブジニ　カヘツタ　オヒメサマノ　カホヲ　ミルト　ナミダヲ　ナガシテ　ヨロコビマシタ。

コレモミナ　大チヤンタチノ　オカゲデアルト　ワウサマハ　大チヤンヤ　オヂサンヲ　ココロカラ　モテナシマシタ。ソシテ　ダラスハ　ソノヒカラ　タイシヤウニ　ナリマシタ。

兒童の作品

くやしい地理

嶺前小學校五年　小暮嘉美子

夜おそくまでかゝつてしらべて來たノートや紙を見ると「どうしても澤山發表しなくちやいけない」と思つて一生懸命に「はい〳〵、先生はい〳〵」と手を上げた。けれど先生は前の人によく言わせて、私には一つも言わせて下さらないので、始めの中は、熱心に手を上げたけれど終りにはもう言わせてもらふ氣がなくなつて、地理がつくづくいやになつてしまつた。こんな時になると先生は大きらひになる。

先生が、時々わからない樣な事を聞いて、他の人が手を上げて居ないので、自分はわかつて居るけれど「もし違つてゐたら」と默つて手を上げないで居ると先生が「誰もわからないのか」と言つて、先生がお答へを言つてしまふ、耳をすまして聞いて居るとやつぱり、自分の思つた事があつて居るので「あゝもう自分は地理のせいせきはだめだ」と思ふ。そして誰かの手を引張つて引ずり廻してやりたくなる。殘念でならない。けれども「今」力を落してしまへばもういよ〳〵見込がなくなつてしまふ。やはり今力を落してしまつたら下手な地理がなほ悪くなるから、やはりこれからは、復習をよくして、前あつた事は何時までも忘れないように心掛やうと思ふ。

新刊兒童讀物批評

…大連讀物研究會發表…

四つの王

東京朝日新聞學藝部編、野口雨情、西條八十、葛原しげる、その他知名の諸作家等の童謠や小品を集めたものである。製本もよく紙質もよく表紙も子供らしい感じのいゝものである。内容も與から言ふ筈がない。兒童の課外讀物としては好適のもの程度尋一以上三四年まで　定價一圓三十錢、養文堂書店

歐米　ところどころ……（十四）

テムズ河畔の　ロンドン塔

阿左見稲馬

歐洲大陸をかけめぐつて再びロンドンに戻つた。或日流血の塔ロンドン塔に行つた。庭の樅の木に鴉が二、三羽悲しそうな聲をして首をたれてゐた。悲惨な話を殘した牢獄を思ひ出す。今は武器陳列館の樣になつてゐるホワイト・タワー階段を上ると、蠟の樣な甲冑をつけた騎士の姿が澤山ある。潜水器の樣な鐵の鎧を着てゐても殺されたのだから不思議だ。數ある刀劍の中に、日本からキッチエーナ元帥に贈つた名刀がある。廻り廻つて皇室の寶器を陳列した塔に入る。八面硝子張りの檻をのぞくと、目もまばゆき王冠の中に、一きは美しいジョージ五世の王冠がある。冠の前きに特大のダイヤモンドが光つてゐる。硝子に鼻をすりつけて婦人がいつ迄も〳〵動かない。

The Armoury, Tower of London.

漸く年末決濟迫り金融界頗る緊張
銀の大暴落で受けた華商の痛手も手當早く大影響なし
先づ無事に越年か

年末決濟の切迫につれ當地金融界は異常の緊張を示し、手形交換高の如きも日々激増の一途を辿り、資金移動漸く繁忙を告げてゐるが本年は露支紛爭による南下貨物の激増に伴ひ

下半期 は預金貸出ともに昨年同期に比し増加してをり、加ふるに銀相場の大暴落に華商方面に相當痛手を蒙つたものもあると傳へられ年末決濟は相當警戒を必要とされてゐるが、銀行方面の觀測では、特産出廻り當初に於て金解禁を見越す貸出に手心を加へ、今日貸出てゐるところは何れも確實なる放資であつて回收に

不安を 感ずるが如きことなく、勞々一部華商の痛手は手當が早かつた爲め銀行決濟に差支へるほどの影響はない、殊に事業方面は警戒厳重で殆ど見るべき貸出もなく特殊の事情が起らざる限り年末經濟は無事終了するであらうと見てゐる

陸軍特別大演習
明年は岡山地方にて

【東京廿六日發電】鈴木參謀總長は二十六日午後一時半參内明年度陸軍特別大演習につき大本營を岡山市に置き參加部隊姫路第十、廣島第五兩師團其他特科隊を以て施行するにつき上奏御裁可を仰ぎ午後二時退出した

松原湖結氷して
スケーター連乘込む

【熊本二十六日發電】一時暖氣に禍されスケーター連を失望せしめてゐたが、二十三日來の寒氣に先づ松原湖結氷し二十五日は三寸に達し滑走全く可能となつた湖畔に合宿して結氷を待つてゐた明大、慶應、東洋大學のスケート部員は早速猛練習を開始したが、一月四日から湖上で全國學生氷上競技大會が行はれるを控へ全國各大學專門學校部員も二十六日頃から續々乘込んで來る模樣である

小橋一太氏歸宅す

【東京二十五日發電】私鐵事件の久須美、佐竹兩氏の參考人として廿五日午前十一時兩角豫審判事の召喚により檢事局に出頭した小橋一太氏は午後八時歸宅を許された

栅瀬代議士靜養

【東京二十六日發電】岩手縣選出民政黨代議士栅瀬軍之佐氏は過日來風邪の氣味で四谷區大番町の自邸に病臥中一兩日來神經衰弱症昂進し築地聖路加病院榊本醫師の診療を受けてゐる

春に魁けて＝室咲の梅綻ぶ

可愛い兒を手放して生を求む哀れ母親
託兒所に戯るゝ幼兒の姿も涙
師走を行く（25）

ボーナスに懐中暖かいお父さんお母さんに手をひかれて玩具店の前でクリスマスプレゼントお正月の御年玉をねだる坊ちやん孃ちやんの毛皮に包まれた眞紅な林檎の様な艶々しい頬をみては、流石に師走の鬼の羅旧も我を忘れて微笑まうといふもの、げに子供の世界には多は無いだらうか――

◇

「小父さんいらつちやい――」一部屋に六、七人、足も未だ確かりせぬ三つ位の子供まで揃つて歡へ込まれた挨拶に迎へられ記者は部屋に入つた、此處は市内攝津町に在る本願寺經營の大慈園の子供部屋だ。子供を抱えては働けない氣の毒な親等の爲めに託兒所として設けられたこゝは、目下生後三月の乳兒六人のほか上は尋常五年生の十三歳まで三十三人の子供を預つて楠主事ほか保姆八人、看護婦一人の手で世話して居る。

◇

楠主事は語る

當所は託兒所本來の意義から、眞に親の手足纏ひになるのは嬰兒ですから乳呑兒を預るのを目的としてゐますが、本年八月末若狹町から當方へ移つて來てから家が狹く現在三十三人で滿員の有様です、併し近來毎月二十二、三名の託兒申込があります春夏は少いが秋から多にかけてずつと殖え最近特に不況の影響を受けてか著るしく増加致しました御覽の通り今は一杯なので豫約簿に書入れておいて一人でも空き次第順次にお預かりする事になつてゐます、頼みに來るのは大抵母親で人目を憚つて夜訪ねて來ますが、それ〴〵事情を訊してみれば夫に死別れ遺された幼兒を預け自分は女中や女給として働いてゐるのや、新婚間も無く妻は病氣となり自分は失業しせめて就職するまで預つてくれと賴んで來る人などで、いづれを聞いても皆故可愛い子供を手放すので私共も始終泣かされてゐますが、それにつけても何とかしてせめて五、六十人位の收容力あるものに擴張したいと思つてゐます、お正月を控へての歳末になつてから既に九人の申込者がありました

◇

「後六つ寢たらお正月でお餅が食べられるんだよ」彼等はブリキの汽車を取圍んで樂しく遊んでゐる。

――親無い雀も來て遊ぼ――惡戲盛りの彼等が翫弄に顔突き合せながら不思議なほど喧嘩は無い、洩れ入る師走風に寒福勝ちの顔腫れた乳房を探む母の心は何にか囁く。（寫眞は部屋にて自習中の子供等）

花嫁花聟が落下傘で着陸
米國の最新型結婚式

【ルーズヴエルト飛行場發】最近當飛行場で擧げられた結婚式こそは如何に米國でも近代式の典型と稱すべきだとの評判が頗る高い、花嫁マーヂヨリーさんは本年十八歳で大の飛行ファン、花聟ドナルド君も近代式の若者だが結婚式は花嫁の希望により當飛行場數千呎上空の飛行機内で九人の賓客の面前に於て正式に行はれ式後新夫婦及び聟の附添人は孰れも飛行機を飛出しパラシユートで無事地上に落下したといふ巫山戲切つた否奇拔極まる所がヤンキーを喜ばす所なのである。老人である花嫁のお母さんなどは後に殘り平凡に着陸した。それもその筈判官さんは生れて初めて飛行機に乘るといふので多少ビク〳〵したが兎に角滞りなく式を了へた。式後眞先きに飛行機から飛降りたのは花嫁であつた。あく迄大膽な彼女は其儘一千呎も鐵砲丸の様に落ちて行きアワヤ粉碎かと御母さんの如きは胸を衝かれたが忽ち鮮かにパツト開いた絹パラソルで悠々と飛行場の中央排水溝の邊りに着陸した。之を見た花聟殿負けては嫌はれるものと之れ亦大膽にも一千呎以上降りてから始めてパラソルを開き新妻と同じ地點に安着した。着陸後花聟は得意滿面傍らの人に語つた。

「飛行機からの飛降りなんてちつとも恐かありません、私はもう六ら回もやつて慣れてゐますので」

飛行聯隊の試驗飛行
戰鬪機で

【岐阜二十六日發電】各務ケ原飛行第一聯隊では本年一月朝鮮にて嚴寒期に於ける耐寒飛行を行ひ操縱者の身體及發動機について各種の研究をなしたが、更に來る一月二十一日から三十日まで北海道旭川にて甲式四型戰鬪機四機を使用し耐寒飛行演習をなすことゝなつた、又同第二聯隊では最近陸軍航空本部で試驗的に作製した變流氣流測定機六個を乙式偵察機四機に裝へ附け一月十六日より各務ケ原太刀洗間往復飛行をなすことゝなつた

上京の途上大汽社長怪我

【靜岡二十五日發電】大連汽船社長安田柾氏は二十五日一二等特急にて上京中、靜岡縣袋井中泉兩驛間にて下り列車と擦れ違ひの際、この列車の方向板のため窓硝子を破壞し、その破片にて傷を負ふた靜岡驛より醫師を同乘せしめ治療を加へてゐる

出刄庖丁で五人斬りの慘劇
發作的精神異狀から

【門司廿六日發電】歳の瀬迫る本日未明南高來郡小濱町に五人斬りの慘事あり同町字金濱無職武藤茂醫（三三）は午前五時半自宅で實兄三名に出刄庖丁にて斬り付け重傷を負はせ更に附近の北串山村收入役林田德次郎方に闖入し同人の母と

可愛い子には旅とは

それは昔、今は可愛い子がメキメキ良くなる幼年倶樂部！新年號にはオマケが十、子供たち大喜び。

飛んだ屆け出

市外甘井子居住張玉齋（五二）は同僚延鉛の名儀で共同出資にて牛肉販賣業を續けてゐるが、孫が利益小兒二名を突き殺し小濱署に逮捕された原因は發作的精神異狀ならんと

淺野社長に爭議團が歎願書を提出す
總同盟に應援を打電

【門司二十六日發電】同盟罷業の擧に出でた淺野セメント會社勞働組合では東京の勞働總同盟に應援方を打電すると共に總同盟九州聯合會からは伊藤四郎氏を東上せしめ淺野社長に不當解雇反對、松本の復職、解雇手當制々定、退職手當改正、賃金一割引上げ、賞與の公平等八ケ條の歎願を爲し一面大いに氣勢を宣揚することゝなつたが、神奈川縣川崎セメント工場も同情罷業に入らんとし歳末殊に北九州の工業地帶とて形勢重大視さる

船艙で寢込んでその儘門司まで
のんきな埠頭の臨時苦力

山東省登州府文登縣生れ市内寺兒溝居住玉仁齋（二〇）は臨時苦力として働いてゐたが、當時廿七番區驟留のいたりい丸で特産積込中艙に船艙で疲勞の爲寢てしまつた、しかるに船は十六日午後門司に出帆したが、御本人はグツスリ寢込んで目を覺ますと黄海の眞只中なので吃驚しのこ〳〵這ひ出した所を發見され、門司入港と共に門司水上署の手を經て廿六日大連入港のいんであ丸で送還されて來た

ローターリークラブ

大連ローターリークラブでは二十六日午後零時半よりヤマトホテルに於て忘年會に兼ねて會員黒田誠氏の送別會を開きたるが出席者夫妻共四十五名非常の盛會であつた、尚高柳滿日社長も今回入會した

氷滑大會の協議會
けふ體協で

滿洲體育協會では廿七日午後四時より社員倶樂部階上會議室に於て定例役員會を開き左の二件を附議する筈

一、全日本スケート選手大會に對する本會の態度決定の件

一、滿洲鮮スケート大會を鴨綠江上に開催の件（安東運動協會を鞭撻又は合同主催の下に）

近藤中將に授爵

【東京廿六日發電】畏き邊りでは二十六日我國造船及び海軍制度に多大の貢獻あつた豫備海軍造船中將近藤基樹氏に對し左の如く授爵の御沙汰があつた

從三位勳一等功四級　近藤基樹

依勳功特授男爵

轉辭任警察官送別會

於廿九日午後六時大連ヤマトホテル

今回轉辭任された大連四警察署の署長等十數名の諸氏を招待し來る二十九日午後五時大連ヤマトホテルに於て送別會を開催致します、御參加の方は大連新聞社（電話五五三六番）に御申込み下さい會費金參圓當日御持參の事

發起人

日滿通信社長津上善七、關東報副社長市川年房、大連新聞社長實性儀成、泰東日報社長阿部眞言、滿洲日報社長高柳保太郎、滿洲報社長西片朝三、マンチユリア・デーリーニユース社長濱村善吉

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿七日（金曜日）

自午前十一時　相場（特産、鈔鈔、株式、各地相場）ニユース

自午後零時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式各地相場）ニユース

自午後七時

一、ニユース

二、兒童科學講座　雪、大連第二中學校、泊尚義

三、萬歳　高島家源太、高島家源治

四、俗謠　數種、高島家一座

五、喜劇　桶屋さん、場景、一、東都淺草公園の場、二、新宿桶屋新兵衛宅の場、桶屋新兵衛高島屋源太、新兵衛女房ゆきかしま、同娘お花茶目丸、職人芳公澤寛、同飴公猫治、八木節の太夫春榮千代治、茶亭五兵衛久若

六、料理獻立　按摩芳春

七、天氣豫報

愛慾の窓 (20)

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

審判(九)

美知子が驅けつけた時には、斷末魔の苦悶のために身を悶えた力も盡きて、哀れな龍吉は雪のなかにぐつたりとなつてゐた。彈丸の貫いた頭部の傷痕からは、赤黒い血が流れて、額をも頬をも、べつとりと濡らしてゐるのだつた。その血塗れの顏を月光に晒しながら龍吉は大きく眼を瞠つてゐた。

「……おゝ、龍、龍吉よ！わたしよ、美知子よ、わかつて？」

美知子は龍吉の上半身をかゝえ起さうとして、二度も三度も雪のなかに蹈つた。

「まあお前、何うしたつていふのわたしよ、美知子よ！可哀さうな龍吉……」

可哀さうな龍吉といふ言葉に、龍吉は眼を動かした。さうして固く噛ひしばつてゐる唇を、ぴく〳〵と微かに痙攣させた。水のやうに、光のやうに、彼の臨終の顏を微笑が流れた。

「……姉さん！」

彼は一言低く嗄れた聲で囁いた

「おゝ、わかつたの……？しつかりしておくれ！」

美知子は龍吉の體をしつかりと自分の胸に抱き占めた。

「……姉さん！おれは……幸はせだなあ……」

龍吉は途切れ〳〵に、しかしはつきりとさう囁いた。

「……何をいふの？龍吉！お前はこんなことをして……何故、何故たの……？わたしはお前はおとなしく三保の癲狂院へ歸つてくれたと信じてゐた……だからまた近いうちにはきつと會へると思つてゐた……會つて笑つて話が出來ると……樂しく、樂しく思つてゐたのに……」

美知子はどつと押上げてきた涙にむせんだ。

「……何も、泣くことなんかない……泣くことなんか……姉さん……おれはよろこんで死んでゆけるよ……だつて、おれは姉さんにしつかりと抱かれてゐるんだらう？姉さん！もつとしつかりと抱いておくれよ……さうして可哀さうな龍吉つて、もう一度云つておくれ……」

「いや、いや！死ぬんぢやあない死ぬんぢやあない！可哀さうなわたしの龍吉……」

美知子のその聲が耳にはひつたらしく、龍吉はにつこりと笑つた生れてはじめての朗かな笑ひ、そんなにも心から嬉しさうな龍吉の笑ひを、美知子は未だかつて見たことがなかつた。それは奥深い心の歡びを滿たすことの出來た瞬間にポッと浮んだ魂の悦びが花咲かせた一生に一度の笑ひだつた……それなり龍吉はがつくりと頭を伏せてしまつた。

雪を蹴立てゝ、その場へ三四人の黒い人影が驅つけて來た。龍吉を追つてゐた刑事達であつた。

「おゝ！これは何うしたといふんだ！」

「……自殺を遂げてしまつたんです！龍吉がまた何をしたか存じませんけれど……この通り、死んでしまひました！」

美知子は、誰に向つても晴しやうのない悲しみに聲を震はしてゐた

刑事達に興奮した取調べや檢視や、ごた〳〵と緊張した暫くの間が明までつゞいた。疲れて、美知子はふら〳〵と倒れさうになる身體を、漸くのことで支へながら、死んだ可哀さうな龍吉のために立ち働いた。

[illegible]からうつた電報で、黒田が東京から飛んで來たのは、その午後だつた。檢視もすみ、取調べも片附いて、下げられた龍吉の死體の始末もしなければならない。

「……可哀さうなことをしたなあ何うしてこんなことばかり續くのかなあ」

黒田は眉をひそめて長歎息した彼の語り告げるところによると、小森銅山の視察中落盤にあつて坑中に生埋にされた英輔は、生命だけはどうやら取止めたが、瀕死の重傷のまゝ、半分はもう死骸のやうになつて東京へ運ばれて來たといふ。

「草野君の公判に參考人としてどうしても出廷するからと云つて、無理に歸京したんださうだよ」と黒田は附加へた。

新刊紹介

▲海外經濟事情（外務省通商局編纂）（第二年第三十九號）定價金二十五錢、東京市京橋區築地三丁目一五中屋印刷所發行
▲ぬかご（新年號）定價金七十五錢　東京市麴町區丸の内三丁目十二番地ぬかご社發行
▲俳諧雜誌（一月號）定價金五十錢、東京市麴町區丸ノ内二丁目十番地時事ビルヂング四階俳書堂發行

滿日俳壇募集規定

次回課題「冬の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田靑峰宛